

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉[企業システム]	1年	授業終了後またはアポイントベースのコンサル	

学びの準備	ねらい スピーキングとリスニング力を中心とした、実生活で使える英語のコミュニケーション力アップを目指します。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】	メッセージ 英語コミュニケーションの基本は、間違いを恐れずに英語を話すことです。私自身の海外生活でのエピソードを交えつつ、皆さんに英語圏でのいろいろな場面で英語を使った仮想体験をしてもらいます。英語はつまらないものでも難しいものでもなく、楽しいものなんだ！と感じてもらえれば幸いです。特例授業となりますが、通常の授業とそんな色ない設計をしていますので、安心してください。
	到達目標 * 自分について・相手について・お互いに興味のあることに関する情報を英語で共有できる * ある程度自然なスピードで英語が聴き取れ、内容を理解することができる * 英語を用いて異文化への理解に積極的に取り組める * グループメンバーとの協働活動を通して、実生活での英語コミュニケーションが図れる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション、Unit Outlineについて	翌週の予習
	2	会話	翌週の予習 振り返り
	3	リスニング	翌週の予習 振り返り
	4	会話	翌週の予習 振り返り
	5	リスニング	翌週の予習 振り返り
	6	会話	翌週の予習 振り返り
	7	リスニング	翌週の予習 振り返り
	8	会話	翌週の予習 振り返り
	9	リスニング	翌週の予習 振り返り
	10	会話	翌週の予習 振り返り
	11	リスニング	翌週の予習 振り返り
	12	会話	翌週の予習 振り返り
	13	リスニング	テスト準備
	14	中間テスト準備	テスト準備
	15	中間テスト	翌週の予習 振り返り
	16	リスニング	翌週の予習 振り返り
	17	会話	翌週の予習 振り返り
	18	リスニング	翌週の予習 振り返り
	19	会話	翌週の予習 振り返り
	20	リスニング	翌週の予習 振り返り
	21	会話	翌週の予習 振り返り
	22	リスニング	翌週の予習 振り返り
	23	会話	翌週の予習 振り返り
	24	会話	翌週の予習 振り返り
	25	会話	プレゼン準備
	26	Group presentation 準備	プレゼン準備
	27	Group presentations 1	自己評価、振り返り
	28	Group presentations 2	自己評価、振り返り
	29	Group presentations 3	自己評価、振り返り
30	Group presentations 4	自己評価、振り返り	
31	期末テスト	振り返り	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>指定教科書はありません。本シラバスの詳細版であるUnit Outlineも含めて、すべてのハンドアウトをGoogle Classroomにアップします。こまめに自己管理をしてチェックすることが求められます。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 講義への出欠は、評価対象となるとともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡してください。</li> <li>- インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>1. 授業への参加姿勢 10% 2. タスクへの取組 20% 3. Quizletでの継続学習 10% 4. 中間テスト 20% 5. グループプロジェクト 20% 6. 期末テスト 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本教科で学んだことを踏まえ、英語IIを履修し応用しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	クレイグ K ジャコブソン[産業情報]	1年	Office: 5-421 mail: jacobsen@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい This course is designed to help students improve their English speaking and listening skills and their overall ability to communicate.	メッセージ Students must bring their textbook and a notebook to every class.
	到達目標 Develop autonomous learners and improve oral communication skills.	

学びの準備	到達目標 Develop autonomous learners and improve oral communication skills.
-------	--

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course registration and introduction	Syllabus review
	2	Diagnostic exam (listening)	Listening & vocabulary practice
	3	Self Introductions	Listening & vocabulary practice
	4	You and Me	Listening & vocabulary practice
	5	Meeting and Greeting People	Listening & vocabulary practice
	6	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	7	Growing Up	Listening & vocabulary practice
	8	Past Tense Questions and Answers	Listening & vocabulary practice
	9	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	10	Music Listening practice	Listening & vocabulary practice
	11	Favourite artist presentation	Presentation preparation
	12	At Home and at School	Listening & vocabulary practice
	13	Expressing Frequency	Listening & vocabulary practice
	14	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	15	Review for Units 1-3 part 1	Listening & vocabulary practice
	16	Review for Units 1-3 part 1	Presentation preparation
	17	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	18	Diagnostic exam	Listening & vocabulary practice
	19	Talking about growing up	Presentation preparation
	20	Going Out	Listening & vocabulary practice
	21	Talking about Future Plans	Listening & vocabulary practice
	22	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	23	Food and Drink	Listening & vocabulary practice
	24	Expressing Likes and Dislikes	Listening & vocabulary practice
	25	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	26	The Future	Listening & vocabulary practice
	27	Future Tense Questions and Answers	Listening & vocabulary practice
	28	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	29	Review for Units 4-6 part 1	Listening & vocabulary practice
	30	Review for Units 4-6 part 2	Preparation for review test
31	Unit Review		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Textbook: Take it Easy, Second Edition, National Geographic Learning Students must bring a notebook to each class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Regular attendance and a willingness to communicate in English are crucial for this class.</p>
	<p>評価</p> <p>Students will be evaluated based a variety of listening exams (75%) and presentations (25%). Students should note that there are no makeup exams for listening exams that they might miss. Missing one listening exam, however, will not have any impact on one's final grade. Points will be deducted for attendance problems. Failure to attend 2/3 of classes will result in failure. Being late three times counts as one missed class.</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 II</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、初日の orientation を除き、各種活動(dictation, definition game, listening comprehension, spot the differences 等)を主軸に行います。先ず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、曜日や週毎に設定された課題を通して、oral skills の向上を目指します。	メッセージ 4技能の中の listening & speaking 及び異文化理解に焦点を当てます。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 sentence-level の意味処理を確実に出来る。 日常生活に根差した言語表現の幅を広げる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (self-introduction を含む)	syllabus の熟読
	2	Worksheet 1	quiz予習, 課題学習
	3	Worksheet 2	quiz予習, 課題学習
	4	Worksheet 3	quiz予習, 課題学習
	5	Worksheet 4	quiz予習, 課題学習
	6	Worksheet 5	quiz予習, 課題学習
	7	Worksheet 6	quiz予習, 課題学習
	8	Worksheet 7	quiz予習, 課題学習
	9	Worksheet 8	quiz予習, 課題学習
	10	Worksheet 9	quiz予習, 課題学習
	11	Worksheet 10	quiz予習, 課題学習
	12	Worksheet 11	quiz予習, 課題学習
	13	Worksheet 12	quiz予習, 課題学習
	14	Worksheet 13	quiz予習, 課題学習
	15	Review (Worksheets 1-13)	worksheets 総復習
	16	Worksheet 14	quiz予習, 課題学習
	17	Worksheet 15	quiz予習, 課題学習
	18	Worksheet 16	quiz予習, 課題学習
	19	Worksheet 17	quiz予習, 課題学習
	20	Worksheet 18	quiz予習, 課題学習
	21	Worksheet 19	quiz予習, 課題学習
	22	Worksheet 20	quiz予習, 課題学習
	23	Worksheet 21	quiz予習, 課題学習
	24	Worksheet 22	quiz予習, 課題学習
	25	Worksheet 23	quiz予習, 課題学習
	26	Worksheet 24	quiz予習, 課題学習
	27	Worksheet 25	quiz予習, 課題学習
	28	Worksheet 26	quiz予習, 課題学習
	29	Worksheet 27	quiz予習, 課題学習
30	Review (Worksheets 14-27)	worksheets 総復習	
31	Final	packet 提出	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 講義内で配布する。</p>
	<p>学びの手立て MP3 や smartphone を利用して例文を繰り返し聴く。 Internet や図書館を活用して課題に答える。</p>
	<p>評価 ① 授業参加度 20% ② dictation/homework 30% ③ 期末試験 30% ④ 課題提出 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 Oral Communication I と関連づける。 English II につなげる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動では中学・高校での既習事項を振り返りながら、インターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な参加が望まれます。	メッセージ 中学校教諭としての現場での経験を活かし、英語の基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介
	3	Viva! San Francisco Ch.1 他	役立つ英語表現 (1)
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2 他	役立つ英語表現 (2)
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3 他	役立つ英語表現 (3)
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4 他	役立つ英語表現 (4)
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5 他	役立つ英語表現 (5)
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1~5総まとめ (テスト)	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6 他	役立つ英語表現 (6)
	16	英語の基礎力養成 1~7 (中間点検)	English Ace Unit 1~6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7 他	役立つ英語表現 (7)
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8 他	役立つ英語表現 (8)
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9 他	役立つ英語表現 (9)
	22	スピーチテスト原稿提出	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10 他	役立つ英語表現 (10)
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11 他	役立つ英語表現 (11)
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ (1)
	27	Viva! San Francisco 総まとめ(1)	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ (2)
	29	Viva! San Francisco 総まとめ(2)	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1~8の総復習	
31	英語の基礎力養成 8~12 (期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし)</li> <li>2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義への出席確認は、ポータル授業連絡を通して確認するので、必ずポータルの掲示をチェックすること。</li> <li>・課題学習等、積極的な態度で臨むように心がけること。</li> <li>・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>授業参加度(15%)、中間テスト(30%)、スピーチテスト(15%)、期末テスト(40%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及びⅣを履修することが望ましい。</li> </ul>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	萩埜 亮[法律・地行]	1年	5号館519号室 (水曜3校時) r.hagino@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	正しい発音の仕方を理解し、ネイティブの発音を模倣し、英語を実際に発話しながら学習する方法を徹底して学ぶ。インターネットを活用しながら英語を自習するための基礎として、発音（インターネットなどの表現を含む）・辞書の引き方・単語学習、そして学習習慣の作り方などを習得する。	この授業では、「なぜ、なんのために英語を学ぶのか」という根本的な問いからスタートして、自分で定めた目標のために着実な成果を出すための本質的な学びのあり方を習得する。従って、単に英語ができるようになるため、だけではなく、人生におけるあらゆる物事への取り組み方としての「学習法」を、この授業を通じて身につけてもらいたい。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語の学習を習慣化し、毎日勉強できる</li> <li>2. 自分の学習法を分析・評価し、必要な修正を加えることができる</li> <li>3. 綴りと発音の関係を正しく理解し、自分の発音を自分で評価できる。また、他の人の発音を聴いて評価することができる。</li> <li>4. インターネット上の動画を使って学習するための効率的な方法を理解している</li> <li>5. 文型と品詞を理解し、英文を正しく分析的に理解できる</li> <li>6. 知らない単語や表現を辞書で調べ、文脈においてどのように使われているのかが理解できる</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	授業内容の復習
	2	長母音・短母音	授業内容の復習
	3	二重母音	授業内容の復習
	4	子音（破裂音、摩擦音、破擦音）	授業内容の復習
	5	子音（RとL）	授業内容の復習
	6	子音（鼻音、その他）	授業内容の復習
	7	音の連続；文型と品詞について	授業内容の復習
	8	文アクセントとリズム；第1～第3動詞型	授業内容の復習
	9	綴りと発音の規則；第4～第5動詞型	授業内容の復習
	10	助動詞	授業内容の復習
	11	綴りと発音の規則2；疑問文・命令文	授業内容の復習
	12	名詞	授業内容の復習
	13	音の脱落；進行形	授業内容の復習
	14	受動態	授業内容の復習
	15	「tr」「dr」の発音；受動態2	授業内容の復習
	16	完了	授業内容の復習
	17	語中の飲み込まれる音；完了2	授業内容の復習
	18	完了3	授業内容の復習
	19	副詞節	授業内容の復習
	20	分詞構文	授業内容の復習
	21	分詞構文2	授業内容の復習
	22	不定詞	授業内容の復習
	23	関係代名詞	授業内容の復習
	24	関係代名詞2	授業内容の復習
	25	関係代名詞3・関係副詞	授業内容の復習
	26	関係形容詞	授業内容の復習
	27	動名詞	授業内容の復習
	28	不定詞	授業内容の復習
	29	使役動詞・知覚動詞	授業内容の復習
30	まとめ	授業内容の復習	
31	期末試験	学んだ知識の整理	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Jack C. Richards and David Bohlke 『Speak Now: Level 1』 (Oxford University Press) (ISBN 978-0-19-403015-1)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学が特段の事情を認めた場合を除き、授業回数の1/3を超える欠席をした場合は不可とする。</li> <li>・ 遅刻は2回で欠席1回とみなす。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>提出課題 (70%)、期末課題 (30%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「関連科目」英語II  「次のステージ」英語関連科目をさらに受講するだけでなく、自分の関心のある出来事について英語で情報収集するなど、身近なことから英語を使う機会を増やそう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月 1・水 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	萩埜 亮[日文]	1年	5号館519号室 (水曜3校時) r.hagino@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	正しい発音の仕方を理解し、ネイティブの発音を模倣し、英語を実際に発話しながら学習する方法を徹底して学ぶ。インターネットを活用しながら英語を自習するための基礎として、発音（インターネットなどの表現を含む）・辞書の引き方・単語学習、そして学習習慣の作り方などを習得する。	この授業では、「なぜ、なんのために英語を学ぶのか」という根本的な問いからスタートして、自分で定めた目標のために着実な成果を出すための本質的な学びのあり方を習得する。従って、単に英語ができるようになるため、だけではなく、人生におけるあらゆる物事への取り組み方としての「学習法」を、この授業を通じて身につけてもらいたい。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語の学習を習慣化し、毎日勉強できる</li> <li>2. 自分の学習法を分析・評価し、必要な修正を加えることができる</li> <li>3. 綴りと発音の関係を正しく理解し、自分の発音を自分で評価できる。また、他の人の発音を聴いて評価することができる。</li> <li>4. インターネット上の動画を使って学習するための効率的な方法を理解している</li> <li>5. 文型と品詞を理解し、英文を正しく分析的に理解できる</li> <li>6. 知らない単語や表現を辞書で調べ、文脈においてどのように使われているのかが理解できる</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	配布資料の確認
	2	長母音・短母音	授業内容の復習
	3	二重母音	授業内容の復習
	4	子音（破裂音、摩擦音、破擦音）	授業内容の復習
	5	子音（RとL）	授業内容の復習
	6	子音（鼻音、その他）	授業内容の復習
	7	音の連続；文型と品詞について	授業内容の復習
	8	文アクセントとリズム	授業内容の復習
	9	綴りと発音の規則	授業内容の復習
	10	助動詞	授業内容の復習
	11	綴りと発音の規則 2；疑問文・命令文	授業内容の復習
	12	名詞	授業内容の復習
	13	音の脱落；進行形	授業内容の復習
	14	受動態	授業内容の復習
	15	「tr」「dr」の発音；受動態 2	授業内容の復習
	16	完了	授業内容の復習
	17	語中の飲み込まれる音；完了 2	授業内容の復習
	18	完了 3	授業内容の復習
	19	副詞節	授業内容の復習
	20	分詞構文	授業内容の復習
	21	分詞構文 2	授業内容の復習
	22	不定詞	授業内容の復習
	23	関係代名詞	授業内容の復習
	24	関係代名詞 2	授業内容の復習
	25	関係代名詞 3	授業内容の復習
	26	関係形容詞	授業内容の復習
	27	動名詞	授業内容の復習
	28	不定詞	授業内容の復習
	29	使役動詞・知覚動詞	授業内容の復習
30	まとめ	授業内容の復習	
31	期末試験	学んだ知識の整理	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Jack C. Richards and David Bohlke 『Speak Now: Level 1』 (Oxford University Press) (ISBN 978-0-19-403015-1)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学が特段の事情を認めた場合を除き、授業回数の1/3を超える欠席をした場合は不可とする。</li> <li>・ 遅刻は2回で欠席1回とみなす。</li> <li>・ テスト範囲については詳しくは授業内で指示するが、教科書に出てきた単語や表現は全てテスト範囲に含まれると思って日々復習に励むこと。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>提出課題 (70%)、期末課題 (30%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「関連科目」英語II  「次のステージ」英語関連科目をさらに受講するだけでなく、自分の関心のある出来事について英語で情報収集するなど、身近なことから英語を使う機会を増やそう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジョーン ターバート [英米]	1年	Joan Tarbert Uezu ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills. Students will learn new vocabulary and how to use the vocabulary they already know in daily conversation. They will also study grammar as it is used in daily conversation. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	<p>As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to practice speaking in English. In general, I will only speak in English in class. Japanese will sometimes be used on handouts and quizzes, but I will do what I can to help students who are not Japanese.</p>
	到達目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally.</li> <li>• You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly.</li> <li>• You will be able to use the vocabulary and grammar you learn in daily conversation.</li> <li>• You will be able to give short presentations in English.</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Self-introductions	Buy text and supplies
	2	WH-questions	WH-questions
	3	Unit 1 (Classroom help language)	Study for quiz
	4	Quiz / Unit 1 (Classroom help language)	Write sentences
	5	Unit 2 (Talking about family)	p. 14-15
	6	Unit 2 (Talking about family)	Vocabulary for describing people
	7	Describing people	Describing people handout
	8	Describing people	Describing people handout
	9	Describing people	Study for quiz
	10	Quiz / Unit 4 (Abilities)	p. 23
	11	Unit 4 (Abilities)	Study for quiz
	12	Quiz / Unit 4 (Abilities)	p. 30
	13	Unit 5 (Emotions)	p. 30 handout
	14	Unit 5 (Emotions)	Study for quiz
	15	Quiz / Unit 5 (Emotions)	p. 38
	16	Unit 5 (Emotions)	p. 39
	17	Unit 6 (Prepositions of place)	p. 40-43
	18	Unit 6 (Prepositions of place)	p. 40-43
	19	Unit 6 (Prepositions of place)	Write sentences about room
	20	Unit 6 (Prepositions of place)	Study for quiz
	21	Rules	p. 47
	22	Unit 7 (Permission)	Finish chart
	23	Unit 7 (Permission)	Health problems handout
	24	Health problems	Study for quiz
	25	Quiz / Health problems	Prepare for interview
	26	Review	Prepare for interview
	27	Interview test	Prepare for interview / Review
	28	Interview test	Prepare for interview / Review
	29	Interview test	Review for exam
30	Final exam	Review for listening test	
31	Listening test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English I will cover the first half of the text, On Your Marks! (Intercom Press). You will write in the textbook, so you need to buy a NEW textbook. You cannot use a used textbook. In addition, the instructor will provide handouts. Please buy an A4 file for this class. Also, students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 30 minutes late to class= 1 absence / Being late twice= 1 absence</li> <li>• Less than 66% attendance= 不可</li> <li>• Homework must be done on time. Late homework=0</li> <li>• If you are absent when homework is due, please send it to me by email as soon as possible.</li> <li>• Students should use English in class as much as possible.</li> <li>• Cell phones cannot be used in class. They should be set to silent mode and put away during class.</li> <li>• Students should be quiet when the instructor is speaking.</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes/homework (60%)  Interview test (20%)  Class participation (10%)  Presentation (10%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in English II, as well as Oral Communication II.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月 4・木 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美[全学科(2年以上)]	2年	メールで問い合わせること。 ptt612@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、英語のリスニング・リーディングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。 講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 1~7)	Text: Unit 1 予習
	2	Call教室 Orientation (Viva! San Francisco)	Self introduction 準備
	3	Introduce Yourself (3~5 students) & Text Unit 1	Text: Unit 1 予習
	4	Viva! San Francisco, Chapter 1	Text: Unit 1 課題
	5	Introduce Yourself & Text Unit 1	Text Unit 1 復習
	6	Viva! San Francisco, Chapter 2	Diary in English 英文日記を書く
	7	Introduce Yourself & Text Unit 2	Text: Unit 2 予習
	8	Viva! San Francisco, Chapter 3	Text: Unit 2 課題
	9	Introduce Yourself & Text Unit 2	Diary in English 英文日記を書く
	10	Viva! San Francisco, Chapter 4	Text: Unit 3 予習
	11	Introduce Yourself & Text Unit 3	Text: Unit 3 課題
	12	Viva! San Francisco, Chapter 5	Diary in English 英文日記を書く
	13	Introduce Yourself & Text Unit 3	Text: Unit 3 課題
	14	Assignment: Dictation (英語の曲の書き取り)	Dictation
	15	Text: Unit 3 & Review Unit 1 & 2 for Mid-term exam	Text: Unit 3 復習
	16	Mid-term examination	Text: Unit 1-3 復習
	17	Text: Unit 4	Text: Unit 4 予習
	18	Viva! San Francisco, Chapter 6	Text: Unit 4 課題
	19	Text: Unit 4	Text: Unit 4 復習
	20	Viva! San Francisco, Chapter 7	Diary in English 英文日記を書く
	21	Text: Unit 5	Text: Unit 5 予習
	22	Viva! San Francisco, Chapter 8	Text: Unit 5 課題
	23	Text: Unit 6	Text: Unit 6 予習
	24	Viva! San Francisco, Chapter 9	Text: Unit 6 課題
	25	Text: Unit 6	課題: Presentation
	26	Viva! San Francisco, Chapter 10	課題: グループで練習
	27	Text: Unit 7 & Presentation	Text: Unit 7 予習
	28	Text: Unit 7 & Presentation	Text: Unit 7 課題
	29	Presentation	課題: グループで練習
30	Review Unit 4~7 & Final Examination	Text: Unit 4-7 復習	
31	Review Final Examination & Make-up Exam	Final examination 復習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：Answers to Everyday Questions 2 「南雲堂」¥2,200</p>							
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 15分までの遅刻は、3回で1回の欠席とみなす。15分以上30分までの遅刻は、2回で1回の欠席とみなす。</li> <li>2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</li> </ol>							
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>中間テスト：20%</td> <td>期末テスト：20%</td> </tr> <tr> <td>クイズ：5%</td> <td>提出物：20%</td> </tr> <tr> <td>課題(presentationなど)：15%</td> <td>授業参加率：10%</td> </tr> <tr> <td>講義への貢献度：10%</td> <td></td> </tr> </table>	中間テスト：20%	期末テスト：20%	クイズ：5%	提出物：20%	課題(presentationなど)：15%	授業参加率：10%	講義への貢献度：10%
中間テスト：20%	期末テスト：20%							
クイズ：5%	提出物：20%							
課題(presentationなど)：15%	授業参加率：10%							
講義への貢献度：10%								
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          英語 II</p>							



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水 1・金 1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗[産業情報]	1年	E-mail : ptt929@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>文法にとらわれず、比較的優しい英語を使って世界の人々とのコミュニケーションをとれるように学習する。英語圏での留学を希望する学生の生活体験英語や、日常的に英語で対話できるようになることを目的とする。また、将来外国旅行や外国での生活に役立てるように映像を利用してlistening の力を付けることも目標とする。</p>	<p>中学・高校を通して、学校ではあまり英語を話すチャンスを与えられていないので、この授業では、日常生活における基本的な英語の学習を中心に進めていきたい。</p>
	到達目標	
	この授業を通年に渡り履修することによって、基礎的な英語から学習し、自己アピールや外国人とのコミュニケーションの方法を身につけていく。卒業後の就職にも役に立つような実践的な英語習得を目標とする。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (授業形態・テキスト紹介) / 講師自己紹介/ 自己紹介文の書き方	自己紹介文 (英語) の準備
	2	Unit 1 (Welcome to L.A)	Unit 1の予習
	3	Review Unit 1	Home waork (Forms)
	4	Unit 2 (I love fruit!)	Unit 2の予習
	5	Review Unit 2	Home waork (Forms)
	6	Unit 3 (Campus Life)	Unit 3の予習
	7	Review Unit 3	Home waork (Forms)
	8	Unit 4 (Lunchtime)	Unit 4の予習
	9	Review Unit 4	Home waork (Forms)
	10	Unit 5 (First date)	Unit 5の予習
	11	Review Unit 5	Home waork (Forms)
	12	Unit 6 (Where's Linda? )	Unit 6の予習
	13	Review Unit 6	Home waork (Forms)
	14	Unit 7 (Andy's News)	Review Unit 1~6
	15	Review Unit 7	Unit 7の予習
	16	Unit 8 (Shopping in Santa Monica)	Home waork (Forms)
	17	Review Unit 8	Unit 8の予習
	18	Unit 9 (Moving Day)	Home waork (Forms)
	19	Review Unit 9	Unit 9の予習
	20	Unit 10 (A Beautiful View)	Home waork (Forms)
	21	Review Unit 10	Unit 10の予習
	22	Unit 11 (Sunday Fun)	Home waork (Forms)
	23	Review Unit 11	Unit 11の予習
	24	Unit 12 (Seeing Starts)	Home waork (Forms)
	25	Review Unit 12	Unit 12の予習
	26	Unit 13 (Buying Food for a BBQ)	Home waork (Forms)
	27	Review Unit 13	Unit 13の予習
	28	Unit 14 (Putting on a New Face)	Home waork (Forms)
	29	Review Unit 14	Unit 14の予習:Homework (Forms)
	30	Unit 15 (Nice Surprisies)	Unit 15の予習:Homework (Forms)
31	Final Exam (Text Unit 1~15)	Review / Final Exam	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Text : We Love L.A. ! KINSEIDO 出版 ¥2,500 (映像で学ぶ大学基礎英語)</p>
	<p>学びの手立て テキストを中心に、予習・復習をすること。テキストには授業で使用するDVDが付属されているので、PCを利用して事前に授業内容を把握して、質問等を準備して授業に臨むことで、英語で聞くこと、英語で考える力を養う。また、miniconversation の部分は暗記するくらいくり返し練習することが望ましい。</p>
	<p>評価 (1) 自己紹介文 (英文) 10点 (2) 授業への取り組み・発表 10点 (3) Pair Work 10点 (4) Homework (Forms) 20点 (3) Final Exam : 50点      *以上、(1) ~ (4) の合計100点を基準として評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 この授業では、大学生活における日常英語を通して学び、実践的な英語を身に着けることを目標とするが、次への関連科目としては、自己や、自国の諸事情を英語を通して他に伝えることができるような学習を目標とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [法律・地行]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Student Photos, Unit 0: Useful Phrases, Countable Nouns, the verb 'to Be'	Read p2+3
	2	Grammar: There is/are, p.4 Yes/No ex., p.7 illustration together with teacher	Do p 5+6, practice p7
	3	HW p. 5+6 - Questions, p.7 illustration ex. In pairs, Grammar take-home test in class	G-t-h- test, Rev p4+7
	4	p.8+10 in pairs, p.11+12, review p.7	In Class Test 1 for Unit 0
	5	HW In Class Test for Unit 0 - Questions, p.11+12 again in pairs, p.13+14, p.5 in pairs	p15+16
	6	HW p.15+16 - Questions, Test for Unit 0 + Correct in class	Listen to Unit 1 song
	7	Unit 1 Grammar - p.7-8 Pres. Cont., General verbs, Helping Verbs, Verbs of emotion	Do p12+13, review handout
	8	HW - Questions, p.2 Song, p.3 pron, p.5 Vocab, p.10 in pairs	p.4,6, Song, Q.F. 1+2
	9	HW - Questions, p.11 in class, p.14 pairs, p.15 pairs, p.16	p11, G-t-h-test
	10	p.14,15,16,17,18 in pairs	p19+20, I-C-T-1
	11	HW p.19+20 - Questions, In Class Test 1 U.1 Questions, Test for Unit 1 + Correct in class	Listen to Unit 2 song
	12	Unit 2 Grammar - 27-29 Uncountable Nouns, Want + Would like, Some + Any, p.22 Song	p.32,33
	13	HW p.32,33 - Questions, p.22 song, p.23 pron, p.25 Vocab, p.30 ex	Grammar take-home test, song
	14	HW - Questions, p.31 in class, p.34 pairs, p.35 pairs, p.36	practice song, p.39+40
	15	HW p.39+40 - Questions, p.37,38 in pairs, p.34 again, p.35 again	In Class Test 1 U.2
	16	HW In Class Test 1 U.2 - Questions, Test for Unit 2 + Correct in class	Listen to Unit 3 song
	17	Unit 3 Grammar - p.47-49 Adjectives, Comparative + Superlative	p.51,52,53
	18	HW p.51,52,53 - Questions, p.42 song, p.43 pron, p.45 Vocab, p.50 ex	p.44,46, Grammar take-home test
	19	p.51 yes/no ex, p.54 ex, p.55, p.56	p.59+60
	20	HW p.59+60 - Questions, p.54 again, p.57+58 pairs, review p.55,56	In Class test 1 U.3
	21	HW In Class test 1 U.3 - Questions, Test for Unit 3 + Correct in Class	Listen to Unit 4 song
	22	Unit 4 Grammar p.67-69 Past Tense, p.62 song	p.71,72,73
	23	HW p.71,72,73 - Questions, p.62 song, p.63 pron, p.65 Vocab, p.70 Yes/No ex	Grammar take-home test
	24	HW Grammar take-home test - Questions, p.71, p.74, p.75, p.76 (in pairs)	p.79+80
	25	HW p.79+80 - Questions, p.74 again, p.77+78, p.75 again	In Class test 1 U.4
	26	HW In Class test 1 U.4 - Questions, Test for Unit 4 + Correct in class	Listen to Unit 5 song
	27	Unit 5 Grammar p.87-89 Verb combos, prepositions, pronouns, p.82 song	p.91,92,93
	28	HW p.91,92,93 - Questions, p.82 song, p.83 pron, p.85 Vocab, p.90 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p.91, p.94., p.95, p.96 (in pairs)	p.99+100
	30	HW p.99+100 - Questions, p.94 again, p.97+98, p.95 again	In Class test 1 U.5
31	HW In Class test 1 U.5 - Questions, Test for Unit 5 + Correct in class	Enjoy the summer break!!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition  Red Bird Books in Japan  2500 yen tax included  Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class.  We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Attendance: 20%  Tests:80%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語II  Please listen to the recordings on the website to keep English fresh in your head.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [地域環境政策]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Student Photos, Unit 0: Useful Phrases, Countable Nouns, the verb 'to Be'	Read p2+3
	2	Grammar: There is/are, p.4 Yes/No ex., p.7 illustration together with teacher	Do p 5+6, practice p7
	3	HW p. 5+6 - Questions, p.7 illustration ex. In pairs, Grammar take-home test in class	G-t-h- test, Rev p4+7
	4	p.8+10 in pairs, p.11+12, review p.7	In Class Test 1 for Unit 0
	5	HW In Class Test for Unit 0 - Questions, p.11+12 again in pairs, p.13+14, p.5 in pairs	p15+16
	6	HW p.15+16 - Questions, Test for Unit 0 + Correct in class	Listen to Unit 1 song
	7	Unit 1 Grammar - p.7-8 Pres. Cont., General verbs, Helping Verbs, Verbs of emotion	Do p12+13, review handout
	8	HW - Questions, p.2 Song, p.3 pron, p.5 Vocab, p.10 in pairs	p.4,6, Song, Q.F. 1+2
	9	HW - Questions, p.11 in class, p.14 pairs, p.15 pairs, p.16	p11, G-t-h-test
	10	p.14,15,16,17,18 in pairs	p19+20, I-C-T-1
	11	HW p.19+20 - Questions, In Class Test 1 U.1 Questions, Test for Unit 1 + Correct in class	Listen to Unit 2 song
	12	Unit 2 Grammar - 27-29 Uncountable Nouns, Want + Would like, Some + Any, p.22 Song	p.32,33
	13	HW p.32,33 - Questions, p.22 song, p.23 pron, p.25 Vocab, p.30 ex	Grammar take-home test, song
	14	HW - Questions, p.31 in class, p.34 pairs, p.35 pairs, p.36	practice song, p.39+40
	15	HW p.39+40 - Questions, p.37,38 in pairs, p.34 again, p.35 again	In Class Test 1 U.2
	16	HW In Class Test 1 U.2 - Questions, Test for Unit 2 + Correct in class	Listen to Unit 3 song
	17	Unit 3 Grammar - p.47-49 Adjectives, Comparative + Superlative	p.51,52,53
	18	HW p.51,52,53 - Questions, p.42 song, p.43 pron, p.45 Vocab, p.50 ex	p.44,46, Grammar take-home test
	19	p.51 yes/no ex, p.54 ex, p.55, p.56	p.59+60
	20	HW p.59+60 - Questions, p.54 again, p.57+58 pairs, review p.55,56	In Class test 1 U.3
	21	HW In Class test 1 U.3 - Questions, Test for Unit 3 + Correct in Class	Listen to Unit 4 song
	22	Unit 4 Grammar p.67-69 Past Tense, p.62 song	p.71,72,73
	23	HW p.71,72,73 - Questions, p.62 song, p.63 pron, p.65 Vocab, p.70 Yes/No ex	Grammar take-home test
	24	HW Grammar take-home test - Questions, p.71, p.74, p.75, p.76 (in pairs)	p.79+80
	25	HW p.79+80 - Questions, p.74 again, p.77+78, p.75 again	In Class test 1 U.4
	26	HW In Class test 1 U.4 - Questions, Test for Unit 4 + Correct in class	Listen to Unit 5 song
	27	Unit 5 Grammar p.87-89 Verb combos, prepositions, pronouns, p.82 song	p.91,92,93
	28	HW p.91,92,93 - Questions, p.82 song, p.83 pron, p.85 Vocab, p.90 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p.91, p.94., p.95, p.96 (in pairs)	p.99+100
	30	HW p.99+100 - Questions, p.94 again, p.97+98, p.95 again	In Class test 1 U.5
	31	HW In Class test 1 U.5 - Questions, Test for Unit 5 + Correct in class	Enjoy the summer break!!

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition  Red Bird Books in Japan  2500 yen tax included  Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class.  We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Attendance: 20%  Tests: 80%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語II  Please listen to the recordings on the website to keep English fresh in your head.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山入端 由美子[経済]	1年	講義室にて、もしくはメールにて受け付けます。	

学びの準備	ねらい 大学生として必要な「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能をバランスよく養成する。身近な話題に関する英語を聞き理解する。自らの考えを発信することができるようコミュニケーション活動を促す。文化の違いや類似点に気づき異文化理解を深める。	メッセージ 語学学習は楽しみながら行うことが一番です。使用教科書で扱っている英語を何度も聴き、自分で発声しながら自然に英語の表現が身につくよう努めてください。また時間外学習の教材としてウェブ学習を紹介します。
	到達目標 *身近な話題についての英語を聞き、理解できるようになる。 *コミュニケーションストラテジーを用い、身近な話題について書いたり自信を持って流ちょうに話せるようになる。 *読解問題に取り組むことで、文法・語彙・表現力を強化する。 *文化の違いや類似点に気づき理解する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	English I Class Orientation	Read English I course syllabus
	2	E-learning Orientation	E-learning
	3	Textbook Unit 1	Unit 1 Review (1)
	4	Textbook Unit 1	Unit 1 Review (2)
	5	Textbook Unit 1	Unit 1 Review (3)
	6	Textbook Unit 2	Unit 2 Review (1)
	7	Textbook Unit 2	Unit 2 Review (2)
	8	Textbook Unit 2	Unit 2 Review (3)
	9	Oral Presentation Preparation	Write a script for your OP
	10	Oral Presentation Day 1	Prepare for your OP
	11	Oral Presentation Day 2	Review
	12	Textbook Unit 3	Unit 3 Review (1)
	13	Textbook Unit 3	Unit 3 Review (2)
	14	Textbook Unit 3	Unit 3 Review (3)
	15	Mid-term Examination	Review Unit 1, 2, 3
	16	Mid-term Examination Review	Review your exam
	17	Textbook Unit 4	Unit 4 Review (1)
	18	Textbook Unit 4	Unit 4 Review (2)
	19	Textbook Unit 4	Unit 4 Review (3)
	20	Textbook Unit 5	Unit 5 Review (1)
	21	Textbook Unit 5	Unit 5 Review (2)
	22	Textbook Unit 5	Unit 5 Review (3)
	23	Oral Presentation Preparation	Write a script for your OP
	24	Oral Presentation Day 1	Prepare for your OP
	25	Oral Presentation Day 2	Review
	26	Textbook Unit 6	Unit 6 Review (1)
	27	Textbook Unit 6	Unit 6 Review (2)
	28	Textbook Unit 6	Unit 6 Review (3)
29	Textbook Unit 4, 5, 6	Review Unit 4, 5, 6	
30	Final Examination	Review Unit 4, 5, 6	
31	Reviewing Final Exam & Make-up Exam	Enjoy your summer vacation!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*使用教科書;最初の授業で紹介します。  *オンライン学習システム:教科書準拠の内容です。スマホやタブレットを用い学習の定着を図ります  *沖国ポータルサイトにある「授業連絡」を用い必要に応じて連絡することがあります。常にチェックする習慣をつけてください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①授業出席数が単位修得にとって重要な鍵となります。欠席が10回以上あると単位修得できません。  ②授業遅刻15分以上は減点となります。  ③体調不良などで欠席する際は、講師に直接連絡してください。E-mail: ptt1230@okiu.ac.jp  ④授業には積極的・主体的に参加してください。  ⑤ウェブ学習にも積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>Review tests, exams, oral presentations, essays (85%)  Web-learning: LMS (15%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップは後期開講の英語Ⅱです。話す・聞くを中心とした実践的コミュニケーション力向上を目指します。講義以外でも、皆さんがご自身の興味・関心のある分野から積極的に英語の情報にアクセスし視野を広げることがを期待します。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[法律・地行]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語基礎力と様々な場面で使える英語を取り上げます。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツ学習をし吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション（英語 I のねらい、注意事項、テキスト等の説明）他	テキスト購入と英語ノート準備
	2	テキスト確認と付属e-learning説明、テキスト関連学習	テキスト次回予習
	3	テキストUnit1-1, Unit1e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	4	テキストUnit1-2, Unit1 e-learning	テキスト復習と次回予習
	5	テキストUnit1-3, Unit1 e-learning	テキスト復習と次回予習
	6	テキストUnit2-1, Unit2 e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	7	テキストUnit2-2, Unit2 e-learning	テキスト復習と次回予習
	8	テキストUnit2-3, Unit2 e-learning	テキスト復習と次回予習
	9	テキストUnit1&2 e-learning学習しあげ	テキスト次回予習
	10	テキストUnit3-1, Unit3 e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	11	テキストUnit3-2, Unit3 e-learning	テキスト復習と次回予習
	12	テキストUnit3-3, Unit3 e-learning	テキスト復習と次回予習
	13	テキストUnit1～3の会話スピーキング練習仕上げによるActivity1(スピーキング) 提出	テキスト次回予習
	14	テキストUnit4-1, Unit4 e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	15	テキストUnit4-2, Unit4e-learning	テキスト復習と次回予習
	16	テキストUnit4-3, Unit4e-learning	テキスト復習と次回予習
	17	テキストUnit3&4 e-learning学習しあげ	テキスト次回予習
	18	Activity2(学んだ表現を生かして自己紹介文を書こう！) 提出	テキスト次回予習
	19	テキストUnit5-1, Unit5e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	20	テキストUnit5-2, Unit5e-learning	テキスト復習と次回予習
	21	テキストUnit5-3, Unit5e-learning	テキスト復習と次回予習
	22	テキストUnit6-1, Unit6e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	23	テキストUnit6-2, Unit6e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	24	テキストUnit6-3, Unit6e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	25	テキストUnit7-1, Unit7e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	26	テキストUnit7-2, Unit7e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	27	テキストUnit7-3, Unit7e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	28	テキストUnit5～7 e-learning学習しあげ	テキスト復習と次回予習
	29	テキストUnit4～7の会話スピーキング練習仕上げと、その課題3(スピーキング) 提出	英語 I 自主総復習
30	英語 I 総復習	次回ミニテストにむけて学習	
31	英語 I テキスト総復習ミニテスト	ミニテスト結果の振り返り	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは講義第一回目に紹介します。購入してください。また、テキストを自主的にまとめるB5サイズノートも必ず準備してください。</p>
	<p>学びの手立て          オンライン授業での各回の指示や案内をきちんと把握した上で、学習をすすめてください。また、疑問点等がある場合には、遠慮なく講師のメールをし聞いてください。自ら地道に学ぶ皆さんを応援します。</p>
	<p>評価          学習到達度（各授業回の各項目到達をもとに）30%， e-learning学習28%， Activity28%， テキスト学習ミニテスト14%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          前期の英語Ⅰにつづき、その時間系列および学習項目進度は英語Ⅱへとすすみます。英語Ⅰ受講生は英語Ⅱを必ず受講してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸[社文・人福]	1年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語の4技能のうち特に「リスニング」、「スピーキング」の技能向上を目指して学習し英語の基礎力アップを目指します。そのため、受講生の積極的な参加が望まれます。	講師自身の英語の出来なかった苦い経験や留学(アメリカ)の体験を活かし、英語の基礎的事項から指導します。英語に苦手意識を持っている方にとっては学び直しのチャンスです。又、英語の好きな方はますます英語を好きになるチャンスです。皆さん一緒に英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
到達目標	①多様なトピックに関連した基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ②聞いた英文に関して、論理的・客観的に自分の意見を述べる事ができる。 ③様々な英語に触れる(聴く・話す)ことを通して思考力・判断力・積極性、人間性を養う。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	シラバスをよく読む
	2	Unit1: College Life	教科書Unit 1を事前に読む
	3	Unit1 & Unit 2: Understanding Copyright	教科書Unit1&Unit2を事前に読む
	4	Unit 2	教科書Unit 2を事前に読む
	5	Unit1Quiz & Unit 3 Cyber Bullying	教科書Unit 3を事前に読む
	6	Unit 3	教科書Unit 3を事前に読む
	7	Unit2 Quiz & Unit 4 Tourism	教科書Unit 4を事前に読む
	8	Unit3 Quiz & Unit4	教科書Unit 4を事前に読む
	9	Unit 5 Foreign Encounters	教科書Unit 5を事前に読む
	10	Unit 4 Quiz & Unit 5	教科書Unit 5を事前に読む
	11	Unit 6 Entertainment	教科書Unit 6を事前に読む
	12	Unit5 Quiz & Unit 6	教科書Unit 6を事前に読む
	13	中間試験対策	中間試験対策をする
	14	中間試験 (Unit1-6)	中間試験対策をする
	15	Unit7 International Affairs	教科書Unit 7を事前に読む
	16	中間試験返却 & Unit7	教科書Unit 7を事前に読む
	17	Unit8 Technology	教科書Unit 8を事前に読む
	18	Unit 7 Quiz & Unit 8	教科書Unit 8を事前に読む
	19	Unit 9 My future	教科書Unit 9を事前に読む
	20	Unit8 Quiz & Unit 9	教科書Unit 9を事前に読む
	21	Unit 10 Personal Finance	教科書Unit10を事前に読む
	22	Unit 9 Quiz & Unit 10	教科書Unit10を事前に読む
	23	Unit11Health	教科書Unit11を事前に読む
	24	Unit 10 Quiz & Unit 11	教科書Unit11を事前に読む
	25	Unit12 Diversity	教科書Unit12を事前に読む
	26	Unit 11 Quiz & Unit12	教科書Unit12を事前に読む
	27	Extra reading 1	講師指定の教材を事前に読む
	28	Unit12 Quiz & Extra Reading 2	クイズの準備
	29	Extra Reading 3	講師指定の教材を事前に読む
30	期末試験対策	期末試験対策をする	
31	期末試験: Unit7-12	期末試験対策をする	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Global Perspectives Listening &amp; Speaking Book 1 成美堂 中西のりこ他 (2023年) 定価 2,750円</li> <li>2. 必要なプリント等は講義の際に配布する。</li> </ol>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。</li> <li>2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。</li> <li>3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。</li> <li>4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。</li> <li>5. 遅刻、私語、居眠り、授業に関係ない携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</li> </ol>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>平常点（授業参加度）30%、宿題・課題（レポートなど）・小テスト 30%、中間試験20%、期末試験20%の結果により総合的に評価する。総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力特に（リスニングとスピーキング）の習得を目指し、さらなる英語の運用能力の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語II」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [企業システム]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、インターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。	中学校教諭としての現場での経験を活かし、英語の基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。</li> <li>・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。</li> <li>・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語の基礎力養成 1	英語による自己紹介の練習
	3	Viva! San Francisco Ch.1	役立つ英語表現（1）の暗唱
	4	英語の基礎力養成 2	English Ace Unit 1の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.2他	役立つ英語表現（2）の暗唱
	6	英語の基礎力養成 3	English Ace Unit 2の復習
	7	Viva! San Francisco Ch.3他	役立つ英語表現（3）の暗唱
	8	英語の基礎力養成 4	English Ace Unit 3の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.4他	役立つ英語表現（4）の暗唱
	10	英語の基礎力養成 5	English Ace Unit 4の復習
	11	Viva! San Francisco Ch.5他	役立つ英語表現（5）の暗唱
	12	英語の基礎力養成 6	English Ace Unit 5の復習
	13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	役立つ英語表現の総復習
	14	英語の基礎力養成 7	English Ace Unit 6の復習
	15	Viva! San Francisco Ch.6他	役立つ英語表現（6）の暗唱
	16	英語の基礎力養成 1～7（中間点検）	English Ace Unit 1～6の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.7他	役立つ英語表現（7）の暗唱
	18	英語の基礎力養成 8	English Ace Unit 7の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.8他	役立つ英語表現（8）の暗唱
	20	スピーチテスト準備	スピーチテスト原稿の作成
	21	Viva! San Francisco Ch.9他	役立つ英語表現（9）の暗唱
	22	スピーチテスト原稿提出	スピーチ原稿の暗唱
	23	Viva! San Francisco Ch.10他	役立つ英語表現（10）の暗唱
	24	英語の基礎力養成 9	English Ace Unit 8の復習
	25	Viva! San Francisco Ch.11他	役立つ英語表現（11）の暗唱
	26	英語の基礎力養成 10	語彙力アップ（1）
	27	Viva! San Franciscoの総まとめ（1）	役立つ英語表現の総復習
	28	英語の基礎力養成 11	語彙力アップ（2）
	29	Viva! San Franciscoの総まとめ（2）	役立つ英語表現の総復習
30	英語の基礎力養成 12	English Ace Unit 1～8の総復習	
31	英語の基礎力養成 8～12（期末点検）	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし)</li> <li>2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義への出席確認は、ポータル授業連絡を通して行うので、毎回ポータルの掲示をチェックすること。</li> <li>・ 課題提出等、積極的な態度で挑むように心がけること。</li> <li>・ 講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>授業参加度(15%)、中間テスト(30%)、スピーチテスト(15%)、期末テスト(40%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章[地域環境政策]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 中学校・高校で学んだ文法の復習をしながら様々なテーマについて英語で視聴、発信、記述していきます。「継続は力なり。」です。休まずに、コツコツと勉強していきましょう。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス + Unit1(1) : Friends and Family (Be動詞現在形肯定文、疑問文)	Unit1 Review1
	2	Unit1(2) : Friends and Family	Unit1 Review2
	3	Unit1(3) : Friends and Family	Unit1 Review3
	4	Unit1(4) : Friends and Family	Unit1 Review4
	5	Unit2(1) : Jobs around the World (Be動詞現在形否定文、不定冠詞)	Unit2 Review1
	6	Unit2(2) : Jobs around the World	Unit2 Review2
	7	Unit2(3) : Jobs around the World	Unit2 Review3
	8	Unit2(4) : Jobs around the World	Unit2 Review4
	9	Unit3(1) : Houses and Apartments (There is/There are構文、場所を表す前置詞)	Unit3 Review1
	10	Unit3(2) : Houses and Apartments	Unit3 Review2
	11	Unit3(3) : Houses and Apartments	Unit3 Review3
	12	Unit3(4) : Houses and Apartments	Unit3 Review4
	13	中間テスト	オフ日
	14	Unit4(1) : Possessions (指示詞、所有格、Have/Has)	Unit4 Review1
	15	Unit4(2) : Possessions	Unit4 Review2
	16	Unit4(3) : Possessions	Unit4 Review3
	17	Unit4(4) : Possessions	Unit4 Review4
	18	English Special Program	ESP Review
	19	Unit5(1) : Daily Activities (現在形、頻度を表す副詞、命令文)	Unit5 Review1
	20	Unit5(2) : Daily Activities	Unit5 Review2
	21	Unit5(3) : Daily Activities	Unit5 Review3
	22	Unit5(4) : Daily Activities	Unit5 Review4
	23	Unit6(1) : Getting Around (道案内、Have to)	Unit6 Review1
	24	Unit6(2) : Getting Around	Unit6 Review2
	25	Unit6(3) : Getting Around	Unit6 Review3
	26	Unit6(4) : Getting Around	Unit6 Review4
	27	Unit7(1) : Free Time (現在進行形、能力を表すCan)	Unit7 Review1
	28	Unit7(2) : Free Time	Unit7 Review2
	29	Unit7(3) : Free Time	Unit7 Review3
30	Unit7(4) : Free Time	Unit7 Review4	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。  (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。  (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)  (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。  (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価)  英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価)  授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>



※ポリシーとの関連性 「リスニング・スピーキング力を重点的に訓練する」と同時に、語彙力や文法力にも力を入れ、総合的な基礎英語力向上を目指す。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>日常的なトピックやアクティビティを通して、リスニングとスピーキングを中心に、4つの基本スキルに加え、語彙、文法をバランスよく学習する。学生一人一人が英語で伝えたいことを常に意識し、自身に必要な英単語や表現を積極的に学ぶことを期待する。また、ペアワークやグループワークを通して共に学び、英語学習が楽しくできる環境作りを目指す。</p>	<p>【実務経験】2001年から様々な現場で英語講師をしてきた経験を活かし、学生が更に英語に興味を持ち、自主的に学習するような授業にしていきたいと思っています。出席は必須なので学ぶ体制を整えて授業に積極的に参加してください。See you in class! 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で自己紹介ができる。</li> <li>興味のあることや、身近かな事柄について基礎的な英語を用いて話すことができる。</li> <li>英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。</li> <li>タスクを行うための情報収集・問題解決方法を自ら考え、実行できる。</li> <li>授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。</li> </ul>
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション&ガイダンス Unit 1: Hello!	シラバスを読む。Unit 1復習
	2	Unit 1: Hello!	Unit 1復習
	3	Unit 1: Hello!	Unit 1復習
	4	Unit 1: Hello!	Unit 1復習 Unit 2予習
	5	Unit 2: Your world	Unit 2復習
	6	Unit 2: Your world	Unit 2予習
	7	Unit 2: Your world	Unit 2復習
	8	Unit 2: Your world	Unit 2復習 Unit 3予習
	9	Unit 3: All about you	Unit 3復習
	10	Unit 3: All about you	Unit 3復習
	11	Unit 3: All about you	Unit 3復習
	12	Unit 3: All about you	Unit 3復習 Unit 4予習
	13	Unit 4: Family and friends	Unit 4復習
	14	Unit 4: Family and friends	Unit 4復習
	15	Unit 4: Family and friends	Unit 4復習
	16	Unit 4: Family and friends	Unit 1-4復習 Review準備
	17	Unit 1-4 Review & 課題発表	Unit 5予習 課題
	18	Unit 5: The way I live	Unit 5復習
	19	Unit 5: The way I live	Unit 5復習
	20	Unit 5: The way I live	Unit 5復習
	21	Unit 5: The way I live	Unit 6予習
	22	Unit 6: Every day	Unit 6復習
	23	Unit 6: Every day	Unit 6復習
	24	Unit 6: Every day	Unit 6復習
	25	Unit 6: Every day	Unit 6復習 Unit 7予習
	26	Unit 7: My favorites	Unit 7復習
	27	Unit 7: My favorites	Unit 7復習
	28	Unit 7: My favorites	Unit 7復習
	29	Unit 7: My favorites	Unit 1-7復習
30	Unit 1-7 Review	Unit 1-7復習	
31	Review Unit 1-7		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Third Edition Level Starter Student Book with Oxford Online Skills：Oxford University Press（朝野書房やアマゾンなどで購入可）</p> <p>参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。</li> <li>・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。</li> <li>・ほぼ毎回授業の理解度・学習Assessmentを行うので予習・復習を自主的かつ積極的に行うこと。</li> <li>・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業へ参加・積極性・貢献度（25%）②課題：（25%）③授業の理解度・学習Assessment：（25%）④Self Reflection/Analysis=振り返り・自己分析（25%）を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iで学んだことを積極的に活用し、後期の英語IIで応用・活用できるようにしてほしい。また、日常生活でも英語を使うことを心がけ、自分からその機会を作ることが大切である。夏休みという長期の休みを利用して英検やTOEICと言った英語の資格試験にチャレンジしたり、海外旅行や国際ボランティア活動にも参加するのも良い経験になるだろう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月1・水4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡慶次 マーガレット 有子[日文]	1年	① 大学メール ptt1186@okiu.ac.jp ② 授業終了後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①学習者が自信を持って会話ができるように、スピーキング中心の4技能教材を使用する。多様なペアワークやグループワークを通して、コミュニケーション能力を養う。 ②リスニングアクティビティでは、日常的に使われる会話表現や、語彙を習得し、聴解力を高める。	①予習を前提として授業を進めるので、テキストの英文を下調べしわからない単語やフレーズは確認しておくこと。 ②各Unitにあるエクササイズにもあらかじめ答えておくこと。

到達目標
①英語で自分の考えを伝えることができる。 ②プレゼンテーションスキルを学び、英語でプレゼンテーションを行なうことができる。 ③パッセージに出てくる語彙や重要文法項目を使って、英語でパラグラフを書くことができる。 ④音声を聞いて、リスニング問題に答えることができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (授業の目的や進め方について説明する)	Student Questionnaire
	2	Unit1 [Lifestyles] Grammar Exercises (simple present)	Supplementary Reading
	3	Unit1 Listening Exercises	Vocabulary Building
	4	Unit1 Group Work	Readingの予習
	5	Unit1 Reading Exercises	Grammar Exercises
	6	Unit2 [Leisure] Grammar Exercises (present continuous)	Vocabulary Building
	7	Unit2 Listening Exercises	Writing Assignment#1
	8	Unit2 Group Work	Readingの予習
	9	Unit2 Reading Exercises	TEST#1の準備
	10	TEST#1 Grammar Exercises (making requests)	TEST#1の復習
	11	Unit3 [Listening Exercises]	Writing Assignment#2
	12	Unit3 Group Work	Readingの予習
	13	Unit3 Reading Exercises	Grammar Exercises
	14	Unit4 [Interests] Grammar Exercises (simple past)	PRESENTATION#1の準備
	15	PRESENTATION#1	Peer Assessment
	16	Unit4 Group Work	Vocabulary Building
	17	Unit4 Listening Exercises	Grammar Exercises
	18	Unit5 [Telling a story] Grammar Exercises (past continuous)	Writing Assignment#3
	19	Unit5 Reading Exercises	TEST#2の準備
	20	TEST#2	Readingの予習
	21	Unit5 Listening Exercises	Grammar Exercises
	22	Unit6 [Celebrations] Grammar Exercises (future plans; decisions)	Writing Assignment#4
	23	Unit6 Listening Exercises	Vocabulary Building
	24	Unit6 Group Work	Peer Assessment
	25	Unit6 Reading Exercises	Supplementary Reading
	26	Movie	Summary Writing
	27	Movie	Readingの予習
	28	Reading Exercises	Supplementary Reading
	29	Writing Exercises	PRESENTATION#2の準備
30	PRESENTATION#2	FINAL TESTの準備	
31	FINAL TEST	Course Assessment	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト『Breakthrough PLUS 2』 Macmillan Language House, 2012 ISBN 978-1-380-00313-3</p> <p>② 参考資料は授業で配布する。</p>														
	<p>学びの手立て</p> <p>① 全体の1/3以上欠席した場合、単位は与えられない。</p> <p>② 回遅刻=1回欠席とみなす。</p> <p>③ 積極的に授業に貢献することを期待する。</p> <p>④ 計画を立てて学習し、課題は、期日以内に提出すること。</p> <p>⑤ 間違いを恐れずに、堂々と自分の考えを述べましょう。</p> <p>⑥ 授業計画は、授業の状況により変更する場合があります。</p>														
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>① Tests</td> <td>30% (15%X2)</td> <td>上記の到達目標3,4を評価</td> </tr> <tr> <td>② Presentations</td> <td>20% (10%X2)</td> <td>上記の到達目標1-4を評価</td> </tr> <tr> <td>③ Writing Assignments</td> <td>20% (5%X4)</td> <td>上記の到達目標3を評価</td> </tr> <tr> <td>④ Final Test</td> <td>20%</td> <td>上記の到達目標3,4を評価</td> </tr> <tr> <td>⑤ 授業参加度、貢献度、出席</td> <td>10%</td> <td>上記の到達目標1-4を評価</td> </tr> </table>	① Tests	30% (15%X2)	上記の到達目標3,4を評価	② Presentations	20% (10%X2)	上記の到達目標1-4を評価	③ Writing Assignments	20% (5%X4)	上記の到達目標3を評価	④ Final Test	20%	上記の到達目標3,4を評価	⑤ 授業参加度、貢献度、出席	10%
① Tests	30% (15%X2)	上記の到達目標3,4を評価													
② Presentations	20% (10%X2)	上記の到達目標1-4を評価													
③ Writing Assignments	20% (5%X4)	上記の到達目標3を評価													
④ Final Test	20%	上記の到達目標3,4を評価													
⑤ 授業参加度、貢献度、出席	10%	上記の到達目標1-4を評価													
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 I で学んだレッスンを復習し、英語IIを履修してください。</p>														

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火 2・金 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [経済]	1年	授業後に受け付けます。 大学メールでも受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し“発音”、“音読”に力を入れ「使える」英語を身につける。英語の基本的文法事項や表現の振り返りを行い、語彙力を高め聴き取りに活かし、リスニング力を高める。同時に英文音読を積極的に行い、英語を話す、使ってみる機会を増やし、英語運用能力を高める。</p>	<p>言語を学ぶということは、とても基本的な事、その言語を「聴く」「話す」「書く」「読む」を具体的に身体を使って繰り返すことです。それらの活動ができる場が授業です。授業を大いに活用し、状況によってペアー・グループワーク等で実際に英語を多用する機会を大切にしてください。そうすることで皆さんが日本語を学んできたように、英語も着実に身につけて来るはずですよ。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。</li> <li>2. 自分の事を英語で伝えることができる。</li> <li>3. 身近なことや自分の興味関心のあることを英語で表現できる。</li> <li>4. 英語学習においてインターネットを効果的に活用できる。</li> <li>5. 英語学習を通して国際的な視野を広げることができる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Call 教室オリエンテーション、Viva San Francisco Chapter 1	Call 機材の使い方周知
	2	オリエンテーション、自己紹介、Unit 1 Vocabulary	シラバスと授業内容の確認
	3	VSF Chapter 2, Text Unit 2 Vocabulary	会話表現確認、語彙
	4	Text Unit 1 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 8～12を事前に読む
	5	DVD 鑑賞、English song, English in News	日常表現聴解、語彙
	6	Text Unit 1 (Grammar, Reading)	Text p. 13～15を事前に読む
	7	Unit 1 Review Test, VFS Chapter 3, Unit 3 Vocabulary	Unit 1 復習、日常表現聴解、語彙
	8	Text Unit 2 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 18～20を事前に読む
	9	VFS Chapter 4, BBC Documentary "Water" Preview & Vocabulary	日常表現聴解、語彙
	10	Text Unit 2 (Grammar, Reading)	Text p. 21～23を事前に読む
	11	Unit 2 Review Test, VFS Chapter 5, Unit 4 Vocabulary	Unit 2 復習、日常表現聴解、語彙
	12	Text Unit 3 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 25～28を事前に読む
	13	VFS Chapter 6, Unit 5 Vocabulary, Grammar Review	日常表現聴解、語彙、文法復習
	14	Text Unit 3 (Grammar, Reading)	Text p. 29～31を事前に読む
	15	Unit 3 Review Test, BBC Documentary "Water" Practice, Grammar Review	復習、日常表現聴解、文法復習
	16	中間テスト	これまでの復習
	17	VFS Chapter 7, World Heritage "Grand Canyon" Preview	日常表現聴解、語彙
	18	Text Unit 4 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 33～36を事前に読む
	19	VSF Chapter 8, World Heritage "Grand Canyon" Vocabulary	日常表現聴解、語彙
	20	Text Unit 4 (Grammar, Reading)	Text p. 37～39を事前に読む
	21	Text Unit 5 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 41～44を事前に読む
	22	Unit 4 Review Test, VSF Chapter 9, Text Unit 7 Vocabulary	Unit 4 復習、日常表現聴解、語彙
	23	Text Unit 5 (Grammar, Reading)	Text p. 45～47を事前に読む
	24	Unit 5 Review Test, World Heritage "Grand Canyon" Practice	Unit 5 復習、表現確認、聴解
	25	Text Unit 7 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 57～60を事前に読む
	26	VSF Chapter 10, News in English, English Song	日常表現聴解、語彙
	27	Text Unit 7 (Grammar, Reading)	Text p. 61～63を事前に読む
	28	Unit 7 Review Test, DVD 鑑賞、English song	Unit 7 復習、日常表現聴解、語彙
	29	Grammar Review	文法項目復習
30	英語 I 振り返り	英語 I 振り返り、テストに備える	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書あり、授業で連絡します。</li> <li>2. Viva San Francisco は、ラボ室教材のため購入する必要なしです。</li> <li>3. 参考文献・資料は、その都度授業で連絡します。</li> <li>4. 教材プリントとその正解・解説を綴るファイルを準備して下さい。</li> </ol>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席はしないこと(詳細はオリエンテーションでお知らせします)。</li> <li>② 授業には必ず辞書を準備し多用すること。</li> <li>③ 課題等は期限を守って提出すること。</li> <li>④ 教科書や教材の音源を使い積極的に音読すること。</li> <li>⑤ 時間管理を行い各自の責任で課題、復習をする時間確保すること(2単位は60時間の自主学习必要)。</li> </ol> <p>*シラバスは学習状況により変更の可能性あります。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間・期末テスト (30%)</li> <li>・ 課題、復習テスト (30%)</li> <li>・ Viva San Francisco (25~30%)</li> <li>・ 課題等提出、授業参加態度等 (10~15%)</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iでの学びを基礎に、英語IIでさらなる基礎力強化を目指して下さい。そして将来的に自発的に学べる姿勢を身につけ、英語でも自分のやりたい事ができる状況を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山入端 由美子[全学科(2年以上)]	2年	講義室にて、もしくはメールにて受け付けます。	

学びの準備	ねらい 大学生として必要な「リスニング」「スピーキング」「リーディング」「ライティング」の4技能をバランスよく養成する。実社会で使われる世界中の英語を聞き理解する。様々なテーマについての英語を聞き理解する。自らの考えを発信することができるようコミュニケーション活動を促す。文化の違いや類似点に気づき異文化理解を深める。	メッセージ 語学学習は楽しみながら行うことが一番です。使用教科書で扱っている英語を何度も聴き、自分で発声しながら自然に英語の表現が身につくよう努めてください。また時間外学習の教材としてウェブ学習を紹介します。
	到達目標 *様々なテーマについて英語を聞き、理解する。 *コミュニケーションストラテジーを用い、身近な話題について書いたり自信を持って流ちょうに話せるようになる。 *読解問題に取り組むことで、文法・語彙・表現力を強化する。 *文化の違いや類似点に気づき理解する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	English I Class Orientation/ CALL Orientation	Read English I course syllabus
	2	CALL Orientation/ English I Class Orientation	Read MLS manual
	3	Textbook Unit 1	Unit 1 Review (1)
	4	Textbook Unit 1	Unit 1 Review (2)
	5	Textbook Unit 1	Unit 1 Review (3)
	6	Textbook Unit 2	Unit 2 Review (1)
	7	Textbook Unit 2	Unit 2 Review (2)
	8	Textbook Unit 2	Unit 2 Review (3)
	9	Oral Presentation Preparation	Write a script for your OP
	10	Oral Presentation Day 1	Prepare for your OP
	11	Oral Presentation Day 2	Review
	12	Textbook Unit 3	Unit 3 Review (1)
	13	Textbook Unit 3	Unit 3 Review (2)
	14	Textbook Unit 3	Unit 3 Review (3)
	15	Mid-term Examination	Review Unit 1, 2, 3
	16	Mid-term Examination Review	Review your exam
	17	Textbook Unit 4	Unit 4 Review (1)
	18	Textbook Unit 4	Unit 4 Review (2)
	19	Textbook Unit 4	Unit 4 Review (3)
	20	Textbook Unit 5	Unit 5 Review (1)
	21	Textbook Unit 5	Unit 5 Review (2)
	22	Textbook Unit 5	Unit 5 Review (3)
	23	Oral Presentation Preparation	Write a script for your OP
	24	Oral Presentation Day 1	Prepare for your OP
	25	Oral Presentation Day 2	Review
	26	Textbook Unit 6	Unit 6 Review (1)
	27	Textbook Unit 6	Unit 6 Review (2)
	28	Textbook Unit 6	Unit 6 Review (3)
29	Textbook Unit 4, 5, 6	Review Unit 4, 5, 6	
30	Final Examination	Review Unit 4, 5, 6	
31	Reviewing Final Exam & Make-up Exam	Enjoy your summer vacation!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*使用教科書;最初の授業で紹介します。  *オンライン学習システム;教科書準拠の内容です。スマホ・タブレットを用い学習の定着を図ります。  *沖国ポータルサイトにある「授業連絡」を用い必要に応じて連絡することがあります。常にチェックする習慣をつけてください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①授業出席数が単位修得にとって重要な鍵となります。欠席が10回以上あると単位修得できません。  ②授業遅刻15分以上は減点となります。  ③体調不良などで欠席する際は、講師に直接連絡してください。E-mail: ptt1230@okiu.ac.jp  ④授業には積極的・主体的に参加してください。  ⑤オンライン学習に積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>Review tests, exams, oral presentations, essays (85%)  Online learning (15%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップは後期開講の英語Ⅱです。話す・聞くを中心とした実践的コミュニケーション力向上を目指します。講義以外でも、皆さんがご自身の興味・関心のある分野から積極的に英語の情報にアクセスし視野を広げることがを期待します。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [社文・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 中学校・高校で学んだ文法の復習をしながら様々なテーマについて英語で視聴、発信、記述していきます。「継続は力なり。」です。休まずに、コツコツと勉強していきましょう。【プレイメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 ①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス + Unit1(1) : Friends and Family (Be動詞現在形肯定文、疑問文)	Unit1 Review1
	2	Unit1(2) : Friends and Family	Unit1 Review2
	3	Unit1(3) : Friends and Family	Unit1 Review3
	4	Unit1(4) : Friends and Family	Unit1 Review4
	5	Unit2(1) : Jobs around the World (Be動詞現在形否定文、不定冠詞)	Unit2 Review1
	6	Unit2(2) : Jobs around the World	Unit2 Review2
	7	Unit2(3) : Jobs around the World	Unit2 Review3
	8	Unit2(4) : Jobs around the World	Unit2 Review4
	9	Unit3(1) : Houses and Apartments (There is/There are構文、場所を表す前置詞)	Unit3 Review1
	10	Unit3(2) : Houses and Apartments	Unit3 Review2
	11	Unit3(3) : Houses and Apartments	Unit3 Review3
	12	Unit3(4) : Houses and Apartments	Unit3 Review4
	13	中間テスト	オフ日
	14	Unit4(1) : Possessions (指示詞、所有格、Have/Has)	Unit4 Review1
	15	Unit4(2) : Possessions	Unit4 Review2
	16	Unit4(3) : Possessions	Unit4 Review3
	17	Unit4(4) : Possessions	Unit4 Review4
	18	English Special Program	ESP Review
	19	Unit5(1) : Daily Activities (現在形、頻度を表す副詞、命令文)	Unit5 Review1
	20	Unit5(2) : Daily Activities	Unit5 Review2
	21	Unit5(3) : Daily Activities	Unit5 Review3
	22	Unit5(4) : Daily Activities	Unit5 Review4
	23	Unit6(1) : Getting Around (道案内、Have to)	Unit6 Review1
	24	Unit6(2) : Getting Around	Unit6 Review2
	25	Unit6(3) : Getting Around	Unit6 Review3
	26	Unit6(4) : Getting Around	Unit6 Review4
	27	Unit7(1) : Free Time (現在進行形、能力を表すCan)	Unit7 Review1
	28	Unit7(2) : Free Time	Unit7 Review2
	29	Unit7(3) : Free Time	Unit7 Review3
30	Unit7(4) : Free Time	Unit7 Review4	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。  (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。  (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)  (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。  (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価)  英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価)  授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月1・水4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	中学校・高校で学んだ文法の復習をしながら様々なテーマについて英語で視聴、発信、記述していきます。「継続は力なり。」です。休まずに、コツコツと勉強していきましょう。【プレイメントテスト結果によるクラス分けを行う】

到達目標
①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス + Unit1(1) : Friends and Family (Be動詞現在形肯定文、疑問文)	Unit1 Review1
	2	Unit1(2) : Friends and Family	Unit1 Review2
	3	Unit1(3) : Friends and Family	Unit1 Review3
	4	Unit1(4) : Friends and Family	Unit1 Review4
	5	Unit2(1) : Jobs around the World (Be動詞現在形否定文、不定冠詞)	Unit2 Review1
	6	Unit2(2) : Jobs around the World	Unit2 Review2
	7	Unit2(3) : Jobs around the World	Unit2 Review3
	8	Unit2(4) : Jobs around the World	Unit2 Review4
	9	Unit3(1) : Houses and Apartments (There is/There are構文、場所を表す前置詞)	Unit3 Review1
	10	Unit3(2) : Houses and Apartments	Unit3 Review2
	11	Unit3(3) : Houses and Apartments	Unit3 Review3
	12	Unit3(4) : Houses and Apartments	Unit3 Review4
	13	中間テスト	オフ日
	14	Unit4(1) : Possessions (指示詞、所有格、Have/Has)	Unit4 Review1
	15	Unit4(2) : Possessions	Unit4 Review2
	16	Unit4(3) : Possessions	Unit4 Review3
	17	Unit4(4) : Possessions	Unit4 Review4
	18	English Special Program	ESP Review
	19	Unit5(1) : Daily Activities (現在形、頻度を表す副詞、命令文)	Unit5 Review1
	20	Unit5(2) : Daily Activities	Unit5 Review2
	21	Unit5(3) : Daily Activities	Unit5 Review3
	22	Unit5(4) : Daily Activities	Unit5 Review4
	23	Unit6(1) : Getting Around (道案内、Have to)	Unit6 Review1
	24	Unit6(2) : Getting Around	Unit6 Review2
	25	Unit6(3) : Getting Around	Unit6 Review3
	26	Unit6(4) : Getting Around	Unit6 Review4
	27	Unit7(1) : Free Time (現在進行形、能力を表すCan)	Unit7 Review1
	28	Unit7(2) : Free Time	Unit7 Review2
	29	Unit7(3) : Free Time	Unit7 Review3
30	Unit7(4) : Free Time	Unit7 Review4	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>(1) 極力遅刻、欠席をしないこと。  (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。  (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)  (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。  (5) グループ学習の際には、互いに協力し合って、積極的に取り組むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>中間・期末テスト・・・60% (上記の到達目標の①、④を評価)  英会話テスト・・・20% (上記の到達目標の②、③を評価)  授業への参加度・・・20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して1年生必修の英語Ⅱを履修してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>“普通教室では、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行う。CALL教室では、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽にe-learningを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。さらに、英文法のポイントを学ぶ。”</p>	<p>必要な教材はLearning Management System(LMS)に掲載し、準備する。そのアクセスや使い方などの詳細は、初回のガイダンスで説明する。学生はインターネットの環境があれば、いつでもどこでもそこにアクセスして予習・復習を行う。また欠席した場合には、自分でLMSにアクセスして学習し、期末テストなどに備えること。</p>

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サバイバルから英検2級程度までの英語力を身につけることができる。</li> <li>・ 海外に出かけても、いろんな場面で困らない英語表現が身につく。</li> <li>・ 日本人の苦手な発音を克服する。</li> <li>・ 英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。</li> <li>・ e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。</li> </ul>
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	コースガイダンス つぶやき英語編	シラバスをよく読むこと
	2	コースガイダンス e-learning編	LMSをよく読むこと
	3	つぶやきS4 座席確認。ペア練習の練習。〈5文型〉	LMSを使って学習する
	4	Viva Ch. 1、洋楽#01 座席指定。 洋楽穴埋めテスト注意点	Vivaの練習問題をLMSで解く
	5	つぶやきS6 ①つぶやきテストS4	LMSを使って学習する
	6	Viva Ch. 2、洋楽#02 ①洋楽テスト#01	Vivaの練習問題をLMSで解く
	7	つぶやきS7 ②つぶやきテストS6	LMSを使って学習する
	8	Viva Ch. 3、洋楽#03 ②洋楽テスト#02	Vivaの練習問題をLMSで解く
	9	つぶやきS10 ③つぶやきテストS7	LMSを使って学習する
	10	Viva Ch. 4、洋楽#04 ③洋楽テスト#03	Vivaの練習問題をLMSで解く
	11	つぶやきS13 ④つぶやきテストS10	LMSを使って学習する
	12	Viva Ch. 5、洋楽#05 ④洋楽テスト#04	Vivaの練習問題をLMSで解く
	13	特別講義 I ⑤つぶやきテストS13 採点済返却、RT集計、追試確認、〈PrefixとSuffix〉	これまでの復習を行う
	14	特別講義 I ⑤洋楽テスト#05	LMSを使って学習する
	15	追試セッション I: 前半つぶやきテスト5回分・・・S4, S6, S7, S10, S13	これまでの復習を行う
	16	追試セッション I: 前半洋楽テスト5回分・・・洋楽#01～#05	これまでの復習を行う
	17	つぶやきS14 〈Root〉について	LMSを使って学習する
	18	Viva Ch. 6、洋楽#06 VivaSF集計+中間成績+合唱演習1曲 + VivaSF自習	Vivaの練習問題をLMSで解く
	19	つぶやきS17 ⑥つぶやきテストS14	LMSを使って学習する
	20	Viva Ch. 7、洋楽#07 ⑥洋楽テスト#06	Vivaの練習問題をLMSで解く
	21	つぶやきS18 ⑦つぶやきテストS17	LMSを使って学習する
	22	Viva Ch. 8、洋楽#08 ⑦洋楽テスト#07	Vivaの練習問題をLMSで解く
	23	つぶやきS20 ⑧つぶやきテストS18	LMSを使って学習する
	24	Viva Ch. 9、洋楽#09 ⑧洋楽テスト#08	Vivaの練習問題をLMSで解く
	25	つぶやきS22 ⑨つぶやきテストS20	Vivaの練習問題をLMSで解く
	26	Viva Ch. 10、洋楽#10 ⑨洋楽テスト#09	Vivaの練習問題をLMSで解く
	27	特別講義 II ⑩つぶやきテストS22 採点済返却、RT集計、追試確認、Jアンケート	LMSを使って学習する
	28	特別講義 II ⑩洋楽テスト#10	LMSを使って学習する
	29	追試セッション II 後半つぶやきテスト5回分・・・ S14, S17, S18, S20, S22	これまでの復習を行う
30	追試セッション II 後半洋楽テスト5回分・・・洋楽#06～#10 洋楽帳票集計 最終成績確認	これまでの復習を行う	
31	特別講義 III 追試調整 + 成績発表 + 総合演習	これまでの復習を行う	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材をLMS経由で配布する。教材すべてはLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>e-learning教材を学習する際には、コースオリエンテーションで指定するブラウザや学習方法に注意すること。“Viva San Francisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の“Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違った場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に提出すること。もし無理な場合は当日とりあえずメールし、後日早めに提出すること。</p>
	<p>評価</p> <p>洋楽テスト 30%、Viva SF自主学習 30%、つぶやき英語テスト30%、授業参加度 10%、その他+/- 5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースで扱う洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたんに英語を意識して復習し、また好きな人はカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、楽しく英語を学んでほしい。さらに発音練習にも励み、英文法も知識が欠けたところは、よく復習してほしい。本学の豊富なe-learning教材も大いに活用し、後期末の実力テストを意識して学んでほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。  
スピーキングは教室内における会話練習で向上を目指す。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1年	ptt152@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Iにおいては、基礎的なリスニング能力の強化と動画による総合的な内容理解を目指す。スピーキングの練習についてはGlexaを用いた自己学習と共に、教室におけるペアワークやグループディスカッションを通じて補強をすることとし、短期間で集中的な演習を行う。また、Online Searchによる情報収集能力の強化を図り、比較文化的な視点を身につける努力をする。	授業の前後の予習・復習を必須とし、授業時間外のGlexaを用いた自主学習を充実させること。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しみながら学ぶ姿勢づくりを自分なりに工夫して下さい。また、コロナウイルスによる感染の危険がまだ存在するので、授業中はマスク着用とします。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 他者の意見を丁寧に受け止め、対応することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	リハスをきちんと確認する。
	2	Self-introduction	英語による自己表現を工夫する。
	3	Viva! SF: Chapter 1 Review Quizzes	1課の復習
	4	Viva! SF: Chapter 1 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける。
	5	Viva! SF: Chapter 2 Review Quizzes	2課の復習
	6	Viva! SF: Chapter 2 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける。
	7	Viva! SF: Chapter 3 Review Quizzes	3課の復習
	8	Viva! SF: Chapter 3 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける。
	9	Viva! SF: Chapter 4 Review Quizzes	4課の復習
	10	Viva! SF: Chapter 4 Online Search Discussion	広範なリサーチを心がける。
	11	TED Talks: My favorite talk	様々な意見に触れる。
	12	Viva! SF: Chapter 5 Review Quizzes	5課の復習
	13	Viva! SF: Chapter 5 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける。
	14	Viva! SF: Chapter 6 Review Quizzes	6課の復習
	15	Viva! SF: Chapter 6 Online Search:Power of Photo	広範なリサーチを心掛ける。
	16	Viva! SF: Chapter 7 Review Quizzes	7課の復習
	17	Viva! SF: Chapter 7 Creating slogan	発想を英語に乗せる。
	18	Viva! SF: Chapter 8 Review Quizzes	8課の復習
	19	Viva! SF: Chapter 8 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける。
	20	Viva! SF: Chapter 9 Review Quizzes	9課の復習
	21	Viva! SF: Chapter 9 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける。
	22	Viva! SF: Chapter10 Review Quizzes	10課の復習
	23	Viva! SF: Chapter10 Online Search Discussion	広範なリサーチを心がける。
	24	Selected topics: Comparative Culture	随時提示される教材への対応
	25	Selected topics: Comparative Culture	随時提示される教材への対応
	26	Selected topics: Comparative Culture	随時提示される教材への対応
	27	Selected topics: Comparative culture	随時提示される教材への対応
	28	Selected topics: Speaking Skills	随時提示される教材への対応
	29	Speaking Test	グループによる発表
	30	Speaking Test	グループによる発表
31	Make-up session: Review	各自の作業の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>主教材のViva! San Francisco については、教科書の購入は必要ありません。Glexaを用いて自宅での予習・復習が可能なので、活用してください。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>Viva! San Francisco については学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。今学年度はCALL教室の使用はありませんが、普通教室内（5-309）で各自のPCまたはスマホを使用し、自己学習の体制を整えます。ディスカッションとグループワークは教室で行いますが、発話を伴う授業のため、マスク着用の上、十分な距離を取って練習をします。毎回、PC、またはスマホなど、Glexaにアクセスできるデバイスを持ってきて下さい。</p>
学	<p>評価</p> <p>Course work and Review quizzes= 70%</p> <p>Mini essay assignments= 20%</p> <p>Contributions in class and Speaking =10%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>



※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。  
また、online searchを通じて英語による情報収集に慣れる。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [企業システム]	1年	ptt152@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Iにおいては基礎的なリスニング能力の強化と動画による総合的な内容理解を目指す。スピーキングについては、教室におけるペアワークとグループディスカッションで補強することとし、短期間で集中的に演習を行う。また、online searchによる情報収集能力の強化を図り、リサーチを通じて比較文化的な視点を身につけられるようにする。	授業の前後の予習・復習を必須とし、Glexaを用いた授業時間外の自主学習を充実させること。英語を身近な存在として講義終了後も各自で学習を継続できるように、英語を楽しめる態勢づくりを目指す。発話を伴う授業なので、マスク着用とし、十分な距離を取って会話練習やグループディスカッションを行います。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。4. 他者の意見を丁寧に受け止め、対応することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	リハスをきちんと確認する
	2	Self-introduction	英語による自己表現を工夫する
	3	Viva! SF : Chapter 1 Review Quizzes	1課の復習
	4	Viva! Sf : Chapter 1 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける
	5	Viva! SF : Chapter 2 Review Quizzes	2課の復習
	6	Viva! SF : Chapter 2 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける
	7	Viva! SF : Chapter 3 Review Quizzes	3課の復習
	8	Viva! SF : Chapter 3 Online Search Discussion	広範なリサーチを心掛ける
	9	Viva! SF : Chapter 4 Review Quizzes	4課の復習
	10	Viva! SF : Chapter 4 Online Search Discussion	広範なり心掛ける心掛ける
	11	Viva! SF : Chapter 5 Review Quizzes	5課の復習
	12	Viva! SF : Chapter 5 Online Search Discussion	広範なりサーチを心掛ける
	13	Ted Talks: My favorite talk Pair or Group Work	様々な考えに触れる
	14	Viva! SF : Chapter 6 Review Quizzes	6課の復習
	15	Viva! SF : Chapter 6 Online Search Discussion	広範なりサーチを心掛ける
	16	Viva! SF : Chapter 7 Review Quizzes	7課の復習
	17	Viva! SF : Chapter 7 Online Search Discussion	広範なりサーチを心掛ける
	18	Viva! SF : Chapter 8 Review Quizzes	8課の復習
	19	Viva! SF : Chapter 8 Online Search Discussion	広範なりサーチを心掛ける
	20	Viva! SF : Chapter 9 Review Quizzes	9課の復習
	21	Viva! SF : Chapter 9 Online Search Discussion	広範なりサーチを心掛ける
	22	Viva! SF : Chapter10 Review Quizzes	10課の復習
	23	Viva SF : Chapter10 Online Search Discussion	広範なりサーチを心掛ける
	24	Selected topics	随時提示される教材に対応する
	25	Selected topics	随時提示される教材に対応する
	26	Selected topics	随時提示される教材に対応する
	27	Selected topics	随時提示される教材に対応する
	28	Selected topics	随時提示される教材に対応する
	29	Speaking Test	グループで協力してスキットを創る
	30	Speaking Test	グループで協力してスキットを創る
31	Make-up Session : Review	講義全体の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>主教材のViva! San Franciscoについては教科書購入の必要はありません。Glexaを通じて自宅での予習・復習が可能なので活用してください。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>Viva! San Franciscoについては学外からのアクセスも可能なので、毎回復習を欠かさないこと。各自Glexa上の会話練習問題を繰り返し行い、会話のリズムを習得できるよう努力してください。授業の進行状況によってはシラバスを変更する可能性があります。この講義においてはグループワークを重視します。毎回きちんと出席して、グループメンバーに対する責任を果たせるようにして下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>Course work and Review quizzes = 70%</p> <p>Mini essay assignments = 20%</p> <p>Contributions to class and Speaking = 10%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり[全学科(2年以上)]	2年	pptt807@oku.ac.jp	

学びの準備	ねらい (1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動（ペアワークやグループワーク）を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。 (2) 他者を受容し多様な価値観を受容するコミュニケーション能力を高める	メッセージ 互いを尊重し、共に学びあう学習環境を作り上げるコミュニティの一員であるという自覚をもち、主体性を持って授業に参加しましょう。出席重視はもちろんです、積極的に授業へ参加（発言や会話の練習）できることが最も重要です。事前準備（音読・暗唱の練習）ができる学生の受講を期待します。
	到達目標 (1) 調べた情報を英語で他者に伝え、自らの問題意識に引き付けて考え英語で自分の考えを発信できる。 (2) クラスメートの発言・発話を聞き、その内容を把握し理解し、英語でリアクション・コミュニケーションできる。 (3) 互いの英語による発話・発言を尊重し、協力して課題に取り組むことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、英語力診断テスト（リスニング）	シラバスの確認
	2	Getting Started	予習 音読 復習 課題
	3	Getting Started	予習 音読 復習 課題
	4	Unit1_Can you speak English?_Abilities	予習 音読 復習 課題
	5	Unit1_Can you speak English?_Abilities	予習 音読 復習 課題
	6	Unit1_Can you speak English?_Abilities	予習 音読 復習 課題
	7	Unit2_That's Personal_Personal Information	予習 音読 復習 課題
	8	Unit2_That's Personal_Personal Information	予習 音読 復習 課題
	9	Unit2_That's Personal_Personal Information	予習 音読 復習 課題
	10	Unit3_Time To Learn_Time and date	予習 音読 復習 課題
	11	Unit3_Time To Learn_Time and date	予習 音読 復習 課題
	12	Unit3_Time To Learn_Time and date	予習 音読 復習 課題
	13	Unit4_Day To Day_Daily routine	予習 音読 復習 課題
	14	Unit4_Day To Day_Daily routine	予習 音読 復習 課題
	15	Unit4_Day To Day_Daily routine	予習 音読 復習 課題
	16	Speaking テスト(Unit1-4)	英作文
	17	Speakingテスト(Unit1-4)	英作文
	18	Unit5_Say That Again_Review and consolidation	予習 音読 復習 課題
	19	Unit5_Say That Again_Review and consolidation	予習 音読 復習 課題
	20	Unit5_Say That Again_Review and consolidation	予習 音読 復習 課題
	21	Unit5_Say That Again_Review and consolidation	予習 音読 復習 課題
	22	Unit6_Where Does it Go?_Location and moving things	予習 音読 復習 課題
	23	Unit6_Where Does it Go?_Location and moving things	予習 音読 復習 課題
	24	Unit6_Where Does it Go?_Location and moving things	予習 音読 復習 課題
	25	Unit6_Where Does it Go?_Location and moving things	予習 音読 復習 課題
	26	Unit7_It's That Way_Directions	予習 音読 復習 課題
	27	Unit7_It's That Way_Directions	予習 音読 復習 課題
	28	Unit7_It's That Way_Directions	予習 音読 復習 課題
	29	Unit7_It's That Way_Directions	予習 音読 復習 課題
30	Review and consolidation	全てを復習	
31	期末テスト		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>1. テキスト書名:Fifty-Fifty (3E) Level 1 Student Book出版社: Pearson Japan 必ず購入してください。朝野書房にて購入できます。(コピーなどは配布しません)</p> <p>2. 使用するアプリ: Google Classroom ダウンロードしてください。TASK/課題の提出先となります。学習記録となります。出席者は授業時間内、欠席者は期限内にTASK 提出してください。(スマホ、ipad、ノートパソコンなど持ち込み可能。)</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>履修者の心得</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを購入すること。</li> <li>2. Google Classroom のアプリをダウンロードし、使いこなせること。(とても簡単です)</li> <li>3. 毎回のTASK(課題)を提出すること。</li> <li>3. 積極的かつ協力的にペアワークやグループワークでスピーキングを行うこと。</li> </ol>
学 び の 実 践	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TASK(課題) 提出 (ペア・グループワークへの参加と貢献、課題の提出、ふりかえり) 70%</li> <li>・リスニング&amp;スピーキングテスト(中間及び期末試験) 30%</li> </ul> <p>*授業全体の1/3 以上の欠席は不可となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子[地域環境]	1年	メールアドレスを初日配布シラバスに記載	

学びの準備	ねらい グローバル教育の推進に必要な英語コミュニケーション能力を高める事を主目的とする。特に英語のオーラルコミュニケーションに必要な文法の基礎を固め、アウトプットトレーニングを中心に行う。	メッセージ 特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、実用的な会話表現を学びながらコミュニケーションに必要な英文法の基本を学び、次年度必修のessay writingに求められる英語力を養成する。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 コンテンツを英語で理解し発信する力を養成する事を主目的とする。英語のコンテンツを聴き、理解の確認を行い、グループメンバーと意見交換できるようになることを目指す。ディスカッションやプレゼンテーションを通して英語によるOUTPUT力を磨く。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (基本遠隔授業)	
	2	CALL 授業1	CALL教室課題
	3	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 1	(文法テキスト) エクササイズ
	4	CALL 授業2	CALL教室課題
	5	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 2	エクササイズ
	6	CALL 授業3	CALL教室課題
	7	CALL 授業4	CALL教室課題
	8	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 3	エクササイズ
	9	CALL 授業5	CALL教室課題
	10	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 4	エクササイズ
	11	CALL 授業6	CALL教室課題
	12	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 5	エクササイズ
	13	CALL 授業7	CALL教室課題
	14	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 6	エクササイズ
	15	中間テスト (会話英文法テスト及び会話プレゼンテーション)	CALL教室課題
	16	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 7	エクササイズ
	17	CALL 授業9&10	CALL教室課題
	18	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 8	エクササイズ
	19	CALL 授業	CALL教室課題
	20	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 9	エクササイズ
	21	CALL 授業10	CALL教室課題
	22	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 10	エクササイズ
	23	CALL 授業11	CALL教室課題
	24	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 11	エクササイズ
	25	CALL 授業12	CALL教室課題
	26	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 12	エクササイズ
	27	CALL 授業13	CALL教室課題
	28	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 13	エクササイズ
29	CALL 授業14	CALL教室課題	
30	期末テスト(会話英文法テスト及び会話プレゼンテーション)		
31	解説		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マーフィーのケンブリッジ英文法 初級編 第3版 (ISBN 978-4-88996-765-4) (購入必要)</li> <li>2. (CALL教室ではソフト教材のため購入必要なテキストはありません)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります (やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する)</li> <li>2 目標: 全員が英検準2級~英検2級取得を目指す。(英語でのやり取りが基本)</li> <li>3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事 (ディスカッションなど参加型の授業などで休みが多い学生は評価が低くなります)</li> <li>4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション (1~2回) 予定</li> <li>5 頻繁な遅刻、授業態度 (私語やいねむり) の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>Call教室視聴覚教材の課題30%、中間テスト及び英会話プレゼンテーション30%、期末テスト及び英会話プレゼンテーション30%、教科書のエクササイズからの課題、グループワークの際の貢献や態度10% (変更は授業内でアナウンスを行う)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>基本的な文法や語彙力、表現力を身に着け、来年必修となるessay writingに備える。</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	okikoku.1.2020@gmail.com	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	シラバスの内容を理解する
	2	スモールスピーチ	スピーチの準備・練習
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	5	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	6	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	7	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	8	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	9	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	10	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	11	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	12	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	13	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	14	Extra Credit①	力試し
	15	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
	16	中間テストの振り返り	修正点を考える
	17	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	18	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	19	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	20	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	21	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	22	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	23	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	24	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	25	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	26	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	27	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	28	Extra Credit②	力試し
	29	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
30	期末テストの振り返り	修正点を考える	
31	まとめ	後期に向けて	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじる、コンピュータ上で授業とは無関係な事をしている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。</p> <p>「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>①各Unitの課題・その他提出物 = 40%          ②中間テスト (Speaking) = 20%          ③中間テスト (Listening) = 10%          ④期末テスト (Speaking) = 20%          ⑤期末テスト (Listening) = 10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気が付きますよ。</p> <p>「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>



※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [経済]	1年	okikoku.2.2020@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
到達目標	①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。 ④パワーポイントを使用しながら発表する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	イントロダクション	シラバスの内容を理解する
	2	スモールスピーチ	スピーチの準備・練習
	3	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	4	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	5	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	6	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	7	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	8	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	9	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	10	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	11	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	12	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	13	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	14	Extra Credit①	力試し
	15	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
	16	中間テストの振り返り	修正点を考える
	17	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	18	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	19	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	20	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	21	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	22	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	23	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	24	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	25	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	26	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	27	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	28	Extra Credit②	力試し
	29	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
30	期末テストの振り返り	修正点を考える	
31	まとめ	後期へむけて	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは使用しません。授業に必要な教材は、すべてプリントで配布します。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじるなど授業とは無関係な事を行っている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。</p> <p>「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>①各Unitの課題・その他提出物 = 40%</p> <p>②中間テスト (Speaking) = 20%</p> <p>③中間テスト (Listening) = 10%</p> <p>④期末テスト (Speaking) = 20%</p> <p>⑤期末テスト (Listening) = 10%</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気が付きますよ。</p> <p>「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮平 勝行[社文・人福]	1年	Eメール (ptt900@okiu.ac.jp) と電話 (098-895-8303) で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの目的です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって大学生としての教養と英語力を高めます。	授業ではマルチメディア教材を利用し、常にネイティブの英語に触れる学習環境を用意しています。本講義は対面で行いますが、新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインの特別授業に学期途中で移行することがあります。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 継続して英語を学習する習慣をつけ、楽しみながら英語が学習できるようになる。</li> <li>2. 英語の表現力と聴解力を伸ばし、簡単な英会話や英語のナレーションを理解できるようになる。</li> <li>3. グローバル化した現代の様々な話題に親しみ、自らの基本的な見解について簡単な英語で表現できるようになる。</li> </ol>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション オンライン授業について、英語による自己紹介	シラバスを事前に読むこと
	2	[Pathways 1] Living for Work, Day 1	Unit 1の予習
	3	[Pathways 1] Living for Work, Day 2	Unit 1の予習
	4	[Pathways 1] Living for Work, Day 3	Unit 1の予習
	5	[Pathways 1] Living for Work, Day 4	Unit 1の予習
	6	[Pathways 1] Living for Work, Day 5	Unit 1の予習
	7	Unit Quiz 1; [Pathways 1] Good Times, Good Feelings, Day 1	Unit 1の復習、Unit 2の予習
	8	[Pathways 1] Good Times, Good Feelings, Day 2	Unit 2の予習
	9	[Pathways 1] Good Times, Good Feelings, Day 3	Unit 2の予習
	10	[Pathways 1] Good Times, Good Feelings, Day 4	Unit 2の予習
	11	Unit Quiz 2; [Pathways 1] The Marketing Machine, Day 1	Unit 2の復習、Unit 3の予習
	12	[Pathways 1] The Marketing Machine, Day 2	Unit 3の予習
	13	[Pathways 1] The Marketing Machine, Day 3	Unit 3の予習
	14	[Pathways 1] The Marketing Machine, Day 4	Unit 3の予習
	15	Midterm Exam (中間テスト)	既習Unitsの復習・試験準備
	16	[Pathways 1] Wild Weather, Day 1	Unit 4の予習
	17	[Pathways 1] Wild Weather, Day 2	Unit 4の予習
	18	[Pathways 1] Wild Weather, Day 3	Unit 4の予習
	19	[Pathways 1] Wild Weather, Day 4	Unit 4の予習
	20	Unit Quiz 4; [Pathways 1] Focus on Food, Day 1	Unit 5の予習
	21	[Pathways 1] Focus on Food, Day 2	Unit 5の予習
	22	[Pathways 1] Focus on Food, Day 3	Unit 5の予習
	23	[Pathways 1] Focus on Food, Day 4	Unit 5の予習
	24	Unit Quiz 5; [Pathways 1] Housing for the Future, Day 1	Unit 5の復習、Unit 6の予習
	25	[Pathways 1] Housing for the Future, Day 2	Unit 6の予習
	26	[Pathways 1] Housing for the Future, Day 3	Unit 6の予習
	27	[Pathways 1] Housing for the Future, Day 4	Unit 6の予習
	28	[Pathways 1] Exploring Space, Day 1	Unit 7の予習
	29	[Pathways 1] Exploring Space, Day 2	Unit 7の予習
30	[Pathways 1] Exploring Space, Day 3	Unit 7の予習	
31	Final Exam (期末テスト)	既習Unitsの復習・試験準備	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など Chase, Rebecca T. (2017). Pathways: Listening, speaking, and critical thinking Book 1 (2nd Edition)</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>1. 授業活動への貢献度は、授業中の発言を通してどれだけクラス全体の知識の向上に貢献したかで主に判断します。 2. 予習を欠かさず行い、毎週出す予定の宿題をきちんと提出しましょう。 3. 学期中に1/3 (10回) 以上授業を欠席した場合は、学則により自動的に「不可」の成績となります。 4. やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試や代替テストなどは行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、当該試験・クイズは0点となります。</p>
	<p>評価</p> <p>1. 語彙力とリスニング力養成のためのオンライン宿題を課します。(20%) 2. 中間テスト (30%) 3. 期末テスト (30%) 4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講する「英語II」の講義で更に英語のリスニングとスピーキング力を強化します。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[社文・人福]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解（語彙、文法、リスニング、スピーキング）と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語基礎力と様々な場面で使える英語を取り上げます。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるよう、その学習内容をコツコツと学習をし吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション（英語 I のねらい、注意事項、テキスト等の説明）他	テキスト購入と英語ノート準備
	2	テキスト確認と付属e-learning説明、テキスト関連学習	テキスト次回予習
	3	テキストUnit1-1, Unit1 e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	4	テキストUnit1-2, Unit1 e-learning	テキスト復習と次回予習
	5	テキストUnit1-3, Unit1 e-learning	テキスト復習と次回予習
	6	テキストUnit2-1, Unit2 e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	7	テキストUnit2-2, Unit2 e-learning	テキスト復習と次回予習
	8	テキストUnit2-3, Unit2 e-learning	テキスト復習と次回予習
	9	テキストUnit1&2 e-learning学習しあげ	テキスト次回予習
	10	テキストUnit3-1, Unit3 e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	11	テキストUnit3-2, Unit3 e-learning	テキスト復習と次回予習
	12	テキストUnit3-3, e-learning	テキスト復習と次回予習
	13	テキストUnit1~3の会話スピーキング練習仕上げによるActivity1(スピーキング) 提出	テキスト次回予習
	14	テキストUnit4-1, Unit4e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	15	テキストUnit4-2, Unit4e-learning	テキスト復習と次回予習
	16	テキストUnit4-3, Unit4e-learning	テキスト復習と次回予習
	17	テキストUnit3&4 e-learning学習しあげ	テキスト次回予習
	18	Activity2(学んだ表現を生かして自己紹介文を書こう！) 提出	テキスト次回予習
	19	テキストUnit5-1, Unit4e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	20	テキストUnit5-2, Unit4e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	21	テキストUnit5-3, Unit4e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	22	テキストUnit6-1, Unit4e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	23	テキストUnit6-2, Unit4e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	24	テキストUnit6-3, Unit4e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	25	テキストUnit7-1, Unit4e-learning学習開始	テキスト復習と次回予習
	26	テキストUnit7-2, Unit4e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	27	テキストUnit7-3, Unit4e-learning学習	テキスト復習と次回予習
	28	テキストUnit5~7 e-learning学習しあげ	テキスト復習と次回予習
29	テキストUnit1-3の会話スピーキング練習仕上げによるActivity3(スピーキング) 提出	英語 I 自主総復習	
30	英語 I 総復習	次回ミニテストにむけて学習	
31	英語 I テキスト学習ミニテスト	ミニテスト結果の振り返り	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは講義第一回目に紹介します。購入してください。また、学習しながら学んだことをまとめるノートも準備してください。</p>
	<p>学びの手立て          オンライン授業での各回の指示や案内をきちんと把握した上で、学習をすすめてください。また、疑問点等がある場合には、遠慮なく講師にメールで聞いてください。自ら地道に学ぶ皆さんを応援します。</p>
	<p>評価          学習到達度（各授業回の全項目対象）30%， e-learning学習28%， Activity3回28%， テキスト学習ミニテスト14%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          前期の英語Ⅰにつき、その時間系列および学習項目進度は英語Ⅱへとすすみます。英語Ⅰ受講生は英語Ⅱを必ず受講してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語 I	前期	月 2・木 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [法律・地行]	1 年	大学メールで受け付けます。 メールアドレスは授業でお知らせします。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力の向上を目指し“発音”、“音読”に力を入れ「使える」英語を身につける。英語の基本的文法事項や表現の振り返りを行い、語彙力を高め聴き取りに活かし、リスニング力を高める。同時に英文音読を積極的に行い、英語を話す、使ってみる機会を増やし、英語運用能力を高める。</p>	<p>言語を学ぶということはとても基本的な事、その言語を「聴く」「話す」「書く」「読む」を具体的に身体を使って繰り返すことです。それらの活動ができる場が授業です。授業を大いに活用し、状況によってペアー・グループワーク等で実際に英語を多用する機会を大切にしてください。そうすることで皆さんが日本語を学んできたように英語も着実に身につけて来るはずですよ。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。</li> <li>2. 自分の事を英語で伝えることができる。</li> <li>3. 身近なことや自分の興味関心のあることを英語で表現できる。</li> <li>4. 英語学習においてインターネットを効果的に活用できる。</li> <li>5. 英語学習を通して国際的な視野を広げることができる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、自己紹介、Text: Unit 1 Vocabulary	シラバスと授業内容の確認
	2	Call教室オリエンテーション、Viva San Francisco Chapter 1	語彙、会話表現確認
	3	Text: Unit 1 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 8 ~ 12を事前に読む
	4	VSF Chapter 2, Text Unit 2 Vocabulary	語彙、会話表現確認
	5	Text: Unit 1 (Grammar, Reading)	Text p. 13 ~ 15を事前に読む
	6	Unit 1 Review Test, DVD 鑑賞, English song	Unit 1 復習、日常表現聴解、語彙
	7	Text: Unit 2 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 18 ~ 20 を事前に読む
	8	Text: Unit 2 (Grammar, Reading)	Text p. 21 ~ 23を事前に読む
	9	Unit 2 Review Test, VSF Chapter 3, Text Unit 3 Vocabulary	Unit 2 復習、日常表現聴解、語彙
	10	Text: Unit 3 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 25 ~ 28 を事前に読む
	11	VSF Chapter 4, BBC Documentary "Water" Preview & Vocabulary	日常表現聴解、語彙
	12	Text: Unit 3 (Grammar, Reading)	Text p. 29 ~ 31 を事前に読む
	13	Unit 3 Review Test, VSF Chapter 5, Text Unit 4 Vocabulary	Unit 3 復習、日常表現聴解、語彙
	14	Text: Unit 4 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 33 ~ 36 を事前に読む
	15	Grammar Review, BBC Documentary "Water" Listening practice,	文法、表現確認、聴解
	16	中間テスト	これまでの復習
	17	VSF Chapter 6, World Heritage "Grand Canyon" Preview	語彙、会話表現確認
	18	Text: Unit 4 (Grammar, Reading)	Text p. 37 ~ 39 を事前に読む
	19	Unit 4 Review Test, VSF Chapter 7, Text Unit 5 Vocabulary	語彙、会話表現確認、聴解
	20	Text: Unit 5 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 41 ~ 44 を事前に読む
	21	VSF Chapter 8, World Heritage "Grand Canyon" Vocabulary	語彙、会話表現確認
	22	Text: Unit 5 (Grammar, Reading)	Text p. 45 ~ 47 を事前に読む
	23	Unit 5 Review Test, VSF Chapter 9, Text Unit 7 Vocabulary	語彙、会話表現確認
	24	Text: Unit 7 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language focus)	Text p. 57 ~ 60 を事前に読む
	25	World Heritage "Grand Canyon" Listening practice	語彙、表現確認、聴解
	26	Text: Unit 7 (Grammar, Reading)	Text p. 61 ~ 63 を事前に読む
	27	Unit 7 Review Test, VSF Chapter 10, News in English	語彙、会話表現確認
	28	DVD 鑑賞、English song	語彙、日常表現聴解
	29	Grammar Review	文法項目復習
30	英語 I 振り返り	英語 I 振り返り、テストに備える	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書あり、授業で連絡します。</li> <li>2. Viva San Francisco は、ラボ室教材のため購入する必要なしです。</li> <li>3. 参考文献・資料は、その都度授業で連絡します。</li> <li>4. 教材プリントとその正解・解説を綴るファイルを準備して下さい。</li> </ol>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席はしないこと(詳細はオリエンテーションでお知らせします)。</li> <li>② 授業には必ず辞書を準備し多用すること。</li> <li>③ 課題等は期限を守って提出すること。</li> <li>④ 教科書や教材の音源を使い積極的に音読すること。</li> <li>⑤ 時間管理を行い各自の責任で課題、復習をする時間確保すること(2単位は60時間の自主学习必要)。</li> </ol> <p>*シラバスは学習状況により変更の可能性あります。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中間・期末テスト (30%)</li> <li>・ 課題、復習テスト (30%)</li> <li>・ Viva San Francisco (25~30%)</li> <li>・ 課題等提出、授業参加態度等 (10~15%)</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Iでの学びを基礎に、英語IIでさらなる基礎力強化を目指して下さい。そして将来的に自発的に学べる姿勢を身につけ、英語でも自分のやりたい事ができる状況を築いて下さい。</p>



※ポリシーとの関連性 社会人として自立するために必要な広範かつ基本的な知識・技能を身に付け、良識を養うための実践的語学学習を行います。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山入端 由美子由美子[全学科(2年以上)]	2年	講義室にて、もしくはメールにて受付します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅰの学習内容を発展させ、大学生として必要な英語コミュニケーションの4技能をバランス良く養成する。実社会で使われる英語を聞き理解する。様々なテーマについての英語を読み書きし理解する。自分の考えを発信できるようコミュニケーション活動を促す。文化の違いや類似点に気づき異文化理解を深める。	語学学習は楽しみながら継続することが大切です。教科書を用いての学習はもちろん、自分の好きな音楽や動画・映画など手軽にアクセスできる学習素材は無数にあります。また世界中で配信されるニュースも教材となります。ぜひ積極的に英語の情報にアクセスし実践的語学力を身に付けてください。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>*様々なテーマについて英語を読み聞き理解する。</li> <li>*コミュニケーションストラテジーを用い、身近な話題について書いたり自信を持って流暢に話せるようになる。</li> <li>*読解問題に取り組むことで、文法・語彙・表現力を強化する。</li> <li>*文化の違いや類似点に気づき理解する。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	English II Class Orientation	Read English II course syllabus
	2	Textbook Unit 7	Unit 7 Review (1)
	3	Textbook Unit 7	Unit 7 Review (2)
	4	Textbook Unit 7	Unit 7 Review (3)
	5	Textbook Unit 8	Unit 8 Review (1)
	6	Textbook Unit 8	Unit 8 Review (2)
	7	Textbook Unit 8	Unit 8 Review (3)
	8	Textbook Unit 9	Unit 9 Review (1)
	9	Textbook Unit 9	Unit 9 Review (2)
	10	Textbook Unit 9	Unit 9 Review (3)
	11	Oral Presentation Preparation	Write a script for your OP
	12	Oral Presentation Day 1	Prepare for your OP
	13	Oral Presentation Day 2	Review
	14	Reviewing Unit 7,8,9	Review Unit 7,8,9
	15	Mid-term Examination	Review Unit 7,8,9
	16	Reviewing Mid-term Exam	Review your exam
	17	Textbook Unit 10	Unit 10 Review (1)
	18	Textbook Unit 10	Unit 10 Review (2)
	19	Textbook Unit 10	Unit 10 Review (3)
	20	Textbook Unit 11	Unit 11 Review (1)
	21	Textbook Unit 11	Unit 11 Review (2)
	22	Textbook Unit 11	Unit 11 Review (3)
	23	Oral Presentation Preparation	Write a script for your PPP
	24	PP Presentation Day 1	Prepare for your PPP
	25	PP Presentation Day 2	Review
	26	Textbook Unit 12	Unit 12 Review (1)
	27	Textbook Unit 12	Unit 12 Review (2)
	28	Textbook Unit 12	Unit 12 Review (3)
	29	Reviewing Unit 10,11,12	Review Unit10,11,12
30	Final Examination	Review Unit 10,11,12	
31	Reviewing the final exam & make-up exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*前期英語 I で使用した教科書を継続使用します。</li> <li>*ウェブ学習；教科書準拠のオンライン教材を復習に活用してください。学習履歴が評価の一部になります。</li> <li>*冲国ポータルサイト中の「授業連絡」より必要に応じて連絡します。常にチェックしてください。</li> </ul>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業出席数が単位修得に重要な鍵となります。欠席が10回以上あると単位修得できません。</li> <li>②授業遅刻15分以上は減点となります。</li> <li>③体調不良等で欠席する際は必ず講師に直接メールで連絡してください。</li> <li>④授業の復習としてウェブ学習を活用してください。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>Review quiz, exams, oral presentation, PP presentation (85%) Web-learning (15%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>発展学習として英語Ⅲ・英語Ⅳの履修をお勧めします。</p>

※ポリシーとの関連性 英語の基礎であるリスニング、スピーキング能力の強化を目指す。  
また、online searchを通じて、発見型の積極的な学びを目指す。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [法律・地行]	1年	ptt152@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、サバイバルイングリッシュの基礎を確立する。Glexaにおける課題学習から会話の基礎を学び、ペアワークとディスカッションを通じてスピーキングの能力を高める。また、online searchを通じて、異文化への理解を深め、英語によるリサーチの能力を高める。	Glexaを用いた課題型学習と、教室における会話練習とグループディスカッションによる演習型の学習を併用して、基礎的なサバイバルイングリッシュの習得を目指します。Glexaを使用した課題型学習は繰り返しチャレンジできることがメリットです。時間をかけて課題に対する理解を深めるようにしてください。英語による3分間スピーチの発表があります。授業中はマスク着用とします。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。4. グループディスカッションにおいて集団の中で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	Viva! SF Chapter 11 Practice and Review	Review Quiz の回答
	3	Viva! SF Chapter 11 Online Search Discussion	Online search
	4	Viva! SF Chapter 12 Practice and Review	Review Quiz の回答
	5	Viva! SF Chapter 12 Online Search Discussion	Online search
	6	Viva! SF Chapter 13 Practice and Review	Review Quiz 1,2,3の回答
	7	Viva! SF Chapter 13 Online Search Discussion	Online search
	8	Viva! SF Chapter 14 Practice and Review	Review Quiz の回答
	9	Viva! SF Chapter 14 Online Search Discussion	Online search
	10	Viva! SF Chapter 15 Practice and Review	Review Quiz の回答
	11	Viva! SF Chapter 15 Online Search Discussion	Online search
	12	Special Program: Film #1 Viewing	mp4の視聴
	13	Special Program: Group Discussion	ディスカッションの準備
	14	Viva! SF Chapter 16 Practice and Review	Review Quiz の回答
	15	Viva! SF Chapter 16 Online Search discussion	Online search
	16	Viva! SF Chapter 17 Practice and Review	Review Quiz の回答
	17	Viva! SF Chapter 17 Online Search Discussion	Online search
	18	Viva! SF Chapter 18 Practice and Review	Review Quiz の回答
	19	Viva! SF Chapter 18 Online Search Discussion	Online search
	20	Viva! SF Chapter 19 Practice and Review	Review Quiz の回答
	21	Viva! SF Chapter 19 Online Search Discussion	Online search
	22	Viva! SF Chapter 20 Practice and Review	Review Quiz の回答
	23	Viva! SF Chapter 20 Online Search Discussion	Online search
	24	Special Program: Film #2 Viewing	映画に関するonline search
	25	Special Program: Group Discussion	ディスカッションの準備
	26	3分間スピーチの発表	スピーチ発表の準備
	27	3分間スピーチの発表	スピーチ発表の準備
	28	3分間スピーチの発表	スピーチ発表の準備
	29	3分間スピーチの発表	スピーチ発表の準備
30	3分間スピーチの発表 予備日	スピーチ発表の準備	
31	Conclusion まとめと振り返り	学習過程の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>後期もGlexaに登録された教材を引き続き使用するので、教科書購入の必要はありません。その代わりにonline searchを毎回行い、各自がそれぞれの興味や関心を通じてリサーチしたい事柄についての理解を深めてゆきます。後期は3分間スピーチの発表があるので、TED Talksを活用してよいスピーチにたくさん触れましょう。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>沖国ポータルからGlexaを通じていつでも課題に取り組むことができるので、繰り返し練習をして理解を深めていけるようにしましょう。また、グループディスカッションにより、スピーキングの能力向上を目指します。での課題学習をディスカッションにつなげられるよう、インプットとアウトプットの流れを意識しながら学習しましょう。発話を伴う授業なので、マスク着用は必須です。</p>
	<p>評価</p> <p>Assignments on Glexa: 60% Contributions to class and Speaking (Discussion): 15% Three-minute speech: 25%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-新城 知子 [企業システム]	1年	ptt152@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIにおいてはリスニングとスピーキングに重点を置き、survival Englishの基礎を確立する。ペアワークとディスカッションを通じてスピーキングの能力を高める。また、online searchを通じて異文化への理解を深めつつ、発見型の学習を楽しむ。	Glexaを用いた課題型学習と、教室における会話練習とグループディスカッションの演習型の学習を併用して基礎的なサバイバルイングリッシュの習得を目指します。Glexaを使用した課題型学習は繰り返しチャレンジできることがメリットです。時間をかけて課題に対する理解を深めるようにしてください。英語による3分間スピーチの発表があります。授業中はマスク着用とします。
到達目標	1. 英語による日常会話の基礎的な表現を習得し、発話できる。2. 英語を用いて情報収集することに慣れる。3. グループディスカッションにおいて集団の中で英語で意見を表明することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction	シラバスをきちんと確認する
	2	Viva! SF Chapter 11 Practice and Review	Review Quizの回答
	3	Viva! SF Chapter 11 Online Search Discussion	Online search
	4	Viva! SF Chapter 12 Practice and Review	Review Quizの回答
	5	Viva! SF Chapter 12 Online Search and Discussion	Online search
	6	Viva! SF Chapter 13 Practice and Review	Review Quizの回答
	7	Viva! SF Chapter 13 Online Search and Discussion	Online search
	8	Viva! SF Chapter 14 Practice and Review	Review Quizの回答
	9	Viva! SF Chapter 14 Online Search and Discussion	Online search
	10	Viva! SF Chapter 15 Practice and Review	Review Quizの回答
	11	Viva! SF Chapter 15 Online Search and Discussion	Online search
	12	Special Program: Film #1 Viewing	mp4の視聴
	13	Special Program: Group Discussion	ディスカッションの準備
	14	Viva! SF Chapter 16 Practice and Review	Review Quizの回答
	15	Viva! SF Chapter 16 Online Search Discussion	Online search
	16	Viva! SF Chapter 17 Practice and Review	Review Quizの回答
	17	Viva! SF Chapter 17 Online Search Discussion	Online search
	18	Viva! SF Chapter 18 Practice and Review	Review Quizの回答
	19	Viva! SF Chapter 18 Online Search and Discussion	Online search
	20	Viva! SF Chapter 19 Practice and Review	Review Quizの回答
	21	Viva! SF Chapter 19 Online Search discussion	Online search
	22	Viva! SF Chapter 20 Practice and Review	Review Quizの回答
	23	Viva! SF Chapter 20 Online Search Discussion	Online search
	24	Special Program: Film #2 Viewing	映画に関するonline search
	25	Special Program: Group Discussion	ディスカッションの準備
	26	3分間スピーチの発表	スピーチ発表の準備
	27	3分間スピーチの発表	スピーチ発表の準備
	28	3分間スピーチの発表	スピーチ発表の準備
	29	3分間スピーチの発表	スピーチ発表の準備
30	3分間スピーチの発表 予備日	スピーチ発表の準備	
31	Conclusion まとめと振り返り	学習過程の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>後期も引き続きGlexaに登録された教材を使用するので、教科書購入の必要はありません。その代わりにonline searchを毎回行い、各自がそれぞれの興味や関心を通じてリサーチしたい事柄についての理解を深めてゆきます。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>沖国ポータルからGlexaを通じていつでもどこでも課題に取り組むことができるので、繰り返し練習をして理解を深めていけるようにしましょう。また、ペアワークとグループディスカッションにより、スピーキングの能力向上を目指します。Glexaにおける課題学習をディスカッションにつなげることができるよう、インプットとアウトプットの流れを意識しながら学習しましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>Assignments on Glexa: 60% Contributions to class and Speaking (Discussion): 15% Three-minute Speech : 25%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで習得した基礎的な知識と能力を活かして学びを深め、継続していけるような態勢を作るために、楽しんで学習する癖をつける。社会人としての国際的な視野を広げるために日本のメディアで報道されない情報も英語で収集することを習慣とする。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [社文・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。後期は例年前期に比べて、遅刻、欠席が多くなる傾向があります。今年はそのジंकスを打破しましょう
到達目標	①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit8(1): Clothes	Unit8 Review1
	2	Unit8(2): Clothes	Unit8 Review2
	3	Unit8(3): Clothes	Unit8 Review3
	4	Unit8(4): Clothes	Unit8 Review4
	5	Unit9(1): Food	Unit9 Review1
	6	Unit9(2): Food	Unit9 Review2
	7	Unit9(3): Food	Unit9 Review3
	8	Unit9(4): Food	Unit9 Review4
	9	Unit10(1): Health	Unit10 Review1
	10	Unit10(2): Health	Unit10 Review2
	11	Unit10(3): Health	Unit10 Review3
	12	Unit10(4): Health	Unit10 Review4
	13	Unit11(1): Making Plans	Unit11 Review1
	14	Unit11(2): Making Plans	Unit11 Review2
	15	Unit11(3): Making Plans	Unit11 Review3
	16	Unit11(4): Making Plans	Unit11 Review
	17	中間テスト	オフ日
	18	Unit12(1): On the Move	Unit12 Review1
	19	Unit12(2): On the Move	Unit12 Review2
	20	Unit12(3): On the Move	Unit12 Review3
	21	Unit12(4): On the Move	Unit12 Review4
	22	From "World English 1" Unit11(1): Achievements	WE1 Unit11 Review1
	23	From "World English 1" Unit11(2): Achievements	WE1 Unit11 Review2
	24	From "World English 1" Unit11(3): Achievements	WE1 Unit11 Review3
	25	From "World English 1" Unit11(4): Achievements	WE1 Unit11 Review4
	26	From "World English 1" Unit9(1): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review1
	27	From "World English 1" Unit9(2): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review2
	28	From "World English 1" Unit9(3): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review3
	29	From "World English 1" Unit9(4): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review4
30	Review	ReviewのReview	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て  (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。  (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。  (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)  (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。</p>
	<p>評価  中間・期末テスト... 60% (上記の到達目標の①、④を評価)  英会話テスト..... 20% (上記の到達目標の②、③を評価)  授業への参加度..... 20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目  英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山入端 由美子[経済]	1年	講義室にて、もしくはメールにて受付ます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅰの学習内容を発展させ、大学生として必要な英語コミュニケーションの四技能をバランス良く養成する。実社会で使われる世界中の英語を聞き理解する。様々なテーマについての英語を聞き理解する。自らの考えを発信することができるようコミュニケーション活動を促す。文化の違いや類似点に気づき異文化理解を深める。	語学学習は楽しみながら継続することが大切です。教科書を用いての学習はもちろん、自分の好きな音楽や動画、映画など手軽にアクセスできる学習素材は無数にあります。また世界中で配信されるニュースも教材となります。ぜひ積極的に英語の情報にアクセスし実践的語学力を身に付けてください。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>*様々なテーマについて英語を聞き、理解する。</li> <li>*コミュニケーションストラテジーを用い、身近な話題について書いたり自信を持って流ちょうに話せるようになる。</li> <li>*読解問題に取り組むことで、文法・語彙・表現力を強化する。</li> <li>*文化の違いや類似点に気づき理解する。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	English II Class Orientation	Read English II course syllabus
	2	Textbook Unit 7	Unit 7 Review (1)
	3	Textbook Unit 7	Unit 7 Review (2)
	4	Textbook Unit 7	Unit 7 Review (3)
	5	Textbook Unit 8	Unit 8 Review (1)
	6	Textbook Unit 8	Unit 8 Review (2)
	7	Textbook Unit 8	Unit 8 Review (3)
	8	Textbook Unit 9	Unit 9 Review (1)
	9	Textbook Unit 9	Unit 9 Review (2)
	10	Textbook Unit 9	Unit 9 Review (3)
	11	Oral Presentation Preparation	Write a script for your OP
	12	Oral Presentation Day 1	Prepare for your OP
	13	Oral Presentation Day 2	Review
	14	Reviewing Unit 7,8,9	Review Unit 7,8,9
	15	Mid-term Examination	Review Unit 7,8,9
	16	Reviewing Mid-term Exam	Review your exam
	17	Textbook Unit 10	Unit 10 Review (1)
	18	Textbook Unit 10	Unit 10 Review (2)
	19	Textbook Unit 10	Unit 10 Review (3)
	20	Textbook Unit 11	Unit 11 Review (1)
	21	Textbook Unit 11	Unit 11 Review (2)
	22	Textbook Unit 11	Unit 11 Review (3)
	23	PP Presentation Preparation	Write a script for your PPP
	24	PP Presentation Day 1	Prepare for your PPP
	25	PP Presentation Day 2	Review
	26	Textbook Unit 12	Unit 12 Review (1)
	27	Textbook Unit 12	Unit 12 Review (2)
	28	Textbook Unit 12	Unit 12 Review (3)
	29	Reviewing Unit 10,11,12	Review Unit10,11,12
30	Final Examination	Review Unit 10,11,12	
31	Reviewing the Final Exam & Make-up Exam		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*使用テキスト;前期英語 I で使用した教科書を継続して使用します。未購入の方は必ず購入してください。  *ウェブ学習;教科書付随のLMS(Learning Management System)があります。学習履歴が評価の一部になりますので積極的に活用してください。  *沖国ポータルサイトにある「授業連絡」を用いて必要に応じて連絡をすることがあります。常にチェックする習慣をつけてください。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①授業出席数が単位修得にとって重要な鍵となります。欠席が10回以上あると単位修得できません。  ②授業遅刻15分以上は減点となります。  ③体調不良で欠席する際は講師に直接メールで連絡してください。E-mail:ptt1230@okiu.ac.jp  ④授業には積極的に・主体的に参加してください。  ⑤ウェブ学習にも積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>Review tests, exams, oral presentation, PP presentation (85%)  Web-learning: LMS (15%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次は、英語リーディングやライティングの力を養成する英語Ⅲ・Ⅳで学ぶことをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・水4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章 [日文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。後期は例年前期に比べて、遅刻、欠席が多くなる傾向があります。今年はそのジंकスを打破しましょう
到達目標	①様々な状況で取り交わされる英語の内容を聴き取ることができる。 ②英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。 ③会話文を英語で書くことができる。 ④平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解し、読解の質問に対して、日本語でも英語でも答えることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit8(1): Clothes	Unit8 Review1
	2	Unit8(2): Clothes	Unit8 Review2
	3	Unit8(3): Clothes	Unit8 Review3
	4	Unit8(4): Clothes	Unit8 Review4
	5	Unit9(1): Food	Unit9 Review1
	6	Unit9(2): Food	Unit9 Review2
	7	Unit9(3): Food	Unit9 Review3
	8	Unit9(4): Food	Unit9 Review4
	9	Unit10(1): Health	Unit10 Review1
	10	Unit10(2): Health	Unit10 Review2
	11	Unit10(3): Health	Unit10 Review3
	12	Unit10(4): Health	Unit10 Review4
	13	Unit11(1): Making Plans	Unit11 Review1
	14	Unit11(2): Making Plans	Unit11 Review2
	15	Unit11(3): Making Plans	Unit11 Review3
	16	Unit11(4): Making Plans	Unit11 Review
	17	中間テスト	オフ日
	18	Unit12(1): On the Move	Unit12 Review1
	19	Unit12(2): On the Move	Unit12 Review2
	20	Unit12(3): On the Move	Unit12 Review3
	21	Unit12(4): On the Move	Unit12 Review4
	22	From "World English 1" Unit11(1): Achievements	WE1 Unit11 Review1
	23	From "World English 1" Unit11(2): Achievements	WE1 Unit11 Review2
	24	From "World English 1" Unit11(3): Achievements	WE1 Unit11 Review3
	25	From "World English 1" Unit11(4): Achievements	WE1 Unit11 Review4
	26	From "World English 1" Unit9(1): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review1
	27	From "World English 1" Unit9(2): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review2
	28	From "World English 1" Unit9(3): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review3
	29	From "World English 1" Unit9(4): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review4
30	Review	ReviewのReview	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て  (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。  (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。  (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)  (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。</p>
	<p>評価  中間・期末テスト... 60% (上記の到達目標の①、④を評価)  英会話テスト..... 20% (上記の到達目標の②、③を評価)  授業への参加度..... 20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・水4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡慶次 マーガレット 有子[日文]	1年	① 大学メール ptt1186@okiu.ac.jp ② 授業終了後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期と同じ教科書を使い、後半の6つのユニットを学習する。</p> <p>①Unit毎にスピーキングアクティビティを行ない、コミュニケーション能力を、さらに高める。</p> <p>②様々なリスニング教材を用い、語彙力、表現力、聴解力の向上を目指す。</p>	<p>①予習を前提として授業を進めるので、テキストの英文を下調べしわからない単語やフレーズは確認しておくこと。</p> <p>②各Unitにあるエクササイズにもあらかじめ答えておくこと。</p>

到達目標
<p>①自身を持って英会話ができるようになる。</p> <p>②プレゼンテーションを通して、自分が伝えたいことを、他者にわかりやすく説明できるようになる。</p> <p>③パッセージに出てくる語彙や、重要文法項目を使って、英作文を書くことができる。</p> <p>④英語の音声を聞いて、リスニング問題に答えることができる。</p> <p>⑤グループワークを通して、多面的に物事を見ることで、発想力や、問題解決能力を身につける。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (授業の目的や進め方について説明する)	Grammar Exercises
	2	Unit7 [Food and Drink] Grammar Exercises (countable and uncountable nouns)	Vocabulary Building
	3	Unit7 Listening Exercises	Writing Assignment#1
	4	Unit7 Group Work	Readingの予習
	5	Unit7 Reading Exercises	Grammar Exercises
	6	Unit8 [Rules] Grammar Exercises (obligation)	Vocabulary Building
	7	Unit8 Listening Exercises	Supplementary Reading
	8	Unit8 Group Work	Readingの予習
	9	Unit8 Reading Exercises	TEST#1の準備
	10	Unit9 [Adventure] TEST#1	Grammar Exercises
	11	Unit9 Listening Exercises Grammar Exercises (present perfect)	Vocabulary Building
	12	Unit9 Group Work	PRESENTATION#1の準備
	13	Unit9 PRESENTATION#1	Grammar Exercises
	14	Unit10 [Health] Grammar Exercises (advice and suggestions)	Grammar Exercisesの復習
	15	Unit10 Listening Exercises	Readingの予習
	16	Unit10 Group Work	Writing Assignment#2
	17	Unit10 Reading Exercises	Supplementary Reading
	18	Unit11 [Comparisons] Grammar Exercises (comparisons and superlatives)	PRESENTATION#2の準備
	19	Unit11 PRESENTATION#2	Vocabulary Building
	20	Unit11 Group Work	TEST#2の準備
	21	Unit11 Reading Exercises TEST#2	Peer Assessment
	22	Unit12 [The modern world] Grammar Exercises (present perfect)	Grammar Exercisesの復習
	23	Unit12 Listening Exercises	Writing Assignment#3
	24	Unit12 Group Work	Readingの予習
	25	Unit12 Reading Exercises	Peer Assessment
	26	Movie	Vocabulary Building
	27	Movie	Writing Assignment#4
	28	Supplementary Reading	PRESENTATION#3の準備
	29	PRESENTATION#3	Peer Assessment
30	Review Lesson	FINAL TESTの準備	
31	FINAL TEST	Course Assessment	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>① テキスト『Breakthrough PLUS 2』 Macmillan Language House, 2012 ISBN 978-1-380-00313-3</p> <p>② 参考資料は授業で配布する。</p>														
	<p>学びの手立て</p> <p>①全体の1/3以上欠席した場合、単位は与えられない。</p> <p>②回遅刻=1回欠席とみなす。</p> <p>③積極的に授業に貢献することを期待する。</p> <p>④計画を立てて学習し、課題は、期日以内に提出すること。</p> <p>⑤間違いを恐れずに、堂々と自分の考えを述べましょう。</p> <p>⑥授業計画は、授業の状況により変更する場合があります。</p>														
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>①Tests</td> <td>20% (10%X2)</td> <td>上記の到達目標3,4を評価</td> </tr> <tr> <td>②Presentations</td> <td>30% (10%X3)</td> <td>上記の到達目標1-5を評価</td> </tr> <tr> <td>③Writing Assignments</td> <td>20% (5%X4)</td> <td>上記の到達目標3を評価</td> </tr> <tr> <td>④Final Test</td> <td>20%</td> <td>上記の到達目標3,4を評価</td> </tr> <tr> <td>⑤授業参加度、貢献度、出席</td> <td>10%</td> <td>上記の到達目標1-5を評価</td> </tr> </table>	①Tests	20% (10%X2)	上記の到達目標3,4を評価	②Presentations	30% (10%X3)	上記の到達目標1-5を評価	③Writing Assignments	20% (5%X4)	上記の到達目標3を評価	④Final Test	20%	上記の到達目標3,4を評価	⑤授業参加度、貢献度、出席	10%
①Tests	20% (10%X2)	上記の到達目標3,4を評価													
②Presentations	30% (10%X3)	上記の到達目標1-5を評価													
③Writing Assignments	20% (5%X4)	上記の到達目標3を評価													
④Final Test	20%	上記の到達目標3,4を評価													
⑤授業参加度、貢献度、出席	10%	上記の到達目標1-5を評価													
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>① 英字新聞や雑誌、インターネットなどを活用し、国内・国際情勢を英語で学ぶことにもチャレンジしてみましょう。</p> <p>② DVDやYouTubeなどを使用して、楽しみながら、リスニング力やスピーキング力を鍛えましょう。</p>														

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [経済]	1年	授業後に受け付けます。 大学メールでも受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>リスニング力とスピーキング力向上を目指し、英語 I で学んだ内容のレベルアップを図る。“発音”、“音読”に重点を置いた学習で「使える」英語を身につける。教材やInternet等の音源を利用して積極的に英語を聴く、話す等、使う機会を増やし、意見の交換ができるようになる。さらに語彙力を養い読解力もつける。</p>	<p>英語 I 同様、英語 II でも英語を多用する機会は授業が中心となるはず。ペアやグループで英語を発話することに集中して積極的に取り組んで下さい。耳と口を使って英語を訓練する場を活用し、回数をこなすことが大切です。音読、発話練習に取り組みスピーキング力のレベルアップ図りましょう。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。</li> <li>2. 自分の事を英語で伝えることができる。</li> <li>3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。</li> <li>4. 英語学習においてインターネットを効果的に活用できる。</li> <li>5. 英語学習を通して国際的な視野を広げることができる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation, Text Unit 8 Vocabulary, English Songs	授業内容、シラバスの確認
	2	VSF Chapter 11, Text Unit 9 Vocabulary	語彙、会話表現確認
	3	Text Unit 8 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 64 ~ 68を事前に読む
	4	VSF Chapter 12, Text Unit 10 Vocabulary	語彙、会話表現確認
	5	Text Unit 8 (Grammar, Reading)	Text p. 69 ~ 71を事前に読む
	6	VSF Chapter 13, Unit 8 Review Test, English in News	語彙、会話表現確認、Unit 8 復習
	7	Text Unit 9 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 73 ~ 76を事前に読む
	8	DVD鑑賞, BBC "Medicine" Vocabulary, English songs	語彙、表現確認、聴解
	9	Text Unit 9 (Grammar, Reading)	Text p. 77~ 79を事前に読む
	10	VSF Chapter 14, Unit 9 Review Test, English in News	語彙、会話表現確認、Unit 9 復習
	11	Text Unit 10 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 81 ~ 84を事前に読む
	12	VSF Chapter 15, Text Unit 12 Vocabulary	語彙、会話表現確認
	13	Text Unit 10 (Grammar, Reading)	Text p. 85 ~ 87を事前に読む
	14	BBC "Medicine" Preview, Unit 10 Review Test, English songs	Unit 10 復習、表現確認、聴解
	15	中間テスト	Unit8~10・VSF11~15復習
	16	BBC "Medicine" Listening Practice	語彙、表現確認、聴解
	17	Text Unit 11 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 88 ~ 92を事前に読む
	18	Text Unit 11 (Grammar, Reading)	Text p. 93 ~ 95を事前に読む
	19	VSF Chapter 16, Unit 11 Review Test, Unit 13 Vocabulary	語彙、会話表現確認、Unit 11 復習
	20	Text Unit 12 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 97 ~ 100を事前に読む
	21	Text Unit 12 (Grammar, Reading)	Text p. 101 ~ 103を事前に読む
	22	VSF Chapter 17, Unit 12 Review Test, Unit 13 Vocabulary	語彙、会話表現確認、Unit 12 復習
	23	Text Unit 13 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 105 ~ 108を事前に読む
	24	DVD 鑑賞、English Songs, News in English	会話表現確認、聴解
	25	VSF Chapter 18 & 19	語彙、会話表現確認
	26	Text Unit 13 (Grammar, Reading)	Text p. 109 ~ 111を事前に読む
	27	Unit 13 Review Test, DVD鑑賞、News in English	語彙、会話表現確認、読解
	28	Grammar Review	文法項目復習
	29	VSF Chapter 20, TED Talk	語彙、読解
30	English II 振り返り	英語 II 振り返り	
31	期末テスト	期末テストに備える	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書は英語I Text, New Connection (SEIBIDO) を継続使用します。</li> <li>2. 参考文献・資料は、その都度授業で連絡します。</li> <li>3. 授業プリント、課題、正解・解説を綴るファイルを準備して下さい。</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席はしないこと(詳細はオリエンテーションでお知らせします)。</li> <li>② 学習の際は辞書を多用すること。</li> <li>③ 教科書や教材の音源を活用し積極的に音読に励むこと。</li> <li>④ 時間管理を行い各自の責任で課題、復習をする時間を確保すること(2単位は60時間必要)。</li> </ol> <p>*シラバスは学習状況によって変更の可能性あります。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題、復習・確認テスト (30%)</li> <li>・ 中間、期末テスト (30%)</li> <li>・ Viva San Francisco (25~30%)</li> <li>・ 課題等提出、授業参加態度等 (10~15%)</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで学んだ基礎をもとに、英語検定試験やTOEICなどの資格試験に積極的に挑戦し、自発的に学べる姿勢を身につけ、将来は英語でも自分のやりたい事ができる環境を築いて下さい。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-芦峰 隆章[地域環境政策]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 英文法の基礎を理解したうえで、英語の4技能のうち特に「聴く」、「話す」の技能向上を目指して学習していく。 ブロークンではない、正しい英語で書いたり話したりできるようにする。	メッセージ 前期の英語Ⅰよりもレベルアップします。後期は例年前期に比べて、遅刻、欠席が多くなる傾向があります。 今年はそのジंकスを打破しましょう
	到達目標 授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit8(1): Clothes	Unit8 Review1
	2	Unit8(2): Clothes	Unit8 Review2
	3	Unit8(3): Clothes	Unit8 Review3
	4	Unit8(4): Clothes	Unit8 Review4
	5	Unit9(1): Food	Unit8 Review1
	6	Unit9(2): Food	Unit8 Review2
	7	Unit9(3): Food	Unit8 Review3
	8	Unit9(4): Food	Unit8 Review4
	9	Unit10(1): Health	Unit10 Review1
	10	Unit10(2): Health	Unit10 Review2
	11	Unit10(3): Health	Unit10 Review3
	12	Unit10(4): Health	Unit10 Review4
	13	Unit11(1): Making Plans	Unit11 Review1
	14	Unit11(2): Making Plans	Unit11 Review2
	15	Unit11(3): Making Plans	Unit11 Review3
	16	Unit11(4): Making Plans	Unit11 Review4
	17	中間テスト	オフ日
	18	Unit12(1): On the Move	Unit12 Review1
	19	Unit12(2): On the Move	Unit12 Review2
	20	Unit12(3): On the Move	Unit12 Review3
	21	Unit12(4): On the Move	Unit12 Review4
	22	From "World English 1" Unit11(1): Achievements	WE1 Unit11 Review1
	23	From "World English 1" Unit11(2): Achievements	WE1 Unit11 Review2
	24	From "World English 1" Unit11(3): Achievements	WE1 Unit11 Review3
	25	From "World English 1" Unit11(4): Achievements	WE1 Unit11 Review4
	26	From "World English 1" Unit9(1): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review1
	27	From "World English 1" Unit9(2): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review2
	28	From "World English 1" Unit9(3): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review3
	29	From "World English 1" Unit9(4): Types of Clothing	WE1 Unit9 Review4
30	Review	ReviewのReview	
31	期末テスト	オフ日	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など WORLD ENGLISH Intro (Third Edition) NATIONAL GEOGRAPHIC LEARNING, 3,000円</p>
	<p>学びの手立て  (1) 極力遅刻、欠席をしないこと。  (2) 常に生産的学習に取り組むこと。あなたの熱意は授業への参加度に反映されます。  (3) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)  (4) 提出すべき課題は、提出期限を守ること。</p>
	<p>評価  中間・期末テスト... 60% (上記の到達目標の①、④を評価)  英会話テスト..... 20% (上記の到達目標の②、③を評価)  授業への参加度..... 20% (上記の到達目標の①、②、③、④を評価)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 英語講読に興味のある方は「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」に進んでください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉 [企業システム]	1年	授業終了時、アポをとっての問い合わせも可能です。	

学びの準備	ねらい 英語Iの発展教科であるこの授業では、実社会で使える英語力の養成を目指します。シャドーイングを通したリスニング力のさらなる向上をはかるとともに、英語圏の人々が日本・沖縄に来たときにアルバイトやプライベートで適切なコミュニケーションを図れることも学修の目的とします。	メッセージ 英語でコミュニケーションをはかるうえで必要な知識と自信を培ってほしいと思います。英語・日本語両文化をさらに掘り下げて学んでいきましょう！【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 * 外国から日本に来た人々と適切にコミュニケーションが図れる * 英語圏での生活において、基本的なコミュニケーションを適切に図れる * 英語を用いて異文化への理解に積極的に取り組める * クラスメートと協働してタスクやプロジェクトに取り組める * 自らの学修を客観的かつ詳しく振り返り、改善を行うことができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction to the unit	翌週の予習
	2	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	3	You're welcome! (YW) Unit 1	振り返り, Quizlet
	4	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	5	[YW] Unit 2	振り返り, Quizlet
	6	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	7	[YW] Unit 3	振り返り, Quizlet
	8	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	9	[YW] Unit 4	振り返り, Quizlet
	10	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	11	[YW] Unit 5	中間review準備
	12	中間 review	振り返り
	13	[YW] Unit 6	振り返り, Quizlet
	14	中間点検	振り返り
	15	[YW] 中間 review	振り返り
	16	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	17	[YW] Unit 7	振り返り, Quizlet
	18	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	19	[YW] Unit 8	振り返り, Quizlet
	20	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	21	[YW] Unit 9	振り返り, Quizlet
	22	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	23	[YW] Unit 10	振り返り, Quizlet
	24	リスニング練習	振り返り, Quizlet
	25	[YW] Unit 11	振り返り, Quizlet
	26	[YW] Unit 12	振り返り, Quizlet
	27	Group presentations 1	プレゼン準備, 振り返り
	28	Group presentations 2	プレゼン準備, 振り返り
29	Group presentations 3	プレゼン準備, 振り返り	
30	Group presentations 4, wrap up	プレゼン準備, 振り返り	
31	End-semester exam	テスト準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>*指定教科書： You're Welcome! (Cengage Learning - 学内書店にて購入要)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 講義への出欠は、評価対象となる(三分の一以上の欠席は、自動的に不可となります)とともに、毎回確認を行います。妥当かつやむを得ない理由で欠席する際は、事前にメールで連絡し、欠席届を証明書と共に提出してください。</li> <li>- インタラクティブなアクティビティを多用しますので、毎回積極的な参加姿勢が求められます。</li> <li>- 英語力アップに予習・復習は必要不可欠なものです。予習・復習を行った前提で授業をすすめます。また、授業内外で主体的に取り組むタスクが多数盛り込まれています。時間管理をしつつ、自律的に取り組んでください。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>授業への参加姿勢 (10%), タスクへの取り組み (25%), 振り返り (15%), 中間テスト (15%), グループプロジェクト (15%), 期末テスト (20%)</p> <p>詳細はUnit outlineに記載し、第1回講義にて配布します。併せて熟読してください。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>本教科で学んだことを基に、英語Ⅲ,Ⅳ 外国語研究Ⅰ,Ⅱで応用・活用しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸[社文・人福]	1年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Iで学んだ事を活かし、さらに英語の4技能のうち特に「リスニング」、「スピーキング」の技能向上を目指して学習し、英語の基礎力アップを目指します。	メッセージ 講師自身の英語の出来なかった苦い経験や留学(アメリカ)の体験を活かし、英語の基礎的事項から指導します。英語に苦手意識を持っている方にとっては学び直しのチャンスです。又、英語の好きな方はますます英語を好きになるチャンスです。皆さん一緒に英語を「コミュニケーションの道具」として使うことができることを目指しましょう。
	到達目標 ①多様なトピックに関連した基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ②聞いた英文に関して、論理的・客観的に自分の意見を述べる事ができる。 ③様々な英語に触れる(聴く・話す)ことを通して思考力・判断力・積極性、人間性を養う。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	シラバスをよく読む
	2	Unit1: Academic Research	教科書Unit 1を事前に読む
	3	Unit 1 & Unit2 Social Issues in Japan	教科書Unit 1を事前に読む
	4	Unit 2	教科書Unit2を事前に読む
	5	Unit1Quiz & Unit 3 Personal Safety	教科書Unit 3を事前に読む
	6	Unit 3	教科書Unit 3を事前に読む
	7	Unit2 Quiz & Unit 4 Gender	教科書Unit 4を事前に読む
	8	Unit3 Quiz & Unit4	教科書Unit 4を事前に読む
	9	Unit 5 Religion	教科書Unit 5を事前に読む
	10	Unit 4 Quiz & Unit 5	教科書Unit 5を事前に読む
	11	Unit 6 Business	教科書Unit 6を事前に読む
	12	Unit5 Quiz & Unit 6	教科書Unit 6を事前に読む
	13	中間試験対策	中間試験対策をする
	14	中間試験 (Unit1-6)	中間試験対策をする
	15	Unit7 Career	教科書Unit 7を事前に読む
	16	中間試験返却 & Unit7	教科書Unit 7を事前に読む
	17	Unit8 Japanese Culture	教科書Unit 8を事前に読む
	18	Unit 7 Quiz & Unit 8	教科書Unit 8を事前に読む
	19	Unit 9 Law and Peace	教科書Unit 9を事前に読む
	20	Unit8 Quiz & Unit 9	教科書Unit 9を事前に読む
	21	Unit 10 Ethnicity	教科書Unit10を事前に読む
	22	Unit 9Quiz & Unit10	教科書Unit10を事前に読む
	23	Unit11 Science and Scientists	教科書Unit11を事前に読む
	24	Unit 10 Quiz & Unit 11	教科書Unit11を事前に読む
	25	Unit12 Diversity	教科書Unit12を事前に読む
	26	Unit 11 Quiz & Unit12	教科書Unit12を事前に読む
	27	Extra reading 1	講師指定の教材を事前に読む
	28	Unit12 Quiz & Extra Reading 2	クイズの準備
	29	Extra Reading 3	講師指定の教材を事前に読む
30	期末試験対策	期末試験対策をする	
31	期末試験: Unit7-12	期末試験対策をする	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Global Perspectives Listening &amp; Speaking Book 2 成美堂 中西のりこ他 (2023年) 定価 2,750円</li> <li>2. 必要なプリントは講義の際に配布する。</li> </ol> <p>教科書は変更の可能性もあります。その際は学生の皆さんへご連絡致します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。</li> <li>2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。</li> <li>3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。</li> <li>4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。</li> <li>5. 遅刻、私語、居眠り、授業に関係ない携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>平常点（授業参加度）30%、宿題・課題（レポートなど）・小テスト 30%、中間試験20%、期末試験20%の結果により総合的に評価する。総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力特に（リスニングとスピーキング）の習得を目指し、さらなる英語の運用能力の向上を目指しましょう。 関連科目としては、「英語III及びIV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [産業情報]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	前期と同様、テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習する。クラスメートと楽しく学ぶ環境の中、より英語学習に積極的に取り組み、英語力の向上を実感することを目指す。	【実務経験】2001年から様々な現場で英語講師をしてきた経験を活かし、学生が更に英語を好きになるようなそんな授業にしていきたいと思っています。英語Ⅱは、英語Ⅰで学んだことの応用となります。ロールプレイやアクティブラーニングをパワーアップさせ、自ら考え学習したくなるような授業を目指します！
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で沖縄について、基礎的な単語や表現を用いて話すことができる。</li> <li>英語で・クラスメートと協力し合い、学習やアクティビティを進めていくことができる。</li> <li>タスクを行うための情報収集・問題解決方法を自ら考え、実行できる。</li> <li>授業以外でも積極的に英語を学び、使う努力をすることを常に心掛ける。</li> <li>「英語の壁」に遭遇した場合、自分なりに解決方法を考え、モチベーション向上を図ることができる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション&ガイダンス Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	2	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	3	Unit 8: Where I live	Unit 8復習
	4	Unit 8: Where I live	Unit 8復習 Unit 9予習
	5	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	6	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	7	Unit 9: Times past	Unit 9復習
	8	Unit 9: Times past	Unit 9復習 Unit 10予習
	9	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習
	10	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習
	11	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習
	12	Unit 10: We had a great time!	Unit 10復習 Unit 11予習
	13	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	14	Unit 11: I can do that!	Unit 11復習
	15	Unit 11: I can do that!	Unit 11予習
	16	Unit 11: I can do that!	Unit 8-11復習
	17	Review Unit 8-11 課題発表	Unit 12予習
	18	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	19	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	20	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習
	21	Unit 12: Please and thank you	Unit 12復習 Unit 13予習
	22	Unit 13: Here and now	Unit 13復習
	23	Unit 13: Here and now	Unit 13予習
	24	Unit 13: Here and now	Unit 13復習
	25	Unit 13: Here and now	Unit 13復習 Unit 14予習
	26	Unit 14: It's time to go!	Unit 14復習
	27	Unit 14: It's time to go!	Unit 14予習
	28	Unit 14: It's time to go!	Unit 14復習
	29	Unit 14: It's time to go!	Unit 12-14復習
30	Review Unit 12-14	Unit 8-14の復習	
31	Review Unit 8-14		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：American Headway Third Edition Level Starter Student Book with Oxford Online Skills：Oxford University Press * 前期の英語 I で購入済みなら不要。 参考書・資料など：必要に応じて随時授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。</li> <li>・私語、居眠り、他の教科の宿題など、授業に関係のないことを行った場合欠席扱い、または退室してもらうことがあるので注意してほしい。積極的に授業に取り組み、発言や質問をすること。</li> <li>・ほぼ毎回授業の理解度・学習Assessmentを行うので予習・復習を自主的かつ積極的に行うこと。</li> <li>・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業へ参加・積極性・貢献度（25%）②課題：（25%）③授業の理解度・学習Assessment：（25%）④Self Reflection/Analysis=振り返り・自己分析（25%）を総合的に判断して評価する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>今後自分なりにどういった形で英語学習を継続できるかを考えてほしい。特に英検やTOEICなどは、資格取得と同時にモチベーション向上にもなるのでチャレンジしてほしい。また産業情報学科で開講されている「ビジネス英語」や「ツーリズム英語」などの受講を勧める。異文化や海外に興味のある学生は「グローバルメディアスタディーズ」や「国際理解課題研究I、II」も受講して欲しい。</p>



※ポリシーとの関連性 前期よりさらに深く、英語の4技能を磨き、さらに国際性とコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真喜志 満 [社文・人福]	1年	ptt040@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、さらに日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を考えなくても自然に口について出てくるようになるまで演習を行う。既存のe-learning教材“Viva! San Francisco”と洋楽にe-learningを導入・活用して、4技能を総合的に高めるよう演習する。”	英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。やり方は前期を踏襲する。Learning Management System (LMS)にアクセスして予習・復習を行う。学生はインターネットの環境があれば、いつでもどこでもそこにアクセスして予習・復習を行う。また欠席した場合には、自分でLMSにアクセスして学習し、テストなどに備えること。

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検2級程度までの英語力を身につけることができる。</li> <li>・海外のホームステイなど、いろんな場面で困らない英語表現が身につく。</li> <li>・日本人の苦手な発音を克服する。</li> <li>・英語4技能(とくにヒアリング)がさらに向上する。</li> <li>・e-learning systemやITを活用した英語学習ができるようになる。</li> <li>・英語への苦手意識や抵抗が減り英語の勉強が楽しくなる</li> </ul>
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	コースガイダンスⅠ_e-learning教材使用の講義について	ログイン確認
	2	コースガイダンスⅡ_つぶやき英語使用の講義について	LMSをよく読むこと
	3	VSF11+♪#01 テストなし 合唱曲	Vivaの練習問題をLMSで解く
	4	S1 テストなし 座席確認。ペア練習の練習、合唱	LMSを使って学習する
	5	VSF12+♪#02 ①洋楽テスト♪#01	Vivaの練習問題をLMSで解く
	6	S9 ①つぶやきテストS1	LMSを使って学習する
	7	VSF13+♪#03 ②洋楽テスト♪#02	Vivaの練習問題をLMSで解く
	8	S16 ②つぶやきテストS9	LMSを使って学習する
	9	VSF14+♪#04 ③洋楽テスト♪#03	Vivaの練習問題をLMSで解く
	10	S23 ③つぶやきテストS16	LMSを使って学習する
	11	VSF15+♪#05 ④洋楽テスト♪#04	Vivaの練習問題をLMSで解く
	12	S24 ④つぶやきテストS23	LMSを使って学習する
	13	特別講義Ⅰ ⑤洋楽テスト♪#05 帳票出力・発表、追試受験確認、VivaSF課題仕上げ	Vivaの練習問題をLMSで解く
	14	特別講義Ⅰ ⑤つぶやきテストS24 RT点数入力 + 採点済返却 + 追試受験確認	LMSを使って学習する
	15	追試セッションⅠ 前半洋楽テスト5回分・・・洋楽♪#01～♪#05	総復習をする
	16	追試セッションⅠ 前半つぶやきテスト5回分・・・S1, S9, S16, S23, S24	総復習をする
	17	VSF16+♪#06 テストなし 成績シミュレーション、合唱曲	Vivaの練習問題をLMSで解く
	18	VSF17+♪#07 ⑥洋楽テスト♪#06	LMSを使って学習する
	19	VSF18+♪#08 ⑦洋楽テスト♪#07	Vivaの練習問題をLMSで解く
	20	S26 テストなし 英文法	LMSを使って学習する
	21	VSF19+♪#09 ⑧洋楽テスト♪#08	Vivaの練習問題をLMSで解く
	22	S29 ⑥つぶやきテストS26	LMSを使って学習する
	23	VSF20 ⑨洋楽テスト♪#09 RT帳票出力・発表・確認、追試受験確認	Vivaの練習問題をLMSで解く
	24	S37 ⑦つぶやきテストS29	LMSを使って学習する
	25	S43 ⑨つぶやきテストS37	Vivaの練習問題をLMSで解く
	26	特別講義Ⅱ 実力 Test	総復習をする
	27	特別講義Ⅱ ⑨つぶやきテストS43 採点済返却、つぶやきRT集計・追試確認	LMSを使って学習する
	28	追試セッションⅡ 後半洋楽テスト4回分・・・洋楽#06～#09	総復習をする
	29	追試セッションⅡ 後半つぶやきテスト4回分・・・S26, S29, S37, S43	総復習をする
30	特別講義Ⅲ 出欠確認、最終成績発表 + Jアンケート、合唱曲S08+S09	e-learning教材で学習する	
31	特別講義Ⅲ 追試調整 + 最終成績調整 + 総合演習/補講	e-learning教材で学習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>毎回教材をLMS経由で配布する。教材すべてはLearning Management System (LMS)にアップロードする。英和・和英・英英辞典、あるいは電子辞書、英文法書、インターネット上の文献・ホームページなど。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>e-learning教材を学習する際には、コースオリエンテーションで指定するブラウザや学習方法に注意すること。“Viva San Francisco”は、各章2部ごとに分かれているが、後半の“Face The Camera”の練習問題も解くこと。間違った場合は何度もチャレンジし、各設問で満点が取れるまで問題を解くこと。なお、欠席する場合は所定の欠席届けを事前に、無理な場合は後日できるだけ早い時期に提出すること。”</p>
	<p>評価</p> <p>つぶやき英語小テスト25%、洋楽小テスト20%、実力テスト10%、Viva SFの自主学习35%、授業参加度10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>このコースの履修後は、本学のカリキュラムに組まれた英語講読系やその他の上級コース「英語IV・VI・VIII」などを履修し、さらに発展させることを希望する。また扱った洋楽はラジオなどでよく流れる曲なので、曲が流れるたびに英語の復習が生涯できる。是非その機会を生かし、またカラオケなどでくりかえし歌って曲の中の英語をすべて自分のものにして、生涯楽しく英語を学んでほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル [法律・地行]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit 6 Grammar p.107, 108, 109 Adj + Prepositions, Adverbs, p.102 song	p.111, 112, 113
	2	HW p.111, 112, 113 - Questions, p.102 song, p103 pron, p.105 Vocab, p.110 Yes/No ex	Grammar take-home test
	3	HW Grammar take-home test - Questions, p. 111, p.114, p.115+116 (in pairs)	p.119+120
	4	HW p.119+120 - Questions, p. 114 again, p. 117+118, p.115 again	In Class test 1 U.6
	5	HW In Class Test 1 U.6 - Questions, Test for Unit 6 + Correct in class	Listen to Unit 7 song
	6	Unit 7 Grammar p.127, 128, 129 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.122 song	p.131, 132, 133
	7	HW p.131, 132, 133 - Questions, p.122 song, p123 pron, p.125 Vocab, p.130 Yes/No ex	Grammar take-home test
	8	HW Grammar take-home test - Questions, p. 131, p.134, p.135+136 (in pairs)	p.139+140
	9	HW p.139+140 - Questions, p. 134 again, p. 137+138, p.135 again	In Class test 1 U.7
	10	HW In Class Test 1 U.7 - Questions, Test for Unit 7 + Correct in class	Listen to Unit 8 song
	11	Unit 8 Grammar p.147, 148, 149 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.142 song	p.151, 152, 153
	12	HW p.151, 152, 153 - Questions, p.142 song, p143 pron, p.145 Vocab, p.150 Yes/No ex	Grammar take-home test
	13	HW Grammar take-home test - Questions, p. 151, p.154, p.155+156 (in pairs)	p.159+160
	14	HW p.159+160 - Questions, p. 154 again, p. 157+158, p.155 again	In Class test 1 U.8
	15	HW In Class Test 1 U.8 - Questions, Test for Unit 8 + Correct in class	Listen to Unit 9 song
	16	Unit 9 Grammar p.167, 168, 169 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.162 song	p.171, 172, 173
	17	HW p.171, 172, 173 - Questions, p.162 song, p163 pron, p.165 Vocab, p.170 Yes/No ex	Grammar take-home test
	18	HW Grammar take-home test - Questions, p. 171, p.174, p.175+176 (in pairs)	p.179+180
	19	HW p.179+180 - Questions, p. 174 again, p. 177+178, p.175 again	In Class test 1 U.9
	20	HW In Class Test 1 U.9 - Questions, Test for Unit 9 + Correct in class	Listen to Unit 10 song
	21	Unit 10 Grammar p.187, 188, 189 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.182 song	p.191, 192, 193
	22	HW p.191, 192, 193 - Questions, p.182 song, p183 pron, p.185 Vocab, p.190 Yes/No ex	Grammar take-home test
	23	HW Grammar take-home test - Questions, p. 191, p.194, p.195+196 (in pairs)	p.199+200
	24	HW p.199+200 - Questions, p. 194 again, p. 197+198, p.195 again	In Class test 1 U.10
	25	HW In Class Test 1 U.10 - Questions, Test for Unit 10 + Correct in class	Listen to Unit 11 song
	26	Game day	
	27	Unit 11 Grammar p.207, 208, 209 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.202 song	p.211, 212, 213
	28	HW p.211, 212, 213 - Questions, p.202 song, p203 pron, p.205 Vocab, p.210 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p. 211, p.214, p.215+216 (in pairs)	p.219+220
	30	HW p.219+220 - Questions, p. 214 again, p. 217+218, p.215 again	In Class test 1 U.11
31	HW In Class Test 1 U.11 - Questions, Test for Unit 11 + Correct in class	Enjoy the break!	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition  Red Bird Books in Japan  2500 yen tax included  Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class.  We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Attendance : 20%  Tests : 80%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III  Please keep practicing with the recordings on the website.</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・木1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [企業システム]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 中学校教諭としての経験を活かし、英語Ⅰでの指導内容を踏まえ、基礎的事項から指導しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ英語表現(12)の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ英語表現(13)の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ(1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ英語表現(14)の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ英語表現(15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ(2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ英語表現(16)の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ(3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ英語表現(17)の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19(中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ英語表現(18)の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ英語表現(19)の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit 13の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ英語表現(20)の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現(1)	役立つ英語表現(21)の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 14の復習
	25	映画を通して学ぶ表現(2)	役立つ英語表現(22)の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	第2回スピーチテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	第2回スピーチテスト	同上
30	英語の基礎 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25(期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし)</li> <li>2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。</li> <li>・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。</li> <li>・講義時間以外にも、指定教材のe-learningを積極的に活用すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業参加度 (15%)、②インタビューテスト (15%)、③中間テスト (30%)、④期末テスト (40%)、の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ヘンジヤミン フォーゲル[地域環境政策]	1年	E-mail or 授業終了後教室にて受け付けます	

学びの準備	ねらい This is an English speaking course, so we will focus on pronunciation, speaking and listening. You will do exercises in pairs. We will focus on responding to questions.	メッセージ I will speak in English as much as possible and expect you to speak with me and with your classmates in English as much as possible. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 By the end of the course, you will feel more confident speaking English, have better pronunciation, have improved your vocabulary, be able to ask and answer questions using full sentences, and be able to understand basic English grammar.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Unit 6 Grammar p.107, 108, 109 Adj + Prepositions, Adverbs, p.102 song	p. 111, 112, 113
	2	HW p.111, 112, 113 - Questions, p.102 song, p103 pron, p.105 Vocab, p.110 Yes/No ex	Grammar take-home test
	3	HW Grammar take-home test - Questions, p. 111, p.114, p.115+116 (in pairs)	p.119+120
	4	HW p.119+120 - Questions, p. 114 again, p. 117+118, p.115 again	In Class test 1 U.6
	5	HW In Class Test 1 U.6 - Questions, Test for Unit 6 + Correct in class	Listen to Unit 7 song
	6	Unit 7 Grammar p.127, 128, 129 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.122 song	p.131, 132, 133
	7	HW p.131, 132, 133 - Questions, p.122 song, p123 pron, p.125 Vocab, p.130 Yes/No ex	Grammar take-home test
	8	HW Grammar take-home test - Questions, p. 131, p.134, p.135+136 (in pairs)	p.139+140
	9	HW p.139+140 - Questions, p. 134 again, p. 137+138, p.135 again	In Class test 1 U.7
	10	HW In Class Test 1 U.7 - Questions, Test for Unit 7 + Correct in class	Listen to Unit 8 song
	11	Unit 8 Grammar p.147, 148, 149 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.142 song	p.151, 152, 153
	12	HW p.151, 152, 153 - Questions, p.142 song, p143 pron, p.145 Vocab, p.150 Yes/No ex	Grammar take-home test
	13	HW Grammar take-home test - Questions, p. 151, p.154, p.155+156 (in pairs)	p.159+160
	14	HW p.159+160 - Questions, p. 154 again, p. 157+158, p.155 again	In Class test 1 U.8
	15	HW In Class Test 1 U.8 - Questions, Test for Unit 8 + Correct in class	Listen to Unit 9 song
	16	Unit 9 Grammar p.167, 168, 169 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.162 song	p.171, 172, 173
	17	HW p.171, 172, 173 - Questions, p.162 song, p163 pron, p.165 Vocab, p.170 Yes/No ex	Grammar take-home test
	18	HW Grammar take-home test - Questions, p. 171, p.174, p.175+176 (in pairs)	p.179+180
	19	HW p.179+180 - Questions, p. 174 again, p. 177+178, p.175 again	In Class test 1 U.9
	20	HW In Class Test 1 U.9 - Questions, Test for Unit 9 + Correct in class	Listen to Unit 10 song
	21	Unit 10 Grammar p.187, 188, 189 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.182 song	p.191, 192, 193
	22	HW p.191, 192, 193 - Questions, p.182 song, p183 pron, p.185 Vocab, p.190 Yes/No ex	Grammar take-home test
	23	HW Grammar take-home test - Questions, p. 191, p.194, p.195+196 (in pairs)	p.199+200
	24	HW p.199+200 - Questions, p. 194 again, p. 197+198, p.195 again	In Class test 1 U.10
	25	HW In Class Test 1 U.10 - Questions, Test for Unit 10 + Correct in class	Listen to Unit 11 song
	26	Game day	
	27	Unit 11 Grammar p.207, 208, 209 Possessive Pronouns, Commands, Future Tense, p.202 song	p.211, 212, 213
	28	HW p.211, 212, 213 - Questions, p.202 song, p203 pron, p.205 Vocab, p.210 Yes/No ex	Grammar take-home test
	29	HW Grammar take-home test - Questions, p. 211, p.214, p.215+216 (in pairs)	p.219+220
	30	HW p.219+220 - Questions, p. 214 again, p. 217+218, p.215 again	In Class test 1 U.11
	31	HW In Class Test 1 U.11 - Questions, Test for Unit 11 + Correct in class	Enjoy the break!

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English Conversation for Japanese Speakers 3rd Edition  Red Bird Books in Japan  2500 yen tax included  Beni Fogel, Dr. Cary Rasof</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Please do your homework so that you will be prepared to speak in class.  We will be singing songs, listening to dialogues and speaking often in class.</p>
	<p>評価</p> <p>Attendance : 20%  Tests : 80%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語III  Please keep practicing with the recordings on the website.</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[法律・地行]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語基礎力と様々な場面で使える英語を取り上げます。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツと学習をし吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語基礎力と様々な場面で使える英語を取り上げます。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツと学習をし吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション（テキスト案内、注意事項等）	英語Ⅱノート準備
	2	テキストUnit8-1, Unit8 e-learning開始	復習と次回予習
	3	テキストUnit8-2, Unit8 e-learning	復習と次回予習
	4	テキストUnit8-3, Unit8 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	5	テキストUnit9-1, Unit9 e-learning開始	復習と次回予習
	6	テキストUnit9-2, Unit9 e-learning	復習と次回予習
	7	テキストUnit9-3, Unit9 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	8	テキストUnit10-1, Unit10 e-learning開始	復習と次回予習
	9	テキストUnit10-2, Unit10 e-learning	復習と次回予習
	10	テキストUnit10-3, Unit10 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	11	Activity1(Unit8～10会話練習仕上げとその録音提出)	次回予習
	12	テキストUnit11-1, Unit11 e-learning開始	復習と次回予習
	13	テキストUnit11-2, Unit11 e-learning	復習と次回予習
	14	テキストUnit11-3, Unit11 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	15	テキストUnit12-1, Unit12 e-learning開始	復習と次回予習
	16	テキストUnit12-2, Unit12 e-learning	復習と次回予習
	17	テキストUnit12-3, Unit12 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	18	Activity2（英語Ⅰ自己紹介文を修正の上、それを録音提出）	次回予習
	19	テキストUnit13-1, Unit13 e-learning開始	復習と次回予習
	20	テキストUnit13-2, Unit13 e-learning	復習と次回予習
	21	テキストUnit13-3, Unit13 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	22	テキストUnit14-1, Unit14 e-learning開始	復習と次回予習
	23	テキストUnit14-2, Unit14 e-learning	復習と次回予習
	24	テキストUnit14-3, Unit14 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	25	テキストUnit15-1, Unit15 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	26	テキストUnit15-2, Unit15 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	27	テキストUnit15-3, Unit15 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	28	Activity3（Unit11～15会話スピーキング仕上げとその録音提出）	英語Ⅱ全体復習
	29	グループ発表1	英語Ⅰ自主総復習
30	グループ発表2	ミニテスト学習	
31	英語Ⅱテキストミニテスト	ミニテスト結果の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは、英語Ⅰと同じものを用います。テキストをまとめるB5サイズノートも必ず準備してください。他資料や学習教材等は、LMS上の講義回に随時のせていきます。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>オンライン授業での各回の指示や案内をきちんと把握した上で、学習をすすめてください。また、疑問点等がある場合には、遠慮なく講師のメールをし聞いてください。自ら地道に学ぶ皆さんを応援します。</p>
	<p>評価</p> <p>学習到達度（授業回の各項目）30%、e-learning32%、Activity22%、ミニテスト16%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>2年次に履修する英語Ⅲ・Ⅳで、英語Ⅰ・Ⅱで培った英語力を特にリーディング、ライティングの増強を目指してください。また、それらの力を発揮するための英語力検定等をもとに学習する英語Ⅴ。Ⅵ。Ⅶ、Ⅷでキャリアに生かせる英語力をつけられます。ぜひ挑戦してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美 [法律・地行]	1年	授業後に受け付けます。 大学メールでも受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	リスニング力とスピーキング力向上を目指し、英語Ⅰで学んだ内容のレベルアップを図る。“発音”、“音読”に重点を置いた学習で「使える」英語を身につける。教材やInternet等の音源を利用して積極的に英語を聴く、話す等、使う機会を増やし、意見の交換ができるようになる。さらに語彙力を養い読解力もつける。	英語Ⅰ同様、英語Ⅱでも英語を多用する機会は授業が中心となるはず。状況が許せばペアやグループで英語を発話することを積極的に取り組んで下さい。耳と口を使って英語を訓練する場を活用し、回数をこなすことが大切です。音読、発話練習に取り組みスピーキング力のレベルアップ図りましょう。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 易しい内容の英語を聞いて理解できる。</li> <li>2. 自分の事を英語で伝えることができる。</li> <li>3. 身近なことや自分の興味関心のあることを基本的な英語で表現できる。</li> <li>4. 英語学習においてインターネットを効果的に活用できる。</li> <li>5. 英語学習を通して国際的な視野を広げることができる。</li> </ol>	

学びの実践	学びのヒント			
	授業計画	回	テーマ	
			時間外学習の内容	
		1	Orientation, Text Unit 8 Vocabulary, English Songs	授業内容、シラバスの確認
		2	VSF Chapter 11, Text Unit 9 Vocabulary	語彙、会話表現確認
		3	Text Unit 8 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 64 ~ 68を事前に読む
		4	VSF Chapter 12, Text Unit 10 Vocabulary	語彙、会話表現確認
		5	Text Unit 8 (Grammar, Reading)	Text p. 69 ~ 71を事前に読む
		6	VSF Chapter 13, Unit 8 Review Test, English in News	語彙、会話表現確認、Unit 8 復習
		7	VSF Chapter 14, Text Unit 11 Vocabulary	語彙、会話表現確認
		8	Text Unit 9 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 73 ~ 76を事前に読む
		9	DVD鑑賞, BBC "Medicine" Vocabulary, English songs	語彙、表現確認、聴解
		10	Text Unit 9 (Grammar, Reading)	Text p. 77~ 79を事前に読む
		11	VSF Chapter 15, Unit 9 Review Test, News in English	Unit 9 復習、日常表現聴解
		12	Text Unit 10 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 81 ~ 84を事前に読む
		13	VSF Chapter 16, Text Unit 12 Vocabulary	語彙、会話表現確認
		14	Text Unit 10 (Grammar, Reading)	Text p. 85 ~ 87を事前に読む
		15	BBC "Medicine" Preview, Unit 10 Review Test, Text Unit 12 Vocabulary	Unit 10 復習、日常表現聴解
		16	中間テスト	Unit8~10・VSF11~15復習
		17	BBC "Medicine" Listening Practice	語彙、表現確認、聴解
		18	Text Unit 11 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 88 ~ 92を事前に読む
		19	VSF Chapter 17, Text Unit 13 Vocabulary	語彙、会話表現確認
		20	Text Unit 11 (Grammar, Reading)	Text p. 93 ~ 95を事前に読む
		21	Text Unit 12 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 97 ~ 100を事前に読む
		22	VSF Chapter 18, Unit 11 Review Test, News in English	語彙、会話表現確認、Unit 11 復習
		23	Text Unit 12 (Grammar, Reading)	Text p. 101 ~ 103を事前に読む
		24	Unit 12 Review Test, DVD 鑑賞、English Songs	Unit 12 復習、会話表現確認、聴解
		25	Text Unit 13 (Vocabulary, Listening & Speaking, Language Focus)	Text p. 105 ~ 108を事前に読む
		26	VSF Chapter 19, News in English	会話表現確認、聴解
		27	VSF Chapter 20, TED Talk	語彙、読解
		28	Text Unit 13 (Grammar, Reading)	Text p. 109 ~ 111を事前に読む
		29	Unit 13 Review Test, DVD鑑賞、News in English	語彙、会話表現確認、読解
	30	English II 振り返り	英語 II 振り返り	
	31	期末テスト	期末テストに備える	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書は英語I Text, New Connection (SEIBIDO) を継続使用します。</li> <li>2. 参考文献・資料は、その都度授業で連絡します。</li> <li>3. 授業プリント、課題、正解・解説を綴るファイルを準備して下さい。</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席はしないこと(詳細はオリエンテーションでお知らせします)。</li> <li>② 学習の際は辞書を多用すること。</li> <li>③ 教科書や教材の音源を活用し積極的に音読に励むこと。</li> <li>④ 時間管理を行い各自の責任で課題、復習をする時間を確保すること(2単位は60時間必要)。</li> </ol> <p>*シラバスは学習状況によって変更の可能性あります。</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題、復習・確認テスト (30%)</li> <li>・ 中間、期末テスト (30%)</li> <li>・ Viva San Francisco (25~30%)</li> <li>・ 課題等提出、授業参加態度等 (10~15%)</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語I、IIで学んだ基礎をもとに、英語検定試験やTOEICなどの資格試験に積極的に挑戦し、自発的に学べる姿勢を身につけ、将来は英語でも自分のやりたい事ができる環境を築いて下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[社文・人福]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語コミュニケーションを用いる場面を想定したうえで、英語の理解と発信が可能な能力をみにつけるのがねらいである。	メッセージ オンラインでの学習となります。英語の基礎と特に海外旅行や留学等で使える英語を取り上げます。また、これらは日本（外国人との会話等）における英語コミュニケーションにも役立つ表現です。ぜひ皆さんの将来、未来への足掛かりとなるようコツコツと吸収してください。
	到達目標 日本人の私達が必要となる場面（英語を用いる日常生活、海外旅行、留学）において、聞いて理解する（文化的な意味も含む）、話す（相手に理解してもらうように）の英語コミュニケーションができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション（テキスト案内、注意事項等）	次回予習
	2	テキストUnit8-1, Unit8 e-learning開始	復習と次回予習
	3	テキストUnit8-2, Unit8 e-learning	復習と次回予習
	4	テキストUnit8-3, Unit8 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	5	テキストUnit9-1, Unit9 e-learning開始	復習と次回予習
	6	テキストUnit9-2, Unit9 e-learning	復習と次回予習
	7	テキストUnit9-3, Unit9 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	8	テキストUnit10-1, Unit10 e-learning開始	復習と次回予習
	9	テキストUnit10-2, Unit10 e-learning	復習と次回予習
	10	テキストUnit10-3, Unit10 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	11	Activity1(Unit8～10会話練習仕上げとその録音提出)	次回予習
	12	テキストUnit11-1, Unit11 e-learning開始	復習と次回予習
	13	テキストUnit11-2, Unit11 e-learning	復習と次回予習
	14	テキストUnit11-3, Unit11 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	15	テキストUnit12-1, Unit12 e-learning開始	復習と次回予習
	16	テキストUnit12-2, Unit12 e-learning	復習と次回予習
	17	テキストUnit12-3, Unit12 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	18	Activity2（英語 I 自己紹介文を修正の上、それを録音提出）	次回予習
	19	テキストUnit13-1, Unit13 e-learning開始	復習と次回予習
	20	テキストUnit13-2, Unit13 e-learning	復習と次回予習
	21	テキストUnit13-3, Unit13 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	22	テキストUnit14-1, Unit14 e-learning開始	復習と次回予習
	23	テキストUnit14-1, Unit14 e-learning	復習と次回予習
	24	テキストUnit14-1, Unit14 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	25	テキストUnit15-1, Unit15 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	26	テキストUnit15-1, Unit15 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	27	テキストUnit15-1, Unit15 e-learning仕上げ	復習と次回予習
	28	Activity3（Unit11～15会話スピーキング仕上げとその録音提出）	英語Ⅱ全体復習
29	グループ発表 1	次回にむけて予習	
30	グループ発表 2	ミニテスト学習	
31	英語Ⅱテキストミニテスト	ミニテスト結果の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは、英語 I と同じものを用います。テキストをまとめるB5サイズノートも必ず準備してください。他資料や学習教材等は、LMS上の講義回に随時のせていきます。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>オンライン授業での各回の指示や案内をきちんと把握した上で、学習をすすめてください。また、疑問点等がある場合には、遠慮なく講師のメールをし聞いてください。自ら地道に学ぶ皆さんを応援します。</p>
	<p>評価</p> <p>学習到達度(各授業回の各項目の到達度) 30%, e-learning32%, Activity22%, ミニテスト16%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>2年次に履修する英語Ⅲ・Ⅳで、英語Ⅰ・Ⅱで培った英語力を特にリーディング、ライティングの増強を目指してください。また、それらの力を発揮するための英語力検定等をもとに学習する英語Ⅴ。Ⅵ。Ⅶ、Ⅷでキャリアに生かせる英語力をつけられます。ぜひ挑戦してください</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮平 勝行[社文・人福]	1年	Eメール (ptt900@okiu.ac.jp) と電話 (098-895-8303) による相談を受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語Ⅰに引き続き、英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの目的です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な英会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返しながら、大学生としての教養を身につけ、英語力を強化します。	授業ではマルチメディア教材を利用し、常にネイティブの英語に触れる学習環境を用意しています。本講義は対面で行いますが、コロナウイルスの感染状況によっては学期の途中でオンラインの特別授業に移行することがあります。いずれの場合もこの授業ではMicrosoft Teamsを利用します。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 継続して英語を学習する習慣をつけ、楽しみながら英語が学習できるようになる。</li> <li>2. 英語の表現力と聴解力を伸ばし、簡単な英会話や英語のナレーションを理解できるようになる。</li> <li>3. グローバル化した現代の様々な話題に親しみ、自らの基本的な見解について簡単な英語で表現できるようになる。</li> </ol>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション 遠隔授業について、英語によるクラスメート紹介	シラバスを事前に読むこと
	2	[Pathways 1] Art and Music, Day 1	Unit 8の予習
	3	[Pathways 1] Art and Music, Day 2	Unit 8の予習
	4	[Pathways 1] Art and Music, Day 3	Unit 8の予習
	5	[Pathways 1] Art and Music, Day 4	Unit 8の予習
	6	[Pathways 1] Out Relationship with Nature, Day 1	Unit 9の予習
	7	[Pathways 1] Out Relationship with Nature, Day 2	Unit 9の予習
	8	[Pathways 1] Out Relationship with Nature, Day 3	Unit 9の予習
	9	[Pathways 1] Out Relationship with Nature, Day 4	Unit 9の予習
	10	[Pathways 1] How We Communicate, Day 1	Unit 10の予習
	11	[Pathways 1] How We Communicate, Day 2	Unit 10の予習
	12	[Pathways 1] How We Communicate, Day 3	Unit 10の予習
	13	[Pathways 1] How We Communicate, Day 4	Unit 10の予習
	14	中間テスト	既習Unitsの復習・試験準備
	15	[Pathways 2] Staying Healthy in the Modern World, Day 1	Book 2 Unit 1の予習
	16	[Pathways 2] Staying Healthy in the Modern World, Day 2	Book 2 Unit 1の予習
	17	[Pathways 2] Staying Healthy in the Modern World, Day 3	Book 2 Unit 1の予習
	18	[Pathways 2] Staying Healthy in the Modern World, Day 4	Book 2 Unit 1の予習
	19	[Pathways 2] Energy and Our Planet, Day 1	Book 2 Unit 2の予習
	20	[Pathways 2] Energy and Our Planet, Day 2	Book 2 Unit 2の予習
	21	[Pathways 2] Energy and Our Planet, Day 3	Book 2 Unit 2の予習
	22	[Pathways 2] Culture and Tradition, Day 1	Book 2 Unit 3の予習
	23	[Pathways 2] Culture and Tradition, Day 2	Book 2 Unit 3の予習
	24	[Pathways 2] Culture and Tradition, Day 3	Book 2 Unit 3の予習
	25	[Pathways 2] A Thirsty World, Day 1	Book 2 Unit 4の予習
	26	[Pathways 2] A Thirsty World, Day 2	Book 2 Unit 4の予習
	27	[Pathways 2] A Thirsty World, Day 3	Book 2 Unit 4の予習
	28	[Pathways 2] Inside the brain, Day 1	Book 2 Unit 5の予習
	29	[Pathways 2] Inside the brain, Day 2	Book 2 Unit 5の予習
30	[Pathways 2] Inside the brain, Day 3	Book 2 Unit 5の予習	
31	期末テスト	既習Unitsの復習・試験準備	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Chase, Becky T. (2017). Pathways 1: Listening, speaking, and critical thinking 1 Student book 1 (2nd ed.). Boston, MA: Heinle-Cengage ELT. (英語Iの教科書を継続使用)</li> <li>2. Kristin Johannsen. (2018). Pathways: Listening, speaking, and critical thinking 2: Student book 2 A (2nd ed.). Boston, MA: Heinle-Cengage ELT. ISBN: 978-1337562577</li> </ol>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業活動への貢献度は、授業中の発言を通してどれだけクラス全体の知識の向上に貢献したかで判断します。</li> <li>2. 予習を欠かさず行い、毎週出す予定の宿題をきちんと提出しましょう。</li> <li>3. 学期中に1/3 (10回) 以上授業を欠席した場合は、学則により自動的に「不可」の成績となります。</li> <li>4. やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試や代替テストなどは行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、当該試験・クイズは0点となります。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 語彙力とリスニング力養成のためのオンライン宿題を課します。(20%)</li> <li>2. 中間テスト (30%)</li> <li>3. 期末テスト (30%)</li> <li>4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します (20%)</li> </ol>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>2年次対象の「英語III」からは到達度別（習熟度別）クラス編成になります。できるだけ高い到達度を達成するよう、この授業で頑張りましょう。</p>



※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [社文・人福]	1年	okikoku.1.2020@gmail.com	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスの内容を理解する
	2	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	3	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	4	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	5	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	6	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	7	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	8	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	9	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	10	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	11	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	12	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	13	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	14	Extra Credit	力試し
	15	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
	16	中間テストの振り返り	修正点を考える
	17	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	18	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	19	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	20	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成・文法確認
	21	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	22	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	23	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	24	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	25	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	26	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	Reading/Writing
	27	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	28	Extra Creit	力試し
	29	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
30	期末テストの振り返り	修正点を考える	
31	まとめ	次年度へむけて	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは使用しません。授業に必要な教材は、担当教員が準備します。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじるなど授業とは無関係な事を行っている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。</p> <p>「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>①各Unitの課題・その他提出物 = 40%          ②中間テスト (Speaking) = 20%          ③中間テスト (Listening) = 10%          ④期末テスト (Speaking) = 20%          ⑤期末テスト (Listening) = 10%</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。          「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

※ポリシーとの関連性 今まで学んできた英語を「コミュニケーションの道具」としていかせるよう練習し、「自分でもできる!」という自信をつける。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-中根 佳 [経済]	1年	keistocklin@gmail.com	

学びの準備	ねらい ①英語を音で聞いて理解する力、②知っている単語、表現を使って自分の気持ちを簡単な英語で伝える力、を伸ばし、英語への苦手意識を克服する。	メッセージ 「外国に行ってみたいし、留学にも興味がある」が、「英語が話せないから無理」だと思ってしまう学生もいるようです。英語はコミュニケーションの道具です。コミュニケーションは、文法の正しい文章を書き、それをお互いに見せ合うものではありません。英語＝文法というアイデアを一度忘れて授業に参加して下さい。
	到達目標 ①短いスピーチを聞き、与えられている情報を理解する事が出来る。 ②自分の考えを、簡単な英語で説明する事が出来る。 ③ワードを使用し文書を作成する事が出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスの内容を理解する
	2	中間テストについて	スピーチのトピックを決定する
	3	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	4	スピーチに使用する文法確認	スピーチのアウトライン作成
	5	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	6	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成
	7	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	8	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	9	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	10	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	11	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	12	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	13	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	14	Extra Credit	力試し
	15	中間テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
	16	中間テストの振り返り	修正点を考える
	17	期末テストについて	スピーチのトピックを決定する
	18	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	19	スピーチに使用する文法確認	スピーチのアウトライン作成
	20	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	21	スピーチに使用する文法確認	スピーチの下書き作成
	22	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	23	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	24	Viva! San Francisco	リスニングに慣れる
	25	リーディング	スピーチの下書き作成・文法確認
	26	スピーチの最終確認 (ペア・グループ学習)	スピーチを完成させ練習
	27	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 1	テストに備える
	28	Extra Creit	力試し
	29	期末テスト (スピーチ&リスニング) : Day 2	テストに備える
30	期末テストの振り返り	修正点を考える	
31	まとめ	次年度へむけて	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキストは使用しません。授業に必要な教材は、沖国大ポータルにて配布します。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>「履修の心構え」：出欠確認は毎回行います。授業開始のチャイム後30分以内を遅刻とみなし、それ以降はどんな理由があるにせよ欠席としてカウントします。欠席した日の授業内容は必ず次の授業までに自身で確認し、「休んでいたから分からなかった」という事がないようにして下さい。授業中に携帯をいじるなど授業とは無関係な事を行っている等を見つけた場合、即欠席扱いとします。</p> <p>「学びを深めるために」：授業の最初に行うクイズの問題は、必ず前回の授業の内容から出題します。授業に集中ししっかり復習すれば、確実に点数が取れる内容になっています。授業は、ペア・グループワークを使って進めていきます。隣り同士助け合いながら、分からない所をそのままにしないよう学習して下さい。</p>
	<p>評価</p> <p>①各Unitの課題・その他提出物 = 40%</p> <p>②中間テスト (Speaking) = 20%</p> <p>③中間テスト (Listening) = 10%</p> <p>④期末テスト (Speaking) = 20%</p> <p>⑤期末テスト (Listening) = 10%</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「次のステージ」：映画を英語で見てください。何回か繰り返し見ると、知ってる単語が結構使われている事に気がつきますよ。</p> <p>「関連科目」：英語II、英語III～IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子[地域環境]	1年	メールアドレスを初日配布シラバスに記載	

学びの準備	ねらい グローバル教育の推進に必要な英語コミュニケーション能力を高める事を主目的とする。特に英語のオーラルコミュニケーションに必要な文法の基礎を固め、アウトプットトレーニングを中心に行う	メッセージ 特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、実用的な会話表現を学びながらコミュニケーションに必要な英文法の基本を学び、次年度必修のessay writingに求められる英語力を養成する。【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 コンテンツを英語で理解し発信する力を養成する事を主目的とする。英語のコンテンツを聴き、理解の確認を行い、グループメンバーと意見交換できるようになることを目指す。ディスカッションやプレゼンテーションを通して英語によるOUTPUT力を磨く。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	
	2	CALL 授業15	CALL課題
	3	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 復習1	(文法テキスト) エクササイズ
	4	CALL 授業16	CALL課題
	5	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 復習2	エクササイズ
	6	CALL 授業17	CALL課題
	7	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 復習3	エクササイズ
	8	CALL 授業18	CALL課題
	9	CALL 授業19	エクササイズ
	10	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 15	エクササイズ
	11	CALL 授業20	CALL課題
	12	Listening & Speaking Practice (L&SP) /マーフィーのケンブリッジ英文法 16	エクササイズ
	13	CALL 授業21	CALL課題
	14	CALL 授業22	CALL課題
	15	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 17	エクササイズ
	16	中間テスト(会話英文法テスト及び会話プレゼンテーション)	CALL課題
	17	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 17	エクササイズ
	18	CALL 授業23	CALL課題
	19	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 18	エクササイズ
	20	CALL 授業24	CALL課題
	21	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 18	エクササイズ
	22	CALL 授業25	CALL課題
	23	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 19	エクササイズ
	24	CALL 授業26	CALL課題
	25	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 19	エクササイズ
	26	CALL 授業27	CALL課題
	27	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 20	エクササイズ
	28	CALL 授業28	CALL課題
	29	Listening & Speaking Practice (L&SP)/マーフィーのケンブリッジ英文法 20	エクササイズ
30	期末テスト(会話英文法テスト及び会話プレゼンテーション)		
31	解説		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など  (前期から継続の場合は新規購入テキストは無し)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. マーフィーのケンブリッジ英文法 初級編 第3版 (ISBN 978-4-88996-765-4)  (購入必要)</li> <li>2. (CALL授業はパソコンを利用して外部からアクセス)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります (やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する)</li> <li>2 目標：英検準2級～英検2級を目指す (英語でのやり取りが基本)</li> <li>3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事 (ディスカッションなど参加型の授業などで休みが多い学生は評価が低くなります)</li> <li>4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション (1～2回) 予定</li> <li>5 頻繁な遅刻、授業態度 (私語やいねむり) の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>Call教室視聴覚教材の課題30%、中間会話英文法テスト及び会話プレゼンテーション30%、  期末会話英文法テスト及び会話プレゼンテーション30%、教科書のエクササイズからの課題、グループワークの  際の貢献や態度10%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>基本的な文法や語彙力、表現力を身に着け、来年必修となるessay writingに備える。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ジョーン ターバート [英米]	1年	Joan Tarbert Uezu ptt500@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>The purpose of this class is to help students develop conversational skills while working on improving their reading and writing skills. Students will learn new vocabulary and how to use the vocabulary they already know in daily conversation. They will also study grammar as it is used in daily conversation. 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】</p>	<p>As a native speaker of English, I will teach you English as it is used in real life. This class will give you many chances to practice speaking in English. In general, I will only speak in English in class. Japanese will sometimes be used on handouts and quizzes, but I will do what I can to help students who are not Japanese.</p>
	到達目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• You will be able to have basic English conversations more smoothly and naturally.</li> <li>• You will be able to write basic English sentences more accurately and clearly.</li> <li>• You will be able to use the vocabulary and grammar you learn in daily conversation.</li> <li>• You will be able to give short presentations in English.</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Summer vacation activity	Classroom English handout
	2	Unit 8 (Review)	Study for quiz
	3	Quiz / Unit 8 (Review)	p. 59
	4	Unit 9 (Time)	Time handout
	5	Unit 9 (Time)	Study for quiz
	6	Quiz / Unit 10 (Numbers)	p. 69
	7	Unit 10 (Numbers)	p. 70-73
	8	Unit 10 (Numbers)	Study for quiz
	9	Quiz / Numbers	Population questions
	10	Unit 11 (Comparative)	p. 78-81
	11	Unit 11 (Comparative)	p. 84
	12	Unit 11 (Comparative)	Comparative handout
	13	Unit 12 (Superlative)	Study for quiz
	14	Quiz / Unit 12 (Superlative)	Write questions
	15	How often	WH-questions handout
	16	How often	How often vocabulary handout
	17	WH-questions	Write sentences
	18	Unit 13 (Present perfect)	p. 92
	19	Unit 13 (Present perfect)	Study for quiz
	20	Quiz / Unit 13 (Present perfect)	Study for quiz
	21	Quiz / Unit 14 (Future)	Write sentences
	22	Unit 14 (Future)	Study for quiz
	23	Quiz / Christmas / New Year	New Year handout
	24	Winter vacation activity	New Year handout
	25	Unit 14 (Future)	Future handout
	26	Work on speech and interview	Work on speech/interview
	27	Review	Prepare for interview
	28	Interview test	Prepare for interview / Review
	29	Interview test	Prepare for interview / Review
30	Interview test	Review for exam & listening test	
31	Final exam / Listening test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>English II will cover the second half of the text, On Your Marks! (Intercom Press). If you didn't take English I, you need to buy an UNUSED textbook. In addition, the instructor will provide handouts. Please buy an A4 file for this class. Also, students should bring dictionaries (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• More than 30 minutes late to class= 1 absence / Being late twice= 1 absence</li> <li>• Less than 66% attendance= 不可</li> <li>• Homework must be done on time. Late homework=0</li> <li>• If you are absent when homework is due, please send it to me by email as soon as possible.</li> <li>• Students should use English in class as much as possible.</li> <li>• Cell phones cannot be used in class. They should be set to silent mode and put away during class.</li> <li>• Students should be quiet when the instructor is speaking.</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>Final exam/listening test/quizzes/homework (60%)  Interview test (20%)  Class participation (10%)  Presentation (10%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>Students should continue working to improve their communication skills in classes such as Oral Communication III.</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月1・水4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	萩埜 亮[日文]	1年	5号館519号室 (水曜3校時) r.hagino@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>アウトプット中心の学習を通じて基礎的な文法・語彙に基づく表現力・理解力のさらなる発展を目指します。受験勉強のような暗記・演習ではなく、「英語で意思疎通をする」ことからスタートして、そのために必要な知識や技能を各人が意識し、自発的な学習へとつなげることが狙いです。</p>	<p>英語は「完璧」にするものでも、「ペラペラ」になるべきものでもありません。自分にとって必要な英語力がどの程度であるかを意識し、そのために必要な勉強をすすんで行うようにして下さい。</p>

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多少複雑な内容であっても英語による質問を聞き取り、英語で答えることができる</li> <li>2. 社会についての身近な話題で良く使われる語彙や表現に習熟し、意見や考えを伝えられる</li> <li>3. クラスメイトと英語でディスカッションをしたり、グループワークを遂行することができる</li> <li>4. 英語学習への動機を明確にし、自ら進んで学習できる</li> </ol>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業の進め方、課題についての説明	配布資料の確認
	2	CALLを使用したSpeaking & Listening 1	授業内容の復習
	3	Unit7 : A	授業内容の復習
	4	CALLを使用したSpeaking & Listening 2	授業内容の復習
	5	Unit7 : B	授業内容の復習
	6	CALLを使用したSpeaking & Listening 3	授業内容の復習
	7	Unit8 : A	授業内容の復習
	8	CALLを使用したSpeaking & Listening 4	授業内容の復習
	9	Unit8 : B	授業内容の復習
	10	CALLを使用したSpeaking & Listening 5	授業内容の復習
	11	Unit9 : A	授業内容の復習
	12	CALLを使用したSpeaking & Listening 6	授業内容の復習
	13	Unit9 : B	授業内容の復習
	14	CALLを使用したSpeaking & Listening 7	授業内容の復習
	15	中間テスト	授業内容の復習
	16	CALLを使用したSpeaking & Listening 8	授業内容の復習
	17	Unit10 : A	授業内容の復習
	18	CALLを使用したSpeaking & Listening 9	授業内容の復習
	19	Unit10 : B	授業内容の復習
	20	CALLを使用したSpeaking & Listening 10	授業内容の復習
	21	Unit11 : A	授業内容の復習
	22	CALLを使用したSpeaking & Listening 11	授業内容の復習
	23	Unit11 : B	授業内容の復習
	24	CALLを使用したSpeaking & Listening 12	授業内容の復習
	25	Unit12 : A	授業内容の復習
	26	CALLを使用したSpeaking & Listening 13	授業内容の復習
	27	Unit12 : B	授業内容の復習
	28	CALLを使用したSpeaking & Listening 14	授業内容の復習
	29	Review Session	授業内容の復習
30	CALLを使用したSpeaking & Listening 15	授業内容の復習	
31	期末テスト	学んだ知識の整理	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Jack C. Richards, David Bohlke and Mari Vargo 『Speak Now: Level 2』 (Oxford University Press) (ISBN 9780194611930)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学が特段の事情を認めた場合を除き、授業回数の1/3を超える欠席をした場合は不可とする。</li> <li>・ 遅刻は2回で欠席1回とみなす。</li> <li>・ テスト範囲については詳しくは授業内で指示するが、教科書に出てきた単語や表現は全てテスト範囲に含まれると思って日々復習に励むこと。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>提出課題 (60%)、グループワーク (10%)、期末課題 (30%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「関連科目」英語III  「次のステージ」英語関連の上級クラスを受講するだけでなく、自分の専門や趣味などの分野でも積極的に英語を使うチャンスを探し、継続して勉強しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	山川 満夫 [法律・地行]	1年	myamakawa@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動に力を入れます。英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh.11～20を学習し、英会話力アップを目指します。	メッセージ 中学校教諭としての経験を活かし、英語Ⅰでの指導内容を踏まえ、基礎的事項から学習しますので、英語に苦手意識を持っている方にとっても、学び直す絶好のチャンスです。一緒に英語を勉強しましょう。
	到達目標 ・基礎的な英文を聞いて、内容を理解することができる。 ・身近な事柄について、英語を使って話すことができる。 ・英語に対して興味・関心を高め、さらに学び続ける意欲を持つようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	英語Ⅱオリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	英語Ⅰの総復習	前期の既習事項に目を通す
	3	Viva! San Francisco Ch.12	役立つ表現(12)の暗唱
	4	英語の基礎力養成 14	English Ace Unit 9の復習
	5	Viva! San Francisco Ch.13他	役立つ表現(13)の暗唱
	6	英語の基礎力養成 15	語彙力アップ(1)
	7	Viva! San Francisco Ch.14他	役立つ表現(14)の暗唱
	8	英語の基礎力養成 16	English Ace Unit 10の復習
	9	Viva! San Francisco Ch.15他	役立つ表現(15)の暗唱
	10	英語の基礎力養成 17	語彙力アップ(2)
	11	Viva! San Francisco Ch.16他	役立つ表現(16)の暗唱
	12	英語の基礎力養成 18	English Ace Unit 11の復習
	13	Viva! San Francisco Ch.12～16総まとめ	役立つ表現の復習
	14	英語の基礎力養成 19	語彙力アップ(3)
	15	Viva! San Francisco Ch.17他	役立つ表現(17)の暗唱
	16	英語の基礎力養成 14～19(中間点検)	English Ace Unit 9～11の総復習
	17	Viva! San Francisco Ch.18他	役立つ表現(18)の暗唱
	18	英語の基礎力養成 20	English Ace Unit 12の復習
	19	Viva! San Francisco Ch.19他	役立つ表現(19)の暗唱
	20	英語の基礎力養成 21	English Ace Unit139の復習
	21	Viva! San Francisco Ch.20他	役立つ表現(20)の暗唱
	22	英語の基礎力養成 22	English Ace Unit 14の復習
	23	映画を通して学ぶ表現(1)	役立つ表現(21)の暗唱
	24	英語の基礎力養成 23	English Ace Unit 15の復習
	25	映画を通して学ぶ表現(2)	役立つ表現(22)の暗唱
	26	英語の基礎力養成 24	English Ace Unit 15の復習
	27	第2回スピーチテストへの取組	インタビューテストへの準備
	28	英語の基礎力養成 25	同上
	29	第2回スピーチテスト	同上
30	英語の基礎力養成 20～25総復習	English Ace Unit 12～15の総復習	
31	英語の基礎力養成 20～25(期末点検)	同上	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし)</li> <li>2. 講師指定の教科書 (オリエンテーション時に連絡する。)</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義への出欠確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡すること。</li> <li>・ペア学習をよく取り入れるので、積極的な態度で臨むように心がけること。</li> <li>・講義時間以外にも、指定教材e-learningを積極的に活用すること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業参加度 (15%)、②インタビューテスト (15%)、③中間テスト (30%)、④期末テスト (40%)、の結果を総合的に判断して評価する</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この講義で学んだことを活かし、英語で「書くこと」や「読むこと」の力を高めるために、英語Ⅲ及び英語Ⅳを履修することが望ましい。</li> </ul>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	野口 正樹 [英米]	1年	noguchi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 本講義は、warm-up 終了後、課題である暗唱例文の dictation を行います。続いて、quick response に移ります。それから、語法・文法・異文化理解に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は、pair/group に分かれて自己表現活動に取り組みます。	メッセージ 自分の英語を駆使して、表現する楽しさを味わおう。 【プレイスメントテスト結果によるクラス分けを行う】
	到達目標 sentence-level の英文を即座に reproduce できる。 日常生活に関わる事柄を discourse-level で表現できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	syllabus の熟読
	2	Worksheet 1	quiz予習, 課題学習
	3	Worksheet 2	quiz予習, 課題学習
	4	Worksheet 3	quiz予習, 課題学習
	5	Worksheet 4	quiz予習, 課題学習
	6	Worksheet 5	quiz予習, 課題学習
	7	Worksheet 6	quiz予習, 課題学習
	8	Worksheet 7	quiz予習, 課題学習
	9	Worksheet 8	quiz予習, 課題学習
	10	Worksheet 9	quiz予習, 課題学習
	11	Worksheet 10	quiz予習, 課題学習
	12	Worksheet 11	quiz予習, 課題学習
	13	Worksheet 12	quiz予習, 課題学習
	14	Worksheet 13	quiz予習, 課題学習
	15	Review (worksheets 1-13)	worksheets 総復習
	16	Worksheet 14	quiz予習, 課題学習
	17	Worksheet 15	quiz予習, 課題学習
	18	Worksheet 16	quiz予習, 課題学習
	19	Worksheet 17	quiz予習, 課題学習
	20	Worksheet 18	quiz予習, 課題学習
	21	Worksheet 19	quiz予習, 課題学習
	22	Worksheet 20	quiz予習, 課題学習
	23	Worksheet 21	quiz予習, 課題学習
	24	Worksheet 22	quiz予習, 課題学習
	25	Worksheet 23	quiz予習, 課題学習
	26	Worksheet 24	quiz予習, 課題学習
	27	Worksheet 25	quiz予習, 課題学習
	28	Worksheet 26	quiz予習, 課題学習
	29	Worksheet 27	quiz予習, 課題学習
30	Review (worksheets 14-27)	worksheets 総復習	
31	Final	packet 提出	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 講義内で配布する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 複数の辞書を活用して答えを導きだそう。 English-English dictionary を役立てる。</p>
	<p>評価 ① 授業参加度 20% ② quick response / homework 30% ③ 期末試験 30% ④ 課題提出 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 Oral Communication II と関連づける。 English III につなげる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	クワイ K ジャコブソン[産業情報]	1年	Office: 5-421 mail: jacobson@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい This course is designed to help students improve their English speaking and listening skills and their overall ability to communicate.	メッセージ Students must bring their textbook and a notebook to every class.
	到達目標 Develop autonomous learners and improve oral communication skills.	

学びの準備	ねらい This course is designed to help students improve their English speaking and listening skills and their overall ability to communicate.	メッセージ Students must bring their textbook and a notebook to every class.
	到達目標 Develop autonomous learners and improve oral communication skills.	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Registration and course introduction	Syllabus review
	2	Diagnostic exam (listening)	Listening & vocabulary practice
	3	Self Introductions	Listening & vocabulary practice
	4	Talking about Location	Listening & vocabulary practice
	5	Asking Comparison Questions	Listening & vocabulary practice
	6	Asking for and Giving Directions	Listening & vocabulary practice
	7	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	8	Asking for and Giving Information	Listening & vocabulary practice
	9	Asking for Repetition	Listening & vocabulary practice
	10	Talking about Entertainment	Listening & vocabulary practice
	11	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	12	Describing Routines	Listening & vocabulary practice
	13	Using Numbers	Listening & vocabulary practice
	14	Giving Instructions	Listening & vocabulary practice
	15	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	16	Review for Units 7-9	Listening & vocabulary practice
	17	Describing People	Listening & vocabulary practice
	18	Emphasizing	Listening & vocabulary practice
	19	Describing personality	Listening & vocabulary practice
	20	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	21	Past Tense Questions and Answers	Listening & vocabulary practice
	22	Reacting to Events in a Story	Listening & vocabulary practice
	23	Telling Stories	Listening & vocabulary practice
	24	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	25	Asking for and Giving Advice	Listening & vocabulary practice
	26	Expressing Opinions	Listening & vocabulary practice
	27	Discussing Issues	Listening & vocabulary practice
	28	Unit Review	Listening & vocabulary practice
	29	Review of Units 10-12 part 1	Listening & vocabulary practice
	30	Review of Units 10-12 part 2	Interview preparation
31	Unit Review	Interview preparation	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Textbook: Take it Easy, Second Edition, National Geographic Learning Students must bring a notebook to each class.</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>Regular attendance and a willingness to communicate in English are crucial for this class.</p>
	<p>評価</p> <p>Students will be evaluated based a variety of listening exams (75%) and presentations (25%). Students should note that there are no makeup exams for listening exams that they might miss. Missing one listening exam, however, will not have any impact on one's final grade. Points will be deducted for attendance problems. Failure to attend 2/3 of classes will result in failure. Being late three times counts as one missed class.</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語 III</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島村 麗[産業情報]	1年	*E-mail : ptt929@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 文法にとらわれず、比較的簡単な英語を使って諸外国の人々とコミュニケーションをとれるようになることを目標とする。	メッセージ 英語Ⅰではアメリカの大学生活をとおして、日常英会話を学習したが、英語Ⅱでは映像を使い、世界各国との交流の様子を学ぶ。また英語のリスニングに重点をおいて学習し、聞く力をと話す力を養う。また、自国の文化を外国に紹介できるような知識を養う。
	到達目標 日本の文化に関する映像を見ながら英語を聞く力を養い、英語で日本文化その他を説明できるような基礎的な会話力をつけることを目標とする。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation (授業形態・テキスト紹介) / 講師自己紹介	特になし
	2	自己紹介文作成 (英語) クラス内で適時発表。	Review by Forms
	3	Unit 1 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	4	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	5	Unit 2 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	6	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	7	Unit 3 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	8	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	9	Unit 4 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	10	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	11	Unit 5 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	12	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	13	Unit 1~Unit 5 までの復習	Review by Forms
	14	Unit 6 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	15	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	16	Unit 7 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	17	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	18	Unit 8 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	19	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	20	Unit 9 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	21	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	22	Unit 10 : 英会話 / 映像学習	Review by Forms
	23	リスニング問題 / ペアワーク	Review by Forms
	24	Unit 9~Unit 10 までの復習	Review by Forms
	25	Unit全 問題の単語の復習	Review by Forms
	26	Unit 全問題の熟語の復習	Review by Forms
	27	映像学習の復習	Review by Forms
	28	映像学習の復習	Review by Forms
	29	Presentation ( 短い英会話のペアワーク・グループワーク)	Review by Forms
30	Presentation ( 短い英会話のペアワーク・グループワーク)	Review by Forms	
31	Final Exam の説明・練習	Final Exam by Forms	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：映像：NHK 「基礎英語を学んでみたら世界とつながった」及び講師作成のテキストを使用し、授業でプリントを配布する。購入の必要はない。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>講義への参加：出席は重要である。沖国ポータル上の授業連絡をとおして、毎回の講義のreview問題をやり、ポータル上で提出する。それらの結果が成績に加算されるので、毎回真剣に取り組んで欲しい。</p>
	<p>評価</p> <p>評価は：(1) 毎回のforms上での点数：30点  (2) 授業への積極的な取り組み（発表等）10点  (3) ペアワーク：10点  (4) Final Exam：50点      *以上(1)～(4)の総合100点満点として評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この講義は世界の文化を映像、その他を利用してlistening の力を強化する。次のステップとしては、英会話及びreading, writing にも積極的に取り組み、英語の4技能を習得する努力をして欲しい。  また、英検やTOEICなどの検定試験等にも積極的に取り組んで、将来の職業などにつなげてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-赤嶺 ゆかり[全学科(2年以上)]	2年	ptt807@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい (1) 感情や事実、考えや意図等を伝える活動（ペアワークやグループワーク）を通して、スピーキングおよびリスニングスキルを高める。 (2) 他者を受容し多様な価値観を受容するコミュニケーション能力を高める。	メッセージ 共に学びあう学習環境を作り上げるコミュニティの一員であるという自覚をもち、主体性を持って（対面でも遠隔でも）授業に参加しましょう。教科書を購入し、Google Classroom で 課題と事前学習に取り組める方は大歓迎です。（スマホ、ipad、ノートパソコンなど持ち込み可能。）
	到達目標 (1) 日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。 (2) 日常生活での情報・説明を聞きとったり、まとまりのある内容を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation ・英語力判断テスト	シラバスの確認
	2	Unit 8 All Dressed Up	音読
	3	Unit 8 All Dressed Up	予習 音読 復習 課題
	4	Unit8 All Dressed Up	予習 音読 復習 課題
	5	Unit9 Family Portrait	予習 音読 復習 課題
	6	Unit9 Family Portrait	予習 音読 復習 課題
	7	Unit9 Family Portrait	予習 音読 復習課題
	8	Unit9 Family Portrait	予習 音読 復習課題
	9	Unit10 Say That Again	予習 音読 復習課題
	10	Unit10 Say That Again	予習 音読 復習課題
	11	Unit10 Say That Again	予習 音読 復習課題
	12	Unit11 Like or Dislike	予習 音読 復習課題
	13	Unit11 Like or Dislike	予習 音読 復習課題
	14	Unit11 Like or Dislike	予習 音読 復習課題
	15	Speakingテスト	課題 音読 英作文
	16	Speaking テスト	課題 音読 英作文
	17	Unit12 Tomorrow	予習 音読 復習課題
	18	Unit12 Tomorrow	予習 音読 復習課題
	19	Unit12 Tomorrow	予習 音読 復習課題
	20	Unit13 Yesterday	予習 音読 復習課題
	21	Unit13 Yesterday	予習 音読 復習課題
	22	Unit13 Yesterday	予習 音読 復習課題
	23	Unit13 Yesterday	予習 音読 復習課題
	24	Unit14 Eat Out	予習 音読 復習課題
	25	Unit14 Eat Out	予習 音読 復習課題
	26	Unit14 Eat Out	予習 音読 復習課題
	27	Unit15 Say That Again	予習 音読 復習課題
	28	Unit15 Say That Again	予習 音読 復習課題
	29	Unit15 Say That Again	予習 音読 復習課題
30	テスト対策	復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>1. テキスト書名:Fifty-Fifty (3E) Level 1 Student Book出版社: Pearson Japan 必ず購入してください。朝野書房にて購入できます。(コピーなどは配布しません)</p> <p>2. 使用するアプリ: Google Classroom ダウンロードしてください。TASK/課題の提出先となります。学習記録となります。出席者は授業時間以内、欠席者は期限内にTASK 提出してください。(スマホ、ipad、ノートパソコンなど持ち込み可能。)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>1. テキストを購入すること。(後期のみ受講生はテキストについて別途連絡します)</p> <p>2. Google Classroom のアプリをダウンロードし、使いこなせるようになること。</p> <p>3. 毎回のTASK(課題)を提出すること。</p> <p>4. 積極的かつ協力的にペアワークやグループワークでスピーキングを行うこと。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>・ Google Classroom 内に配布されたTask (課題) (Listening Task, Speaking Task, ペア・グループワークへの参加と貢献なども含む) 70%</p> <p>・ 期末テスト 30 %</p> <p>**欠席数が全体の1/3 以上の場合は不可となります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) (できれば) 英語Ⅲ・Ⅳ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-富里 明美[全学科(2年以上)]	2年	ptt612@okiu.ac.jpへメールを送信するか、授業終了後に教室で直接問い合わせること。	

学びの準備	ねらい コミュニケーション能力向上のため、CALL教室においては英会話学習用ソフトを使用してネイティブスピーカーの発音を学び、応用できるようにする。講義中はテキストを使用し、リスニング・スピーキングの技能を向上させる。	メッセージ 語学の学習においては、発言することが重要であるので、評価方法の中に「講義への貢献度」を設けた。講義中の学生の積極的な発言や参加を重視する。講義へは毎回辞書を持参すること。提出物は、指定がない限り、B5サイズのルーズリーフを使用すること。
	到達目標 基本的な英会話の能力を養う。 英語で簡単な討論ができる。 平易な英語で書かれた物語を理解できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation (Text Unit 8~14)	Text: Unit 8 予習
	2	Call class orientation (Viva! San Francisco, Chapter 11-20)	Subtext: Chapter 11 予習
	3	Unit 8 & Self-introduction (by 3-5 students)	Text: Unit 8 予習
	4	Chapter 11, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 11 課題
	5	Unit 8 & Self-introduction	Text: Unit 8 復習
	6	Chapter 12, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 12 予習
	7	Unit 9 & Self-introduction	Text: Unit 9 予習
	8	Chapter 13, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 13 予習
	9	Unit 9 & Self-introduction	Text: Unit 9 復習
	10	Chapter 14, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 14 予習
	11	Unit 10	Text: Unit 10 予習
	12	Chapter 15, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 15 予習
	13	Unit 10	Text: Unit 10 復習
	14	Chapter 16, Viva! San Francisco	Review Text: Unit 8-10
	15	Review Unit 8~10 for Mid-term exam.	Review Mid-term exam.
	16	Mid-term Examination	Text: Unit 11 予習
	17	Unit 11	Text: Unit 11 復習
	18	Chapter 17, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 17 予習
	19	Unit 11 & Presentation	Presentation 準備
	20	Chapter 17, Viva! San Francisco	Presentation 練習
	21	Unit 12 & Presentation	Text: Unit 12 予習
	22	Chapter 18, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 18 予習
	23	Unit 12 & Presentation	Text: Unit 12 復習
	24	Chapter 19, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 19 予習
	25	Unit 13 & Presentation	Text: Unit 13 予習
	26	Chapter 20, Viva! San Francisco	Subtext: Chapter 20 予習
	27	Unit 13 & Presentation	Text: Unit 13 復習
	28	Unit 14 & Presentation	Text: Unit 14 予習
	29	Unit 14	Text: Unit 14 復習
30	Review Unit 11~14 & Final Examination	Text: Unit 11-14 復習	
31	Review Final Examination & Make-up Exam	Review Unit 11-14	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：</p>							
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 15分までの遅刻は、3回で1回の欠席とみなす。15分以上30分までの遅刻は、2回で1回の欠席とみなす。30分以上の遅刻は、欠席とみなす。</li> <li>2. 講義中に課せられた課題および宿題の提出の期限は厳守すること。</li> </ol>							
	<p>評価</p> <table border="0"> <tr> <td>中間テスト：20%</td> <td>期末テスト：20%</td> </tr> <tr> <td>クイズ：20%</td> <td>提出物：10%</td> </tr> <tr> <td>課題(presentationなど)：10%</td> <td>授業参加率：10%</td> </tr> <tr> <td>講義への貢献度：10%</td> <td></td> </tr> </table>	中間テスト：20%	期末テスト：20%	クイズ：20%	提出物：10%	課題(presentationなど)：10%	授業参加率：10%	講義への貢献度：10%
中間テスト：20%	期末テスト：20%							
クイズ：20%	提出物：10%							
課題(presentationなど)：10%	授業参加率：10%							
講義への貢献度：10%								
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          英語 III &amp; 英語 IV 「上位科目」</p>							

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅱ	後期	月2・木2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	萩埜 亮[法律・地行]	1年	5号館519号室(水曜3校時) r.hagino@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい アウトプット中心の学習を通じて基礎的な文法・語彙に基づく表現力・理解力のさらなる発展を目指します。受験勉強のような暗記・演習ではなく、「英語で意思疎通をする」ことからスタートして、そのために必要な知識や技能を各人が意識し、自発的な学習へとつなげることが狙いです。	メッセージ 英語は「完璧」にするものでも、「ペラペラ」になるべきものでもありません。自分にとって必要な英語力がどの程度であるかを意識し、そのために必要な勉強をすすんで行うようにして下さい。
	到達目標 1. 多少複雑な内容であっても英語による質問を聞き取り、英語で答えることができる 2. 社会についての身近な話題で良く使われる語彙や表現に習熟し、意見や考えを伝えられる 3. クラスメイトと英語でディスカッションをしたり、グループワークを遂行することができる 4. 英語学習への動機を明確にし、自ら進んで学習できる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業の進め方、課題についての説明	配布資料の確認
	2	CALLを使用したSpeaking & Listening 1	授業内容の復習
	3	Unit7 : A	授業内容の復習
	4	CALLを使用したSpeaking & Listening 2	授業内容の復習
	5	Unit7 : B	授業内容の復習
	6	CALLを使用したSpeaking & Listening 3	授業内容の復習
	7	Unit8 : A	授業内容の復習
	8	CALLを使用したSpeaking & Listening 4	授業内容の復習
	9	Unit8 : B	授業内容の復習
	10	CALLを使用したSpeaking & Listening 5	授業内容の復習
	11	Unit9 : A	授業内容の復習
	12	CALLを使用したSpeaking & Listening 6	授業内容の復習
	13	Unit9 : B	授業内容の復習
	14	CALLを使用したSpeaking & Listening 7	授業内容の復習
	15	中間テスト	授業内容の復習
	16	CALLを使用したSpeaking & Listening 8	授業内容の復習
	17	Unit10 : A	授業内容の復習
	18	CALLを使用したSpeaking & Listening 9	授業内容の復習
	19	Unit10 : B	授業内容の復習
	20	CALLを使用したSpeaking & Listening 10	授業内容の復習
	21	Unit11 : A	授業内容の復習
	22	CALLを使用したSpeaking & Listening 11	授業内容の復習
	23	Unit11 : B	授業内容の復習
	24	CALLを使用したSpeaking & Listening 12	授業内容の復習
	25	Unit12 : A	授業内容の復習
	26	CALLを使用したSpeaking & Listening 13	授業内容の復習
	27	Unit12 : B	授業内容の復習
	28	CALLを使用したSpeaking & Listening 14	授業内容の復習
	29	Review Session	授業内容の復習
30	CALLを使用したSpeaking & Listening 15	授業内容の復習	
31	期末テスト	学んだ知識の整理	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Jack C. Richards, David Bohlke and Mari Vargo 『Speak Now: Level 2』 (Oxford University Press) (ISBN 9780194611930)</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学が特段の事情を認めた場合を除き、授業回数の1/3を超える欠席をした場合は不可とする。</li> <li>・ 遅刻は2回で欠席1回とみなす。</li> <li>・ テスト範囲については詳しくは授業内で指示するが、教科書に出てきた単語や表現は全てテスト範囲に含まれると思って日々復習に励むこと。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>提出課題 (60%)、グループワーク (10%)、期末課題 (30%)</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「関連科目」英語III  「次のステージ」英語関連の上級クラスを受講するだけでなく、自分の専門や趣味などの分野でも積極的に英語を使うチャンスを探し、継続して勉強しましょう。</p>





学	<p>テキスト・参考文献・資料など Strategic Reading for Global Information (2022年) 湯舟英一他 成美堂 税込 2200円</p> <p>参考文献：プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。</li> <li>2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。</li> <li>3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。</li> <li>4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。</li> <li>5. 遅刻、私語、居眠り、授業に関係ない携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</li> </ol>
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>平常点（授業参加度）30%、宿題・課題（レポートなど）・小テスト 30%、中間試験20%、期末試験20%の結果により総合的に評価する。総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で総合的、基本的な英語力（話す、読む、書く、聞く）の習得を目指し、さらなる英語の運用能力（特にリーディングとライティング）の向上を目指しましょう。</p> <p>関連科目としては、「英語IV」</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子[法律・地行]	2年	学内メールや授業の前後に教室にて受け付ける。連絡事項をまめに確認してください。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>これまでに学んだ英語の知識を整理しつつ、あらゆるタイプの英文に触れる。日常生活に即した表現、学生の専攻に添った読物、今日的な話題を取り入れた新聞や雑誌の記事、フィクション・ノンフィクションなどを幅広く読み進める。</p>	<p>英文読解と英作文が中心となるが、それに必要な英文法の確認も行う。教材の内容に関してそれぞれが考え、自分の意見を持つことを期待する。英語が得意な学生も苦手とする学生も、楽しみながら、英語を今後の生活に活かすことを目指して欲しい。大学の方針に基づき、基本的に対面授業を行う。ただし、感染症拡大が再び起こることがあれば、その限りではない。</p>
到達目標	生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力・辞書を活用する力を身につける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	英語で自己紹介文を書く
	2	英語表現 (文法・作文) 1	文法・関連する英作文
	3	英文講読 1	内容に関連する語彙・表現
	4	英語表現 (文法・作文) 2	文法・関連する英作文
	5	英文講読 2	内容に関連する語彙・表現
	6	英語表現 (文法・作文) 3	文法・関連する英作文
	7	英文講読 3	内容に関連する語彙・表現
	8	英語表現 (文法・作文) 4	文法・関連する英作文
	9	英文講読 4	内容に関連する語彙・表現
	10	英語表現 (文法・作文) 5	文法・関連する英作文
	11	英文講読 5	内容に関連する語彙・表現
	12	英語表現 (文法・作文) 6	文法・関連する英作文
	13	英文講読 6	内容に関連する語彙・表現
	14	英語表現 (文法・作文) 7	文法・関連する英作文
	15	中間試験	前期前半のまとめ
	16	前期前半学習のまとめ	前期前半のまとめ
	17	英語表現 (文法・作文) 8	文法・感想を英語で書く
	18	英文講読 7	内容に関連する語彙・表現
	19	英語表現 (文法・作文) 9	文法・感想を英語で書く
	20	英文講読 8	内容に関連する語彙・表現
	21	英語表現 (文法・作文) 10	文法・感想を英語で書く
	22	英文講読 9	内容に関連する語彙・表現
	23	英語表現 (文法・作文) 11	文法・感想を英語で書く
	24	英文講読 10	内容に関連する語彙・表現
	25	英語表現 (文法・作文) 12	文法・感想を英語で書く
	26	英文講読 11	内容に関連する語彙・表現
	27	英語表現 (文法・作文) 13	文法・感想を英語で書く
	28	英文講読 12	内容に関連する語彙・表現
	29	英語表現 (文法・作文) 14	文法・感想を英語で書く
30	期末試験	前期後半のまとめ	
31	前期のまとめ	前期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：配布教材          参考文献は随時紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          ①コツコツと小さなトライを重ねて、英語の力をつけていこう。          ②辞書を活用する習慣を身につける。          ③毎回のクラスのはじめにミニ・クイズを行うので、遅刻しないよう留意すること。          ④音読・黙読を何度も繰り返そう。          ⑤3分の1（10回）以上欠席すると単位の取得はできない。</p>
	<p>評価          毎回のミニ・クイズや質問・発表などのクラスへの貢献度：50%          中間・期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          後期に提供される英語IV。          ラジオやネットなどで英語のニュースを理解すること。</p>

※ポリシーとの関連性 社会人として自立するために役立つ、英語を「読む」、英語で「書く」ための基本的な知識、技能を身に付けます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上原 淳子[法律・地行]	2年	問い合わせ方法については授業内で連絡します。	

学びの準備	ねらい 本講義は主にリーディングとライティングの基礎力を身に付けることをねらいとします。ペアワークやグループワークの中で、他者の考えを聞いたり、自分の考えを述べたりすることを通してコミュニケーション能力を高めながら、リーディング力とライティング力をつけていきます。	メッセージ Learning English is so much fun when we do it together.
	到達目標 1. 英文を理解するために必要な語彙力を身に付けることができる。 2. 様々な分野の英文に触れ、主題や文章構成などについて理解することができる。 3. 読んだ内容を自分の言葉で要約できる。 4. 各chapterに関連する質問に対して、自分の考えを英語で述べたり、書いたりすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスによく目を通す
	2	Chapter1: 1-4	未知の単語を調べておく
	3	Chapter1: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	4	Chapter2: 1-4	未知の単語を調べておく
	5	Chapter2: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	6	Chapter3: 1-4	未知の単語を調べておく
	7	Chapter3: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	8	Chapter4: 1-4	未知の単語を調べておく
	9	Chapter4: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	10	Chapter5: 1-4	未知の単語を調べておく
	11	Chapter5: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	12	Chapter6: 1-4	未知の単語を調べておく
	13	Chapter6: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	14	Chapter7: 1-4	未知の単語を調べておく
	15	Chapter7: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	16	中間テスト	これまでの復習
	17	Chapter8: 1-4	未知の単語を調べておく
	18	Chapter8: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	19	Chapter9: 1-4	未知の単語を調べておく
	20	Chapter9: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	21	Chapter10: 1-4	未知の単語を調べておく
	22	Chapter10: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	23	Chapter11: 1-4	未知の単語を調べておく
	24	Chapter11: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	25	Chapter12: 1-4	未知の単語を調べておく
	26	Chapter12: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	27	Chapter13: 1-4	未知の単語を調べておく
	28	Chapter13: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
	29	Chapter14: 1-4	未知の単語を調べておく
	30	Chapter14: 5-7	質問群から質問を一つ選び、答える
31	期末テスト	これまでの復習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書あり、授業で連絡します。</li> <li>2. 参考文献・資料はその都度授業で連絡します。</li> <li>3. 教材プリント等を綴るファイル（A4）を準備してください。</li> </ol>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遅刻、欠席をしないこと（詳細はオリエンテーションで連絡します。）</li> <li>2. 授業には必ず辞書を準備すること</li> <li>3. 課題等は期限を守って提出すること</li> <li>4. 各Unit終了の次の授業で既習の豆単語テストを行いますので、復習してください。</li> </ol> <p>※シラバスは学習状況により変更の可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <p>①中間・期末テスト 50% ②豆単語テスト 20% ③課題及び講義参加率 30%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語Ⅲでは、リーディングを主に学習し、英語Ⅳではライティングを中心とした学習になります。インプットとアウトプット、両方の学びで英語力を強化しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-親泊 かおり [法律・地行]	2年	講義終了時に教室で受け付け；musakaori8@gmail.com	

学びの準備	ねらい 本講義においては、法律・地域行政を学ぶ学生を対象に、世界各地で起こっている様々な出来事を通じてその問題を考えながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。特に社会問題、歴史、カルチャー等の様々な現代の話題に触れながらリーディングスキルを磨きます。さらに、本文中の重要構文を覚えながら、自分の伝えたいことを英語で表現できるようライティングスキルを学びます。	メッセージ この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。
	到達目標 ①英語長文を正しく読み取ることができる。②自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスによく目を通す
	2	ガイダンス：文法基礎 サイトトランスレーション・スラッシュリーディングについて	英語の文法基礎について復習
	3	UNIT1 Japan: Unusual Rental Universe—You can Even Rent a Famil	UNIT 予習および復習
	4	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	5	UNIT2 Is Coffee the Secret to a Longer Life	UNIT 予習および復習
	6	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	7	UNIT3 Lost in Translation: How China is Cracking Down on Poor English Translations	UNIT 予習および復習
	8	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	9	UNIT4 Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Ye	UNIT 予習および復習
	10	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	11	UNIT5 Your Smartphone is Making You a Workplace Slacke	UNIT 予習および復習
	12	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	13	UNIT6 Do Happy People Live Long?	UNIT 予習および復習
	14	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	15	UNIT7 Selling Charit	UNIT 予習および復習
	16	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	17	UNIT8 The Power of Music: Using Music to Help Unlock Alzheimer’s Patients’ Memories	UNIT 予習および復習
	18	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	19	UNIT9 A Stitch in Time: Teen Turns Thrift Store Finds into Trendy Clothing for Homeless	UNIT 予習および復習
	20	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	21	UNIT10 How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	UNIT 予習および復習
	22	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	23	UNIT11 True Meaning of Christmas Found in Family’s Magical Reunion	UNIT 予習および復習
	24	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	25	UNIT12 The Joy of Cleaning: The Life-Changing Magic of Tidying Up	UNIT 予習および復習
	26	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	27	UNIT13 High Schooler’s “Sit With Us” App Tackles Lunchtime Bullying	UNIT 予習および復習
	28	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	29	UNIT14 Japan Battles Population Decline with Robot	UNIT 予習および復習
	30	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
31	期末試験	テストで解けなかった部分の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初回講義にて提示</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          ①ユニット毎の小テストをする。          ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。          ③10回以上の欠席は単位を与えない。          ④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。</p>
	<p>評価          ①小テスト 40% ②期末テスト 40% ③宿題および講義参加率 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、さらに様々な分野に関心を持ち世界に目を向け、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科(全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp 件名らんには、「講義名+氏名」を明記！	

学びの準備	ねらい 4技能のバランスのとれた伸長を最終目標に据えながらも、本講座では基礎的な「読み」「書き」の演習活動に焦点をあてる。	メッセージ ★正当な理由なく初回講義を欠席しないこと。★遠隔講義に移行せざるを得ない場合に備え、日ごろから本学ポータル、Gmail、 Moodleへアクセスし、オンラインで情報を確認する習慣を身に付けておくこと。★外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大事です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。
	到達目標 (1)まとまりのある英文を効率的かつ正確に読めるようになる。そのためにskimming, scanningなどの有効なreading skillsを身につけることができる。(2)期間中、Vocab-Notebookとよぶ「単語ノート」を自主作成し、継続的に語彙力増強に努めることができる。(3)読んだ内容について読後感を短文の英文でつづり、それをクラスで共有することができる。(4)毎週実施する語彙・表現クイズでは、8割以上の正答率をめざし努力する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Course Introduction, Reading Skill Exercise 1	Read and understand the syllabus
	2	Chapter 1: Heads Up-Whose Face Is That?, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	3	Zoom In & Wrap-up, Quiz 01	Review for Quiz & Vocab-notebook
	4	Chapter 2: Burping Cows-Methane Production, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	5	Zoom In & Wrap-up, Quiz 02	Review for Quiz & Vocab-notebook
	6	Chapter 3: Going Vegetarian-Flexitarian Diet, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	7	Zoom In & Wrap-up, Quiz 03	Review for Quiz & Vocab-notebook
	8	Chapter 4: Coffee Shop Secrets-Turning Visitors into Regulars, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	9	Zoom In & Wrap-up, Quiz 04	Review for Quiz & Vocab-notebook
	10	Chapter 5: Unusual Jobs-Weird and Wonderful Careers, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	11	Zoom In & Wrap-up, Quiz 05	Review for Quiz & Vocab-notebook
	12	Chapter 6: Underwater Monsters-Top Level Predators, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	13	Zoom In & Wrap-up, Quiz 06	Review for Quiz & Vocab-notebook
	14	Chapter 7: Flash Fiction-As She Fell, Her Mind Wandered, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	15	Zoom In & Wrap-up, Quiz 07	Review for Quiz & Vocab-notebook
	16	Review the Chapters 1, Midterm Examination	Review 1st half of the course
	17	Chapter 8: What 3 Words-Three Simple Words Could Save Your Life, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	18	Zoom In & Wrap-up, Quiz 08	Review for Quiz & Vocab-notebook
	19	Chapter 9: Sounds of the Sea-Hurry Up and Eat, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	20	Zoom In & Wrap-up, Quiz 09	Review for Quiz & Vocab-notebook
	21	Chapter 10: Rowing across the Atlantic-Seasick and Exhausted, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	22	Zoom In & Wrap-up, Quiz 10	Review for Quiz & Vocab-notebook
	23	Chapter 11: Rollercops-Chasing Pickpockets, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	24	Zoom In & Wrap-up, Quiz 11	Review for Quiz & Vocab-notebook
	25	Chapter 12: Plant Milk-Environmental Impact, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	26	Zoom In & Wrap-up, Quiz 12	Review for Quiz & Vocab-notebook
	27	Chapter 13: Alien Life-Looking for Life, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	28	Zoom In & Wrap-up, Quiz 13	Review for Quiz & Vocab-notebook
	29	Chapter 14: Treasure Hunt-Follow the Clues, Comprehension Exercises	Textbook tasks & Vocab-notebook
	30	Zoom In & Wrap-up, Quiz 14	Review for Quiz & Vocab-notebook
31	Review the Chapters 2, Final Examination	Review last half of the course	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>Reading Palette-Green (英文読解への多面的アプローチ&lt;初中級&gt;リーディングスキル (成美堂), 2022 ※朝野書房にて販売。全受講生必携! 履修確定後、教科書無しでの講義参加は認めません。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <p>①「単語ノート」用に学習ノートを1冊準備すること。デザイン・サイズは問わないが、ルーズリーフおよび他教科との併用ノートは不可。②授業日数の3分の1を超えて欠席すると、学則により単位は認められない。なお遅刻3回で、欠席1回とみなす。③やむを得ず講義を休む(休んだ)場合は、すみやかに所定の様式で欠席届を提出すること。④積極的な辞書利用を奨励する。しかし、辞書機能のついた通信端末機器(スマホ等)については誤認を避けるため講義中の使用を控える。⑤定期試験およびクイズ等は、原則として追・再試験は行わない。やむを得ない事情で受験できない場合は、すみやかに講師に申し出て対応を協議すること。⑥以下の行為は講義進行の妨げになるので厳に慎む: 遅刻、私語、居眠り、ガム噛および飲食、携帯通信機器の不正使用、理由不明の恒常的な離席および退席。</p>
	<p>評価</p> <p>①Final Examination -40%, ②Quizzes -30%, ③Vocab-Notebook -20%, ④In-Class &amp; Moodle, etc. -10%</p> <p>※重要! 単位取得には、①~④のすべての課題に取り組んでいることが必須。 ※遠隔講義に移行せざるを得ない状況になったときは、評価基準に変更を加えることがある。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>様々なITメディアが発達した今日、国際共通語としての英語でリサーチができる能力を身につける事で、学習者は世界中のコンテンツにアクセスし、世界に向けて発信ができるようになる。この授業では、英語で異文化交流ができる人材、国際社会の一員として社会貢献できる人材の育成を目標とする。英語の読み書きのスキルを実践で使えるレベルまで高めるためにアウトプット中心の訓練を行う。</p>	<p>基本的テキストとして用いる(「星の王子さま」英語版)の購入が必要。各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speaking に自信のある方、又は英語による発信力を高めたい方向けの講座です。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や文章作成力を養成する事を主目的とする。物語をチャプターごとに購読、分析、そしてディスカッションすることで自然に英語の文章に馴染む。又英文エッセイの書き方のノウハウを学び毎回課題をこなす作業を通して、英語の文章の基本構造、英語表現に自信をつける。中間及び期末プレゼンテーションを通して、チャプター概要を英文でまとめる力、fact (事実) やopinion (意見)、inference(推論)、main ideas (主題) について分析、調査、探求できる能力を育む。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーションー (初日に重要情報のアナウンスがあります)	シラバス熟読
	2	英語購読 Introduction	Review & 単語テスト対策
	3	英作文1 Introduction	エッセイテキストから課題
	4	英語購読 Chapter 1	Review & 単語テスト対策
	5	英作文 Chapter 1	エッセイテキストから課題
	6	英語購読 Chapter 2	Review & 単語テスト対策
	7	英作文 Chapter 1	エッセイテキストから課題
	8	英語購読 Chapter 2	Review & 単語テスト対策
	9	英作文 Chapter 2	エッセイテキストから課題
	10	英語購読 Chapter 3	Review & 単語テスト対策
	11	英作文 Chapter 2	エッセイテキストから課題
	12	英語購読 Chapter 4	Review & 単語テスト対策
	13	英作文 Chapter 3	エッセイテキストから課題
	14	英語購読 Chapter 4	Review & 単語テスト対策
	15	英作文 Chapter 3	エッセイテキストから課題
	16	英語購読 Chapter 5	Review & 単語テスト対策
	17	英作文 Chapter 4	エッセイテキストから課題
	18	英語購読 Chapter 6	Review & 単語テスト対策
	19	英作文 Chapter 4	エッセイテキストから課題
	20	英語購読 Chapter 6	Review & 単語テスト対策
	21	英作文 Chapter 5	エッセイテキストから課題
	22	英語購読 Chapter 7	Review & 単語テスト対策
	23	英作文 Chapter 5	エッセイテキストから課題
	24	英語購読 Chapter 8	Review & 単語テスト対策
	25	英作文 Chapter 6	エッセイテキストから課題
	26	英語購読 Chapter 9	Review & 単語テスト対策
	27	英作文 Chapter 6	エッセイテキストから課題
	28	英語購読 Chapter 9	Review & 単語テスト対策
	29	期末プレゼンテーション1	エッセイテキストから課題
30	期末プレゼンテーション2	期末レビュー	
31	Evaluation	なし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>購読用の基本テキスト(“The Little Prince”)を各自購入する事(初日に詳細説明)。両方とも前期・後期通して使用予定。基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業初日のオリエンテーションに出席できない場合は受講できない場合があります(やむを得ない事情で初日欠席する場合は事前にitokazu@okilc.orgまで連絡する)</li> <li>2 対象:英検準2級~英検2級程度(英語でのやり取りが基本)</li> <li>3 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事(ディスカッションなど参加型の授業などで休みが多い学生は評価が低くなります)</li> <li>4 期末試験以外に、単語クイズ、プレゼンテーション、英文センテンスやエッセイ提出を予定。</li> <li>5 頻繁な遅刻、授業態度(私語やいねむり)の悪い生徒は退室となる場合があるので注意。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. センテンス、エッセイ課題 20%</li> <li>2. 単語テスト20%</li> <li>3. 中間プレゼンテーション 20% (グループプレゼンテーション予定)</li> <li>4. 期末プレゼンテーション20% (個人プレゼンテーション予定)</li> <li>5. ディスカッションへの貢献、態度、その他提出物 20%</li> </ol>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>英語の読解力、エッセイを書く力を磨くために、卒業までに、実用英語検定の2級、準一級合格を目標とすることを勧めたいと思います。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [法律・地行]	2年	Email: realrealgone123@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディング及びライティングのレベルアップを図る。学生が興味を持つようなトピックを扱ったメディア英語（英米のポップスの歌詞・短編小説・英米の映画の脚本）に慣れるようににする。英語ライティングを向上させるために1分間のプレゼンテーションを課す。	多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強く課題（歌詞・新聞・短編小説）を読んで授業に臨んでください。積極的に授業に参加することを心がけてください。
到達目標	文法的に平易な英文（口語的な英文）の長文を読むことができるようになる。アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション Film School of Rock	ライティングの課題
	2	Film School of R0ck	ライティングとリーディングの課題
	3	Compoistion Preposition 1	リーディングの課題
	4	English Song Lyrics 1	ライティングとリーディングの課題
	5	Compoistion Preposition 2	リーディングの課題
	6	English Song Lyrics 2	ライティングとリーディングの課題
	7	Compoistion Preposition 3	リーディングの課題
	8	English Song Lyrics 3	ライティングとリーディングの課題
	9	Composition Infinitives and Gerund 1	リーディングの課題
	10	English Lyrics 4	ライティングとリーディングの課題
	11	Compoistion Infinitives and Gerund 2	リーディングの課題
	12	English Lyrics 5	リーディングの課題
	13	Compoistion Infinitives and Gerund 3	ライティングとリーディングの課題
	14	English Lyrics 6	ライティングとリーディングの課題
	15	Composition Infinitives and Gerund 4	中間試験の準備
	16	Midterm Exam 中間試験	ライティングの課題
	17	Film 3 Idiots	リーディングの課題
	18	Film 3 Idiots	ライティングとリーディングの課題
	19	Newspaper Articles 1	リーディングの課題
	20	Compoistion Conjunction 1	ライティングとリーディングの課題
	21	Newspaper Articles 2	リーディングの課題
	22	Compoistion Conjunction 2	ライティングとリーディングの課題
	23	News Paper Article 3	リーディングの課題
	24	Compoistion Conjunction 3	ライティングとリーディングの課題
	25	News Paper Article 4	リーディングの課題
	26	Compoistion Relative Pronoun 1	ライティングとリーディングの課題
	27	Short Story The Moths 1	リーディングの課題
	28	Compoistion Relative Pronoun 2	ライティングの課題
	29	Short Story The Moths 2	ライティングとリーディングの課題
30	Compoistion Relative Pronoun 3	期末試験の準備	
31	Final Exam 期末試験		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 毎回授業時の次回の英文課題のプリントを配布する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>① 履修の心得： 「英語I」と「英語II」の単位を取得していることが望ましい。クラスの最初の20分間で、12回のクイズあるいはパラグラフ・ライティングをほぼ毎回実施するので、できるだけ出席をするように心がけてほしい。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には電子辞書を持参してください。</p> <p>② 学びを深めるために： 講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価</p> <p>中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポート（テキスト・映画の感想文）20% クイズとライティングの課題 15% プレゼンテーション（口頭発表）15% *中間試験と期末試験の両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 関連科目：英語IV（後期学期提供）を受講を勧めます。(2) 次のステージ：英語の長編小説、文量の多い雑誌記事（特集記事）などを読む努力をすることが望ましい。</p>

※ポリシーとの関連性

様々な分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。  
また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。 2) 基本語1,000~2,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。 3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。 4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読音読トレーニング
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読音読トレーニング
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読音読トレーニング
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読音読トレーニング
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読音読トレーニング
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読音読トレーニング
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読音読トレーニング
	15	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)&振り返り	試験準備:小テストや要約を確認
	16	試験返却と解説・多読活動・ブックシェア	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読音読トレーニング
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	19	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	9) 音読音読トレーニング
	20	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	21	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	10) 音読音読トレーニング
	22	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	23	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	11) 音読音読トレーニング
	24	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。</li> <li>3) 提出期限を守り課題を提出してください。</li> <li>4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1/3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。</li> <li>5) 1日1回はポータル（学内連絡・授業連絡）や学内メールを確認するようにしましょう。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験 50%</li> <li>・ 提出物 30%</li> <li>・ 小テスト 20%</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連科目：英語Ⅳ（後期開講クラス）の受講を勧めます。</li> <li>2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。</li> </ol>



※ポリシーとの関連性

様々な分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。  
また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことではありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。 2) 基本語1,000~2,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。 3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。 4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読音読トレーニング
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読音読トレーニング
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読音読トレーニング
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読音読トレーニング
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読音読トレーニング
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読音読トレーニング
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読音読トレーニング
	15	前期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)&振り返り	試験準備:小テストや要約を確認
	16	試験返却と解説・多読活動・ブックシェア	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	8) 音読音読トレーニング
	18	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	19	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	9) 音読音読トレーニング
	20	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	21	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	10) 音読音読トレーニング
	22	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	23	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	11) 音読音読トレーニング
	24	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出準備
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	前期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。</li> <li>3) 提出期限を守り課題を提出してください。</li> <li>4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1/3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。</li> <li>5) 1日1回はポータル（学内連絡・授業連絡）や学内メールを確認するようにしましょう。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験 50%</li> <li>・ 提出物 30%</li> <li>・ 小テスト 20%</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連科目：英語Ⅳ（後期開講クラス）の受講を勧めます。</li> <li>2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。</li> </ol>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [全学科 (全学年)]	1年	学内メールや授業の前後に教室にて受け付ける。連絡事項をまめに確認してください。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>これまでに学んだ英語の知識を整理しつつ、あらゆるタイプの英文に触れる。日常生活に即した表現、学生の専攻に添った読物、今日的な話題を取り入れた新聞や雑誌の記事、フィクション・ノンフィクションなどを幅広く読み進める。</p>	<p>英文読解と英作文が中心となるが、それに必要な英文法の確認も行う。教材の内容に関してそれぞれが考え、自分の意見を持つことを期待する。英語が得意な学生も苦手とする学生も、楽しみながら、英語を今後の生活に活かすことを目指して欲しい。大学の方針に基づき、基本的に対面授業を行う。ただし、感染症拡大が再び起こることがあれば、その限りではない。</p>
	到達目標	
	生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力・辞書を活用する力を身につける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	英語で自己紹介文を書く
	2	英語表現 (文法・作文) 1	文法：関連する英作文
	3	英文講読 1	長文：内容に関する語彙・表現
	4	英語表現 (文法・作文) 2	文法：関連する英作文
	5	英文講読 2	長文：内容に関する語彙・表現
	6	英語表現 (文法・作文) 3	文法：関連する英作文
	7	英文講読 3	長文：内容に関する語彙・表現
	8	英語表現 (文法・作文) 4	文法：関連する英作文
	9	英文講読 4	長文：内容に関する語彙・表現
	10	英語表現 (文法・作文) 5	文法：関連する英作文
	11	英文講読 5	長文：内容に関する語彙・表現
	12	英語表現 (文法・作文) 6	文法：関連する英作文
	13	英文講読 6	長文：内容に関する語彙・表現
	14	英語表現 (文法・作文) 7	文法：関連する英作文
	15	中間試験	前期前半のまとめ-1
	16	前期前半のまとめ	前期前半のまとめ -2
	17	英語表現 (文法・作文) 8	文法・感想を英語で書く
	18	英文講読 7	長文：内容に関する語彙・表現
	19	英語表現 (文法・作文) 9	文法：関連する英作文
	20	英文講読 8	長文：内容に関する語彙・表現
	21	英語表現 (文法・作文) 10	文法：関連する英作文
	22	英文講読 9	長文：内容に関する語彙・表現
	23	英語表現 (文法・作文) 11	文法：関連する英作文
	24	英文講読 10	長文：内容に関する語彙・表現
	25	英語表現 (文法・作文) 12	文法：関連する英作文
	26	英文講読 11	長文：内容に関する語彙・表現
	27	英語表現 (文法・作文) 13	文法：関連する英作文
	28	英文講読 12	長文：内容に関する語彙・表現
	29	英語表現 (文法・作文) 14	文法：関連する英作文
30	期末試験	前期後半のまとめ	
31	前期のまとめ	前期のまとめ	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など          テキスト：表現：市販教材、講読：配布教材（前もって配布するので、予習すること）参考文献は随時紹介する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コツコツと小さなトライを重ねて、英語の力をつけていこう。</li> <li>②辞書を活用する習慣を身につける。</li> <li>③毎回のクラスのはじめにミニ・クイズを行うので、遅刻しないよう留意すること。</li> <li>④音読・黙読を何度も繰り返そう。</li> <li>⑤3分の1（10回）以上欠席すると単位の取得はできない。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>毎回のミニ・クイズや質問・発表などのクラスへの貢献度：50%          中間・期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に提供される英語IV。          ラジオやネットなどで英語のニュースを理解すること。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-渡久山 幸功 [法律・地行]	2年	Emai : l_realrealgone123@yaoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語購読・英作文のテキストを使用し、基本的な英文法を学習・体得しながら、英語によるリーディングおよびライティングのレベルアップを図る。英語I及び英語IIで学んだ英会話・コミュニケーション表現を多く含むベストセラーHOW-to 本 Skinny Bitch (2009) を購読することによって、平易な英文理解を強化していきます。	多読的な学習方法で講義を進めていきます。受講生は根気強くテキスト Skinny Bitch (2009) を繰り返し読んで授業に臨んでください。また、このクラスは全学の学生が受講するクラスなので、クラスメートと友人になって楽しい授業になるように、積極的に授業に参加することを心がけてください。
到達目標	現代アメリカ英文の長文を読むことができるようになる。現代アメリカ英語の日常英会話的な表現を理解できるようになる。基礎的な英文法を使用して基礎的な英文法を使用して自分の気持ち・意見を平易な英作文で表現できるようになる。現代社会における食の安全と環境破壊などの社会問題を理解することができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	クラス・オリエンテーション	リーディングの課題
	2	Skinny Bitch Chater 1	リーディングの課題
	3	Skinny Bitch Chater 1	ライティングの課題
	4	Composition	リーディングの課題
	5	Skinny Bitch Chater 2	ライティングの課題
	6	Composition	リーディングの課題
	7	Skinny Bitch Chapaer 3	リーディングの課題
	8	Skinny Bitch Chapter 3 Supersize Me (2008)	リーディングとライティングの課題
	9	Skinny Bitch Chapaer 3	ライティングの課題
	10	Composition	リーディングの課題
	11	Skinny Bitch Chapter 4	リーディングの課題
	12	Skinny Bitch Chapter 4 King Corn (2008)	リーディングとライティングの課題
	13	Skinny Bitch Chapter 4	ライティングの課題
	14	Composition	リーディングの課題
	15	Skinny Bitch Chapter 5	リーディングの課題
	16	Skinny Bitch Chapter 5	ライティングの課題
	17	Composition	中間試験の準備学習
	18	Midterm Exam	リーディングの課題
	19	Skinny Bitch Chapter 6	リーディングの課題
	20	Skinny Bitch Chapter 6 Food Inc. (2009)	リーディングとライティングの課題
	21	Skinny Bitch Chapter 6	ライティングの課題
	22	Composition	リーディングの課題
	23	Skinny Bitch Chapter 7 & 8	ライティングの課題
	24	Composition	リーディングの課題
	25	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	26	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	27	Skinny Bitch Chapter 9	リーディングの課題
	28	Skinny Bitch Chapter 10 Forks Over Knives	リーディングとライティングの課題
	29	Skinny Bitch Chapter 10	リーディングの課題
30	Skinny Bitch Chapter 10	期末試験の準備学習	
31	Final Exam	ライティングの課題	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Skinny Bitch Roy Fredman and Barnouin Running Press (2009)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ① 履修の心得：「英語III」の単位を取得していること。3分の1以上欠席した場合（このクラスは10回以上）には、大学の規定により単位を与えることはできません。30分以上遅刻した場合には、欠席とみなします。また、講義中の居眠りや授業内容に関係のないおしゃべり、スマートフォンや携帯電話の使用を禁止します。講義には英文辞書を持参してください。② 学びを深めるために：講義時間外での予習・復習は外国語学習・習得には極めて重要です。毎日教科書を読むようにして、英文を読むことになれるように努力してください。</p>
	<p>評価 中間試験 25% 期末試験 25% 英文レポートと（テキスト・映画の感想文）と各章毎のクイズ40% プレゼンテーション（口頭発表）10% *中間試験と期末試験のの両方を受験しない場合には単位を取得できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) 関連科目：英語 V, 英語 VI、英語 VII、英語VIII のクラスを継続して受講して、英語力をアップせるように努力してほしい。(2) 次のステージ：英語の小説、新聞、雑誌などを読む努力をすることが望ましい。特に、Skinny Bitch はビジネス英語の語彙が頻出するので、TOEICテストを大学卒業までに受験してほしい。</p>

※ポリシーとの関連性 社会人として自立するために役立つ、英語を「読み」、英語で「書く」基本的な知識・技能を身に付けます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上原 淳子[法律・地行]	2年	問い合わせについては授業内で連絡します。	

学びの準備	ねらい 本講義は、主にリーディングとライティングの基礎力を身に付けることをねらいとします。英文のパラグラフ構成を理解することによって、効果的な英文を書くことができることを最終的なねらいとします。効果的な文章を書くためには「内観すること」が求められます。	メッセージ Learning English is so much fun when we do it together.
	到達目標 1. テキストのモデル文を読んで、文章構成を理解することができる。 2. モデル文の構成を基に自分の文章を書くことができる。 3. 各Unitで使用されている文法事項を理解し、使用することができる。 4. 各自で書いた文章をペアワークの中で交換して、相手の文章を分析し、改善のためのコメントすることができる。 5. ペアワークの中で相手から指摘されたことを参考にして、自分の文章を改めることができる。	

学びの準備	ねらい 本講義は、主にリーディングとライティングの基礎力を身に付けることをねらいとします。英文のパラグラフ構成を理解することによって、効果的な英文を書くことができることを最終的なねらいとします。効果的な文章を書くためには「内観すること」が求められます。	メッセージ Learning English is so much fun when we do it together.
	到達目標 1. テキストのモデル文を読んで、文章構成を理解することができる。 2. モデル文の構成を基に自分の文章を書くことができる。 3. 各Unitで使用されている文法事項を理解し、使用することができる。 4. 各自で書いた文章をペアワークの中で交換して、相手の文章を分析し、改善のためのコメントすることができる。 5. ペアワークの中で相手から指摘されたことを参考にして、自分の文章を改めることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスによく目を通す
	2	基本的な文法事項	5文型を復習しておく
	3	Unit 1: 1-7	課題文を書く
	4	Unit 1: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	5	Unit 2: 1-7	課題文を書く
	6	Unit 2: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	7	Unit 3: 1-7	課題文を書く
	8	Unit 3: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	9	Unit 4: 1-7	課題文を書く
	10	Unit 4: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	11	Unit 5: 1-7	課題文を書く
	12	Unit 5: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	13	Unit 6: 1-7	課題文を書く
	14	Unit 6: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	15	中間テスト	これまでの復習
	16	Unit 7: 1-7	課題文を書く
	17	Unit 7: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	18	Unit 8: 1-7	課題文を書く
	19	Unit 8: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	20	Presentation 1	Movie Reviewの発表
	21	Unit 9: 1-7	課題文を書く
	22	Unit 9: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	23	Unit 10: 1-7	課題文を書く
	24	Unit 10: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	25	Unit 11: 1-7	課題文を書く
	26	Unit 11: 8-9, Just For Fun	前時の復習
	27	Presentation 2	広告を作成して、発表する
	28	Presentation 2	広告を作成して、発表する
	29	Unit 12: 1-7	課題文を書く
30	Unit 12: 8-9, Just For Fun	前時の復習	
31	期末テスト	これまでの復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 指定教科書あり、授業で連絡します。</li> <li>2. 参考文献・資料は、その都度授業で連絡します。</li> <li>3. 教材プリント等を綴るファイルを準備してください。</li> </ol>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遅刻、欠席をしないこと（詳細はオリエンテーションで連絡します。）</li> <li>2. 授業には必ず辞書（電子辞書可）を準備すること</li> <li>3. 課題等は期限を守って提出すること</li> </ol> <p>※シラバスは学習状況により変更の可能性があります。</p>
	<p>評価</p> <p>①中間・期末テスト 40% ②各Unitの課題文の提出 36% ③プレゼンテーション及び講義参加率 24%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>日常生活の中で様々な英文に触れ、読んだ内容に対する自分の考えをまとめることができるようにしてください。</p>



※ポリシーとの関連性 あらゆる分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバラエティーを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。                  2) 基本語1,000~3,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。                  3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。                  4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読ドリルの小テスト準備
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読ドリルの小テスト準備
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読ドリルの小テスト準備
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読ドリルの小テスト準備
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読ドリルの小テスト準備
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読ドリルの小テスト準備
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読ドリルの小テスト準備
	15	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	試験準備:小テストや要約を確認
	16	後期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)&振り返り	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	8) 音読ドリルの小テスト準備
	18	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	19	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	9) 音読ドリルの小テスト準備
	20	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	21	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	10) 音読ドリルの小テスト準備
	22	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	23	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	11) 音読ドリルの小テスト準備
	24	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	後期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。</li> <li>3) 提出期限を守り課題を提出してください。基本的には授業内での提出が主になります。</li> <li>4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1/3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。</li> <li>5) 1日1回はポータル（学内連絡・授業連絡）や学内メールを確認するようにしましょう。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験 50%</li> <li>・ 提出物 30%</li> <li>・ 小テスト 20%</li> </ul>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連科目：英語Vの受講を勧めます。</li> <li>2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。</li> </ol>

※ポリシーとの関連性 あらゆる分野の英文に多く触れて、基礎的な読解力を身につけます。また自分の意見を相手に伝える訓練を通して表現力を磨きます。

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	阿嘉 奈月[全学科(全学年)]	1年	問い合わせ方法については授業内で周知します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本講義では主に(1)主にやさしい英文で書かれた多読用図書を通して読解力を伸ばし(2)学んだ知識を活用して実践的なコミュニケーション能力を身につけます。様々な分野の英文に触れることで、そのまま英文を理解するといった直読直解の技能を習得することができます。また、音読やディクテーション活動を通して、英文構造を身につけ自己表現力のバリエーションを増やします。</p>	<p>好きこそものの上手なれ!楽しみながら英語学習に取り組みましょう。授業は積極的に参加してください。授業内で質問することは恥ずかしいことはありません。</p>
到達目標	<p>1) 多読活動を通して、英文をそのまま理解する直読直解の技能を身につけることができる。                  2) 基本語1,000~3,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。                  3) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、英文構造の型を定着させることができる。                  4) 音読トレーニングやディクテーション活動を通して、自己表現力を高めることができる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション(図書館での多読授業について)	事前にシラバスを確認する。
	2	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	1) 音読ドリルの小テスト準備
	3	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	4	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	2) 音読ドリルの小テスト準備
	5	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	6	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	3) 音読ドリルの小テスト準備
	7	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	8	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	4) 音読ドリルの小テスト準備
	9	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	10	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	5) 音読ドリルの小テスト準備
	11	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	12	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	6) 音読ドリルの小テスト準備
	13	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	・英文要約のプリント提出
	14	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	7) 音読ドリルの小テスト準備
	15	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	試験準備:小テストや要約を確認
	16	後期中間試験&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)&振り返り	試験準備:小テストや要約を確認
	17	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	8) 音読ドリルの小テスト準備
	18	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	19	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	9) 音読ドリルの小テスト準備
	20	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	21	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	10) 音読ドリルの小テスト準備
	22	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	23	多読活動・ブックシェア・速読トレーニング・グループワーク	11) 音読ドリルの小テスト準備
	24	多読活動・ブックシェア・音読トレーニング・ディクテーション	・英文要約のプリント提出
	25	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	26	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	27	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	28	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
	29	音読トレーニング・口頭発表(本の紹介)	発表準備
30	後期末試験	試験準備:小テストや要約を確認	
31	試験返却と解説&自己評価(多読語数・速読スピードなどの確認)	試験準備:小テストや要約を確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 浅場眞紀子・愛場吉子（2018）『1日10分で始める・続ける 話せる英語ドリル300文』東京：アルク。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業内外での自主的な多読活動へ積極的に取り組みましょう。</li> <li>2) 図書館でのマナーを守り、他者の迷惑にならないように心がけましょう。</li> <li>3) 提出期限を守り課題を提出してください。基本的には授業内での提出が主になります。</li> <li>4) 欠席届を提出した場合でも、欠席回数が1/3に達した場合には自動的に不可とします。遅刻は0.5でカウントします。</li> <li>5) 1日1回はポータル（学内連絡・授業連絡）や学内メールを確認するようにしましょう。</li> </ol>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験 50%</li> <li>・ 提出物 30%</li> <li>・ 小テスト 20%</li> </ul>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 関連科目：英語Ⅴの受講を勧めます。</li> <li>2) 次へのステージ：図書館には、英語で書かれた書物（多読用図書・児童書・英字新聞など）が多く保管されています。日頃から英語に触れて、継続した英語学習に取り組んでください。</li> </ol>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子[法律・地行]	2年	沖国大ポータルG-mailを活用し、連絡を取り合う。連絡事項をまめに確認して欲しい。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	英語IIIで学んだ英語の知識をさらに深める。読む速度を早くし、読む量を増やし、英語を読み書きする楽しさを覚える。	教材を読み、課題に取り組む。質問は大いに歓迎する。学生のみならず一人ひとりが英語III・IVを通して読解力・作文力が身についたと実感することができるようサポートしたい。メールを活用し、連携を深めてお互いに学んでいきましょう。大学の方針に基づき、基本的に対面授業を行う。ただし、感染症拡大が再び起こることがあれば、その限りではない。
	到達目標	
	辞書を引く習慣を身につけると同時に、辞書なしでも生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力を身につける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション & 英文講読 1	夏休みに関する英作文
	2	英語表現 1	文法・関連する英作文
	3	英文講読 2	関連する語彙・表現
	4	英語表現 2	文法・関連する英作文
	5	英文講読 3	関連する語彙・表現
	6	英語表現 3	文法・関連する英作文
	7	英文講読 4	関連する語彙・表現
	8	英語表現 4	文法・関連する英作文
	9	英文講読 5	関連する語彙・表現
	10	英語表現 5	文法・関連する英作文
	11	英文講読 6	関連する語彙・表現
	12	英語表現 6	文法・関連する英作文
	13	英文講読 7	関連する語彙・表現
	14	英語表現 7	文法・関連する英作文
	15	中間試験	後期前半のまとめ
	16	後期前半学習のまとめ	後期前半のまとめ
	17	英語表現 8	文法・関連する英作文
	18	英文講読 8	関連する語彙・表現
	19	英語表現 9	文法・関連する英作文
	20	英文講読 9	関連する語彙・表現
	21	英語表現 10	文法・関連する英作文
	22	英文講読 10	関連する語彙・表現
	23	英語表現 11	文法・関連する英作文
	24	英文講読 11	関連する語彙・表現
	25	英語表現 12	文法・関連する英作文
	26	英文講読 12	関連する語彙・表現
	27	英語表現 13	文法・関連する英作文
	28	英文講読 13	関連する語彙・表現
	29	英語表現 14	文法・関連する英作文
30	期末試験	後期後半のまとめ	
31	後期のまとめ	後期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：配布教材（新聞・雑誌の記事、実話、短編の物語、長編物語の抜粋など） 参考文献：随時紹介する ※テキストに関しては、変更することもあるので、オリエンテーションにて確認すること。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①辞書を活用する力と同時に、辞書がなくても読み物の概要を把握する力を身につけることを目指したい。 ②毎回ミニ・クイズを実施するので、予習・復習する習慣を身につけよう。 ③音読・黙読を何度も行うこと。 ④欠席が3分の1（10回）以上ある場合は単位を修得することはできないので、留意すること。 ※クラス・スケジュールは変更する場合もあるので、連絡事項に留意すること。</p>
	<p>評価</p> <p>毎回のクラスでの活動（ミニ・クイズ / 発表・質問などのクラスへの貢献度）：50% 中間・期末試験：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ラジオやネットなどで英語のニュースを理解すること。 生活の中で必要とされる時、英語を活用できる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-奥間 隆伸 [法律・地行]	2年	ptt059@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>基本的な英語の運用能力向上を授業の目的とします。教科書を中心に特に「読む」事や「書く」事に関連した様々な形での学習を行う。「読む」活動では幅広い話題に関連した英文を精読をし、リーディング力の養成をする。「書く」事に関しては文法、語彙、表現を段階的に学び、ライティング力の養成に努める。又、簡単なリスニングも行う。</p>	<p>授業の中でわからないことは、遠慮無く質問して下さい。自主的、意欲的な学習態度が必要です。英語を効果的に習得する鍵は皆さん自身が握っています。「間違いを恐れる」から「間違いから学ぶ」へ発想の転換し、基本的な英語を習得し、自分の世界をもっと広げていきましょう。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基礎英文法が理解できる。</li> <li>② 英語の基本表現が使用できる。</li> <li>③ 基礎的な英文を読み（音読も含む）、理解できる。</li> <li>④ 簡単な英文のリスニングができる。</li> <li>⑤ 簡単な英文の文章が書ける。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	シラバスをよく読む
	2	Unit1 Gig Work	教科書Unit1を事前に読む
	3	Unit1 & Unit2 Your Boss is from Overseas	教科書Unit1& Unit2を事前に読む
	4	Unit2	教科書Unit2を事前に読む
	5	Unit1 Quiz & Unit 3 Bitcoin	教科書Unit3を事前に読む
	6	Unit2 Quiz & Unit3	教科書Unit3を事前に読む
	7	Unit4 Working from Home	教科書Unit4を事前に読む
	8	Unit3 Quiz & Unit4	教科書Unit4を事前に読む
	9	Unit5 Kickstarter	教科書Unit5を事前に読む
	10	Unit4 Quiz & Unit5	教科書Unit5を事前に読む
	11	Unit6 Esports	教科書Unit6を事前に読む
	12	Unit5 Quiz & Unit6	教科書Unit6を事前に読む
	13	Unit7 Unicorns	教科書Unit7を事前に読む
	14	Unit6 Quiz & Unit7	教科書Unit7を事前に読む
	15	Mid-term exam (中間試験) Unit1-7	中間試験対策をする
	16	Unit8 How Do Modern Musicians	教科書Unit8を事前に読む
	17	期末試験返却& Unit8	教科書Unit8を事前に読む
	18	Unit8 Quiz & Unit9 Space Business	教科書Unit9を事前に読む
	19	Unit9	教科書Unit9を事前に読む
	20	Unit10 Going Cashless from a Business	教科書Unit10を事前に読む
	21	Unit9 Quiz & Unit10	教科書Unit10を事前に読む
	22	Unit11 Workations	教科書Unit11を事前に読む
	23	Unit10 Quiz & Unit11	教科書Unit11を事前に読む
	24	Unit12 The Future of "Hanako"	教科書Unit12を事前に読む
	25	Unit11 Quiz & Unit12	教科書Unit12を事前に読む
	26	Unit13 Subscription Service	教科書Unit13を事前に読む
	27	Unit12 Quiz & Unit13	教科書Unit13を事前に読む
	28	Unit14 Japanese High-End Denim	教科書Unit14を事前に読む
	29	Unit13 Quiz & Unit14	教科書Unit14を事前に読む
30	Unit15 Pop-Up& 試験対策	教科書Unit15を事前に読む	
31	Final Exam (期末試験) Unit8 - 15	期末試験対策をする	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など  「Global Pathways」 Jonathan Lynch / 委文 光太郎 成美堂 2,090円 (税込み)  教科書は変更の可能性があります。変更がある場合は学生の皆さんにお伝えしま。  参考文献：プリントを随時使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業初日のオリエンテーションは非常に大切なので出席してください。</li> <li>2. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。</li> <li>3. 総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）を欠席すると大学の規定により成績評価は「不可」となります。</li> <li>4. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。</li> <li>5. 遅刻、私語、居眠り、授業に関係ない携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。</li> </ol>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>平常点（授業参加度）30%、宿題・課題（レポートなど）・小テスト30%、中間試験20%、期末試験20%の結果により総合的に評価する。総授業時数の3分の1以上（このクラスでは10回以上）をを欠席すると大学の規定により、成績評価は「不可」となります。20分以上遅刻した場合には欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この授業で学習した基本的な英語運用能力（特にリーディングとライティング）を実生活や専門科目で応用できることを目指して欲しい。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-松田 順子 [全学科 (全学年)]	1年	沖国大ポータルG-mailを活用し、連絡を取り合う。連絡事項をまめに確認して欲しい。	

学びの準備	ねらい 英語IIIで学んだ英語の知識をさらに深める。読む速度を早くし、読む量を増やし、英語を読み書きする楽しさを覚える。	メッセージ 教材を読み、課題に取り組む。質問は大いに歓迎する。学生のみならず一人ひとりが英語III・IVを通して読解力・作文力が身についたと実感することができるようサポートしたい。メールを活用し、連携を深めてお互いに学んでいきましょう。大学の方針に基づき、基本的に対面授業を行う。ただし、感染症拡大が再び起こることがあれば、その限りではない。
	到達目標 辞書を引く習慣を身につけると同時に、辞書なしでも生活の中で出会う英語の文章を読む力・書く力を身につける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (講読・作文) 1	夏休みに関する英文を読む・書く
	2	英語表現 (文法・作文) 1	文法・関連する英作文
	3	英文講読 2	長文：関連する語彙・表現
	4	英語表現 (文法・作文) 2	文法・関連する英作文
	5	英文講読 3	長文：関連する語彙・表現
	6	英語表現 (文法・作文) 3	文法・関連する英作文
	7	英文講読 4	長文：関連する語彙・表現
	8	英語表現 (文法・作文) 4	文法・関連する英作文
	9	英文講読 5	長文：関連する語彙・表現
	10	英語表現 (文法・作文) 5	文法・関連する英作文
	11	英文講読 6	長文：関連する語彙・表現
	12	英語表現 (文法・作文) 6	文法・関連する英作文
	13	英文講読 7	長文：関連する語彙・表現
	14	英語表現 (文法・作文) 7	文法・関連する英作文
	15	中間試験	前期前半のまとめ
	16	後期前半学習のまとめ	前期前半のまとめ
	17	英語表現 (文法・作文) 8	文法・関連する英作文
	18	英文講読 8	長文：関連する語彙・表現
	19	英語表現 (文法・作文) 9	文法・関連する英作文
	20	英文講読 9	長文：関連する語彙・表現
	21	英語表現 (文法・作文) 10	文法・関連する英作文
	22	英文講読 10	長文：関連する語彙・表現
	23	英語表現 (文法・作文) 11	文法・関連する英作文
	24	英文講読 11	長文：関連する語彙・表現
	25	英語表現 (文法・作文) 12	文法・関連する英作文
	26	英文講読 12	長文：関連する語彙・表現
	27	英語表現 (文法・作文) 13	文法・関連する英作文
	28	英文講読 13	長文：関連する語彙・表現
	29	英語表現 (文法・作文) 14	文法・関連する英作文
30	期末試験	後期後半のまとめ	
31	後期のまとめ	後期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：文法・英作文：市販教材、講読：配布教材（新聞・雑誌の記事、実話、短編の物語、長編物語の抜粋など）</p> <p>参考文献：随時紹介する</p> <p>※テキストに関しては、変更することもあるので、オリエンテーションにて確認すること。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①辞書を活用する力と同時に、辞書がなくても読み物の概要を把握する力を身につけることを目指したい。</p> <p>②毎回ミニ・クイズを実施するので、予習・復習する習慣を身につけよう。</p> <p>③音読・黙読を何度も行うこと。</p> <p>④欠席が3分の1（10回）以上ある場合は単位を修得することはできないので、留意すること。</p> <p>※クラス・スケジュールは変更する場合もあるので、連絡事項に留意すること。</p>
	<p>評価</p> <p>毎回のクラスでの活動（ミニ・クイズ / 発表・質問などのクラスへの貢献度）：50%</p> <p>中間・期末試験：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ラジオ、テレビ、新聞をはじめ、日常生活や仕事の場面で出会う英語を理解し、活用できる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-親泊 かおり [法律・地行]	2年	musakaori8@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	本講義においては、アメリカの3大ネットワークの一つ、CBS看板ニュース報道番組の”CBS Evening News”と”CBS This Morning”の中で取り上げられた様々なニュースをもとに講義を行う。アメリカの家庭でアメリカ人が実際に生きている生の新しいニュースを視聴することで、英語をより身近なものとして感じ、英語に対する興味を高めながら、英語を学んでいくことに焦点を当てます。	講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。英文を返り読みすることなしに、意味の切れ目ごとに、左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。
到達目標	①英語を正しく聞き取ることができる。 ②英文を正しく読み取ることができる ③自分自身の考えていることを平易な英語で伝えることができる	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスに目を通す
	2	ガイダンス：文法基礎 サイトトランスレーション・スラッシュリーディングについて	文法基礎について復習
	3	UNIT1 What's for Lunch? In Japanese Schools It's Always Healthy	UNIT 予習および復習
	4	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	5	UNIT2 BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	UNIT 予習および復習
	6	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	7	UNIT3 How a Dog Can Improve Your Health	UNIT 予習および復習
	8	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	9	UNIT4 The Shoe That Grows: Expandable Shoes Aim to Keep Up with Kids' Growing Feet	UNIT 予習および復習
	10	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	11	UNIT5 "Cat Library" Offers Purrfect Solution to Stress	UNIT 予習および復習
	12	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	13	UNIT6 The Evolution of Comic Books in the Digital Age	UNIT 予習および復習
	14	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	15	UNIT7 Can Drinking Soda Make You Age Faster?	UNIT 予習および復習
	16	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	17	UNIT8 What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	UNIT 予習および復習
	18	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	19	UNIT9 Is Sitting the New Smoking?	UNIT 予習および復習
	20	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	21	UNIT10 Matcha Madness Sparks New Tea Craze	UNIT 予習および復習
	22	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	23	UNIT11 Daddy Duty: Stay-at-Home Dads Putting Kids Before Careers	UNIT 予習および復習
	24	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	25	UNIT12 One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	UNIT 予習および復習
	26	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	27	UNIT13 Slurping to Success: A Look into the Growing American Ramen Culture	UNIT 予習および復習
	28	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
	29	UNIT14 Peddling Pedaling: Bikes Become the Latest Peer-to-Peer Success Story	UNIT 予習および復習
	30	UNIT まとめ 小テスト	UNIT 予習および復習
31	期末テスト	テストで解けなかった部分の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 初回講義にて提示</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 毎回講義で配布する講義連絡を必ず参照。</p>
	<p>評価 ①小テスト 40% ②期末テスト 40% ③宿題および講義参加率 20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 本講義で習得した英語の基本的技能を用いて、英語で発信されている様々な情報に関心をもち、国際的視野に立って自分の意見を英語でまとめられるようになる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	水1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮城 和文 [全学科 (全学年)]	1年	ptt758@okiu.ac.jp 件名に「英語IV・氏名」の明記を忘れずに!	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期「英語Ⅲ」の発展コースとして、skimming, scanning, making inferencesなどのReading Skillsの向上をめざす。</li> <li>各章のトピックに関するプラスαの情報をグループ/ペアで調べ、エッセイの読後感と合わせてクラスに紹介(プレゼン)し、扱われている題材の理解深化をはかる。</li> <li>三行日記に取組み、継続的に一定量の英作文になれる。</li> </ul>	<p>★正当な理由なく初回講義を欠席しないこと。★遠隔講義に移行せざるを得ない場合に備え、日ごろから本学ポータル、Gmail, Moodleへアクセスし、オンラインで情報を確認する習慣を身に付けておきましょう。★外国語の習得に近道はありません。日々の積み上げが大事です。真剣な中にも、楽しく学んでいける環境作りを心がけますので、みなさんの積極的な授業参加を期待しています。</p>

到達目標	<p>(1) 比較的長めの英文エッセイであっても躊躇せず読み通すことができる。</p> <p>(2) グループで演習問題の解説および教科書エッセイの読後感について、短い文章にまとめクラスで発表することができる。</p> <p>(3) 三行日記(3-line Diary)を学期中、毎日書き留めることができる。</p> <p>(4) 毎週実施するクイズで8割以上の正答率をめざし、語彙表現力増強に努める。</p>
------	---

学びの実践	学びのヒント			
	授業計画			
		回	テーマ	時間外学習の内容
		1	Course Introduction	Fully understand the syllabus
		2	Chapter 01-1: Age, Status, and Family -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		3	Chapter 01-2 Exercises B and C / Quiz 01	Textbook Work, Three-line Diary
		4	Chapter 02-1: Politeness -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		5	Chapter 02-2 Exercises B and C / Quiz 02	Textbook Work, Three-line Diary
		6	Chapter 03-1: Feedback -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		7	Chapter 03-2 Exercises B and C / Quiz 03	Textbook Work, Three-line Diary
		8	Chapter 04-1: Rituals -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		9	Chapter 04-2 Exercises B and C / Quiz 04	Textbook Work, Three-line Diary
		10	Chapter 05-1: Titles -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		11	Chapter 05-2 Exercises B and C / Quiz 05	Textbook Work, Three-line Diary
		12	Chapter 06-1: Modesty -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		13	Chapter 06-2 Exercises B and C / Quiz 06	Textbook Work, Three-line Diary
		14	Chapter 07-1: Heart-to-Heart Communication -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		15	Chapter 07-2 Exercises B and C / Quiz 07	Textbook Work, Three-line Diary
		16	Midterm Examination	Review, Three-line Diary
		17	Chapter 08-1: Face-to-Face Communication -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		18	Chapter 08-2 Exercises B and C / Quiz 08	Textbook Work, Three-line Diary
		19	Chapter 09-1: Proverbs -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		20	Chapter 09-2 Exercises B and C / Quiz 09	Textbook Work, Three-line Diary
		21	Chapter 10-1: Idioms -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		22	Chapter 10-2 Exercises B and C / Quiz 10	Textbook Work, Three-line Diary
		23	Chapter 11-1: Textbook Language -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		24	Chapter 11-2 Exercises B and C / Quiz 11	Textbook Work, Three-line Diary
		25	Chapter 13-1: Politically Correct Language -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		26	Chapter 13-2 Exercises B and C / Quiz 12	Textbook Work, Three-line Diary
		27	Chapter 14-1: Pronunciation -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
		28	Chapter 14-2 Exercises B and C / Quiz 13	Textbook Work, Three-line Diary
		29	Chapter 16-1: Reflections of Language and Culture -Vocabulary Check, Exercise A	Textbook Work, Three-line Diary
	30	Chapter 16-2 Exercises B and C / Quiz 14	Textbook Work, Three-line Diary	
	31	Final Examination	Review last half of the course	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★使用予定教科書：How Culture Affects Communication-英米人の考え方、日本人の考え方、Paul Stapleton著、金星堂出版。開講時に正式に紹介します。なお教科書は全受講生必携です！履修確定後に教科書無しでの受講は認めません。</li> <li>★参考図書等については適時、講義内で紹介します。</li> <li>★授業中は、紙媒体、電子版を問わないが、大学生レベルの英和及び英英辞書を少なくとも一種類、常に使える状態で備え適時活用すること。</li> </ul>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★グループ学習の機会が多くなります。オープンに意見の交換ができる雰囲気づくりにつとめましょう。加えて、クラス外でもコミュニケーションがスムーズにとれる環境を整えましょう。</li> <li>★上述オンラインツールについては、安定したアクセス及び操作方法を身に付けておくこと。技術的な問題で困ったときは、5号館1階コンピュータ管理室:kanrisitsu@okiu.上述または、サポート窓口:電話098-943-0655、メールrts@okiu.ac.jpにたずねること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①Examinations-30% ②Quizzes-30% ③Three-line Diary-20% ④Chapter Contributors-10%, ⑤In-Class &amp; Moodle, etc.-10%</p> <p>※重要！単位取得には、①～⑤のすべての課題に取り組んでいることが必須。  ※遠隔講義に移行せざるを得ない状況になったときは、評価基準に変更を加えることがある</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>扱われているトピックの背景的知識を深めるために、新聞等の報道メディアに日ごろから積極的にふれておきましょう。また、Iネットなどを活用し、題材に関連した情報を収集・整理しておくことより効果的な講読活動につながるでしょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語IV	後期	火3・金3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-糸数 淳子 [法律・地行]	2年	授業の初日に講座案内を配布します(メールアドレスも記載されています)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>様々なITメディアが発達した今日、国際共通語としての英語でリサーチができる能力を身につける事で、学習者は世界中のコンテンツにアクセスし、世界に向けて発信ができるようになる。この授業では、諸外国の人々と交流し、国際社会の一員として社会貢献できる人材の育成を目標とする。英語の読み書きのスキルを実践で使えるレベルまで高めるためにアウトプット中心の訓練を行う。</p>	<p>基本的テキストとして購読用(「星の王子さま」の英語版)、英作文用の2冊購入が必要。各チャプターのテーマに沿ってディスカッションを活性化させるため様々な追加資料を配布、ビデオクリップや著名人のトークを視聴する。個人、グループ、クラス全体で対話し考える講座。Speaking に自信のある方、又は英語による発信力を高めるのに興味のある方、ぜひご参加ください。</p>
到達目標	<p>英文の読解力や文章力を養成する事を主目的とする。物語をチャプターごとに購読、分析、そしてディスカッションすることで自然に英語の文章に馴染む。又エッセイの書き方のノウハウを学び毎週英作文の課題を提出する。文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に付け、ディスカッションやプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。</p>	

学びの実践	学びのヒント			
	授業計画			
		回	テーマ	時間外学習の内容
		1	講義形式説明(基本遠隔授業、対面授業は10/2, 11/6, 12/4, 1/5, 2/5 に5号館314号室にて)	シラバス熟読
		2	The Little Prince (TLP) reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		3	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		4	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		5	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		6	Test 1/ TLP reading	テキスト復習
		7	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		8	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		9	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		10	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		11	Test 2/ TLP reading	テキスト復習
		12	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		13	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		14	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		15	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		16	Test 3/ TLP reading	テキスト復習
		17	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		18	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		19	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		20	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		21	Test 4/ TLP reading	テキスト復習
		22	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		23	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		24	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		25	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		26	Test 5/ TLP reading	テキスト復習
		27	The TLP reading, listening, Q&A	単語テスト (V-test)対策
		28	TLP V-quiz, group discussion, presentation	研究ノート提出
		29	The TLP final presentation group 1	プレゼン準備
	30	The TLP final presentation group 2	プレゼン準備	
	31	Evaluation	なし	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>“基本テキストとして、“The Little Prince”を各自購入する事（初日に説明）。基本テキスト以外にも読み物や資料配布予定。”</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <p>“1対象：英検準2級～英検2級程度（英語でのやり取りが基本）  2. 授業を休む場合はやむを得ない事情以外は必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意してください）  3. 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可）  4. 研究ノートを仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です）  5. 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語）  6. 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意”  *授業初日に重要な情報を発表します（初日の参加必須！）”</p>
	<p>評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エッセイ提出（6回程度）20%</li> <li>2. 単語テスト（10回程度）20%</li> <li>3. 中間プレゼンテーション 20%</li> <li>4. 期末プレゼンテーション 20%</li> <li>5. ディスカッションへの貢献、態度、提出物 20%</li> </ol>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステップとして、英語のエッセイのクラスで書く力を伸ばすことが望ましい。</p>



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語V	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上里 博美[全学科]	1年	授業後に受け付けます。 メールでも受け付けます。	

学びの準備	ねらい ペアーやグループ活動を多用し「社会生活に必要な英語を理解し、また使用することができる」ことが求められている英検2級レベルの語彙力・総合英語力を養うと共に、オーラルコミュニケーション能力の育成を目指す。	メッセージ 総合的な英語力を高め、将来のために英語の資格として英検2級取得を目指したい人は、一緒に勉強しましょう。また、英検2級対策は、他の英語資格テストの基礎英語力が身に付き有意義な学習となります。英検以外の英語資格テストを目指す人も、一緒に学習してはいかがでしょうか。
	到達目標 ・英検2級レベルの総合的な英語力を習得することができる。 ・英語による自己表現力の向上を図ることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Class Orientation	シラバスの確認
	2	Quiz, Vocabulary, Listening & Reading (1)	文で覚える単熟語 (1)
	3	Quiz, Grammar, Listening & Reading (2)	文で覚える単熟語 (2)
	4	Quiz, Interview, Listening & Reading (3)	文で覚える単熟語 (3)
	5	Quiz, Writing, Listening & Reading (4)	文で覚える単熟語 (4)
	6	Quiz, Vocabulary, Listening & Reading (5)	文で覚える単熟語 (5)
	7	Quiz, Grammar, Listening & Reading (6)	文で覚える単熟語 (6)
	8	Quiz, Interview, Listening & Reading (7)	文で覚える単熟語 (7)
	9	Quiz, Writing, Listening & Reading (8)	文で覚える単熟語 (8)
	10	Quiz, Vocabulary, Listening & Reading (9)	文で覚える単熟語 (9)
	11	Quiz, Grammar, Listening & Reading (10)	文で覚える単熟語 (10)
	12	Quiz, Interview, Listening & Reading (11)	文で覚える単熟語 (11)
	13	Quiz, オーラルプレゼンテーション	文で覚える単熟語 (12) 原稿作成
	14	Quiz, Writing, Listening & Reading (12)	文で覚える単熟語 (13)
	15	これまでのまとめと復習	これまでの総復習
	16	Quiz, Vocabulary, Listening & Reading (13)	文で覚える単熟語 (14)
	17	Quiz, Grammar, Listening & Reading (14)	文で覚える単熟語 (15)
	18	Quiz, Interview, Listening & Reading (15)	文で覚える単熟語 (16)
	19	Quiz, Writing, Listening & Reading (16)	文で覚える単熟語 (17)
	20	Quiz, Vocabulary, Listening & Reading (17)	文で覚える単熟語 (18)
	21	Quiz, Grammar, Listening & Reading (18)	文で覚える単熟語 (19)
	22	Quiz, Interview, Listening & Reading (19)	文で覚える単熟語 (20)
	23	Quiz, Writing, Listening & Reading (20)	文で覚える単熟語 (21)
	24	Quiz, オーラルプレゼンテーション,	文で覚える単熟語 (22) 原稿作成
	25	Quiz, Vocabulary, Listening & Reading (21)	文で覚える単熟語 (23)
	26	Quiz, Grammar, Listening & Reading (22)	文で覚える単熟語 (24)
	27	Quiz, Interview, Listening & Reading (23)	文で覚える単熟語 (25)
	28	Quiz, Writing, Listening & Reading (24)	文で覚える単熟語 (26)
	29	Quiz, Vocabulary, Listening & Reading (25)	文で覚える単熟語 (27)
30	Quiz, Grammar, Listening & Reading (26)	文で覚える単熟語 (28)	
31	これまでのまとめと復習	これまでの総復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英検 2 級 文で覚える単熟語 4 訂版 (旺文社)</li> <li>2. 参考書等をオリエンテーションの時間に連絡します。</li> </ol>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の出席確認は、毎回厳格に行うので、やむを得ず欠席する場合は、事前にメールで連絡をすること。</li> <li>2. ペアやグループ活動を多用するので、積極的な態度で臨み充実した活動ができるよう心がけること。</li> <li>3. 授業時間以外にも、Quizの準備、復習等に各自の責任で時間管理を行い、積極的に取り組むこと。 * シラバスは学習状況によって変更の可能性あります。</li> </ol>
	<p>評価</p> <p>単語クイズ (25%)、オーラルプレゼンテーション (15%)、まとめと復習クイズ (25%×2回)、授業参加態度・課題提出 (10%) の結果を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>授業で学んだことを活かし、英検準 1 級レベルを学習する英語 VI や、さらに上級英語力養成を目指す英語 VII、英語 VIII を履修してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語V	前期	火1・金1	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	津波 聡 [全学科]	1年	satoshi@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい Listening, Speaking, Reading, Writing活動を通して、総合的な英語力の向上を目指します。	メッセージ 積極的に英語を使い運用能力の向上に努めよう。 【実務経験】中学校教諭としての現場経験を活かして、4技能を総合的に鍛える言語活動を提供します。
	到達目標 英検2級レベル以上の英語運用力	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Orientation	
	2	Proficiency Test, Speaking 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	3	Reading 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	4	Reading 2	Grammar & Vocabulary Drills 1
	5	Grammar & Vocabulary Quiz 1, Listening 1	Grammar & Vocabulary Drills 1
	6	Reading 4	Worksheets Review
	7	Reading 5	Worksheets Review
	8	Review Quiz 1, Speaking & Writing 1	Grammar & Vocabulary Drills 2
	9	Reading 5	Grammar & Vocabulary Drills 2
	10	Reading 6	Grammar & Vocabulary Drills 2
	11	Grammar & Vocabulary Quiz 2, Listening 2	Worksheets Review
	12	Reading 7	Worksheets Review
	13	Reading 8	Worksheets Review
	14	Review Quiz 2, Speaking & Writing 2	Grammar & Vocabulary Drills 3
	15	Reading 9	Grammar & Vocabulary Drills 3
	16	Reading 10	Grammar & Vocabulary Drills 3
	17	Grammar & Vocabulary Quiz 3, Listening 3	Worksheets Review
	18	Reading 11	Worksheets Review
	19	Reading 12	Worksheets Review
	20	Review Quiz 3, Speaking & Writing 3	Grammar & Vocabulary Drills 4
	21	Reading 13	Grammar & Vocabulary Drills 4
	22	Reading 14	Grammar & Vocabulary Drills 4
	23	Grammar & Vocabulary Quiz 4, Listening 4	Worksheets Review
	24	Reading 15	Worksheets Review
	25	Reading 16	Vocabulary Drills
	26	Review Quiz 4, Speaking & Writing 4	Grammar & Vocabulary Drills 5
	27	Reading 17	Grammar & Vocabulary Drills 5
	28	Reading 18	Grammar & Vocabulary Drills 5
	29	Grammar & Vocabulary Quiz 5, Listening 5	Worksheets Review
30	Review Quiz 5, Speaking & Writing 5	Worksheets Review	
31	Review, Final Test		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など オリジナル教材を配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て          (1) 授業外ドリルを活用し英語学習を継続する習慣を身につけよう。          (2) 授業では積極的に英語を使おう。</p>
	<p>評価          授業参加・・・・・・・・・・・・・30%          クイズ・・・・・・・・・・・・・50%          提出物・・・・・・・・・・・・・20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目          English VI～VIII</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語VI	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[全学科]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	4技能の活動を通して英検準一級程度の力を習得できるように様々な学習を通して、学習者が自ずから学び向上、成長できるようにするのが本科目の狙いである。	本科目では、英検準1級レベルの英語力養成を目的としています。当該試験の内容把握と練習問題に取り組むほか、受講生の総合英語力を上げながらも、弱点を補強する様々な取り組みを行います。英語学習方法は多種多様であることを念頭に、1学期間これらの取り組みを積極的に行いながら本科目終了後に自ら学ぶ力をつけるように、ともに挑戦していきましょう！
到達目標	英語準1級レベルの英語総合力をつける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (テキスト案内、注意事項等)	テキスト購入と自己学習ノート準備
	2	英語力把握と 自己学習計画作成 他	学習計画作成仕上げ
	3	語彙1 他	テキスト復習と予習
	4	読解1-1 他	テキスト復習と予習
	5	読解1-2 他	テキスト復習と予習
	6	読解1-3 他	テキスト復習と予習
	7	読解1-4 他	テキスト復習と予習
	8	読解1-5 他	テキスト復習と予習
	9	Writing 1-1	テキスト復習と予習
	10	Writing 1-2	テキスト復習と予習
	11	リスニング1-1 他	テキスト復習と予習
	12	リスニング1-2 他	テキスト復習と予習
	13	リスニング1-3 他	テキスト復習と予習
	14	リスニング1-4 他	テキスト復習と予習
	15	リスニング1-5 他	テキスト復習と予習
	16	前半調整と振り返り, 自己学習計画振り返り1	振り返り仕上げと学習計画確認
	17	語彙2 他	テキスト復習と予習
	18	読解2-1 他	テキスト復習と予習
	19	読解2-2 他	テキスト復習と予習
	20	読解2-3 他	テキスト復習と予習
	21	読解2-4 他	テキスト復習と予習
	22	読解2-5 他	テキスト復習と予習
	23	Writing 2-1	テキスト復習と予習
	24	Writing 2-2	テキスト復習と予習
	25	リスニング2-1 他	テキスト復習と予習
	26	リスニング2-2 他	テキスト復習と予習
	27	リスニング2-3 他	テキスト復習と予習
	28	リスニング2-4 他	テキスト復習と予習
29	リスニング2-5 他	テキスト復習と予習	
30	後半調整と振り返り, 期末英語力把握1	後半の振り返り	
31	木間s津英語路力把握2, 自己学習計画振り返り2	英語VIの振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>本科目で用いるテキストについてはオリエンテーションで紹介しますので必ず購入してください。他の資料等は必要時に配布します。講義内や講義外での学習を記す英語VIノートを準備してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>本科目の英検準1級養成では、地道に学び英語力を習得をしていくことが大切である。本講義を土台として活用しながら授業内外で自主的に学びつづけていく力をみにつけていきましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>Quiz30%, Writing提出全体20%、計画にもとづいた学習到達度（語彙と文法）40%, 英語力向上度10% の合計から 学習態度全般、提出物おくれ等の減点をひいた最終合計を大学規則にそった成績評価となる。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージとしては、英語VII（おもにTOEIC高得点取得を目指した英語総合力養成）や英語VIII（おもにTOEFL高得点取得を目指した英語総合力養成）で、速さ、複雑さを伴う英語への対応をこなせる力を培うことをすすめる。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語VI	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	大城 明子[全学科]	1年	akooshiro@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 4技能の活動を通して英検準一級程度の力を習得できよう様々な学習を通して、学習者が自ずから学び向上、成長できるようにするのが本科目の狙いである。	メッセージ 本科目では、英検準1級レベルの英語力養成を目的としています。当該試験の内容把握と練習問題に取り組むほか、受講生の総合英語力を上げながらも、弱点を補強する様々な取り組みを行います。英語学習方法は多種多様であることを念頭に、1学期間これらの取り組みを積極的に行いながら本科目終了後に自ら学ぶ力をつけるように、ともに挑戦していきましょう！
	到達目標 英語準1級レベルの英語総合力をつける。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション (テキスト案内、注意事項等)	テキスト購入と自己学習ノート準備
	2	英語力把握と 自己学習計画作成 他	学習計画作成仕上げ
	3	語彙1 他	テキスト復習と予習
	4	読解1-1 他	テキスト復習と予習
	5	読解1-2 他	テキスト復習と予習
	6	読解1-3 他	テキスト復習と予習
	7	読解1-4 他	テキスト復習と予習
	8	読解1-5 他	テキスト復習と予習
	9	Writing 1-1	テキスト復習と予習
	10	Writing 1-2	テキスト復習と予習
	11	リスニング1-1 他	テキスト復習と予習
	12	リスニング1-2 他	テキスト復習と予習
	13	リスニング1-3 他	テキスト復習と予習
	14	リスニング1-4 他	テキスト復習と予習
	15	リスニング1-5 他	テキスト復習と予習
	16	前半調整と振り返り, 自己学習計画振り返り1	振り返り仕上げと学習計画確認
	17	語彙2 他	テキスト復習と予習
	18	読解2-1 他	テキスト復習と予習
	19	読解2-2 他	テキスト復習と予習
	20	読解2-3 他	テキスト復習と予習
	21	読解2-4 他	テキスト復習と予習
	22	読解2-5 他	テキスト復習と予習
	23	Writing 2-1	テキスト復習と予習
	24	Writing 2-2	テキスト復習と予習
	25	リスニング2-1 他	テキスト復習と予習
	26	リスニング2-2 他	テキスト復習と予習
	27	リスニング2-3 他	テキスト復習と予習
	28	リスニング2-4 他	テキスト復習と予習
	29	リスニング2-5 他	テキスト復習と予習
30	後半調整と振り返り, 期末英語力把握 1	後半の振り返り	
31	期末英語力把握2 自己学習計画振り返り 2	英語VIの振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>本科目で用いるテキストについてはオリエンテーションで紹介しますので必ず購入してください。他の資料等は必要時に配布やLMS上に載せます。講義内や講義外での学習を記す英語VIノートを準備してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>本科目の英検準1級養成では、地道に学び英語力を習得をしていくことが大切である。本講義を土台として活用しながら授業内外で自主的に学びつづけていく力をみにつけていきましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>Quiz30%, Writing提出全体20%、計画にもとづいた学習到達度（語彙と文法）40%, 英語力向上度10% の合計から 学習態度全般、提出物おくれ等の減点をひいた最終合計を大学規則にそった成績評価となる。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージとしては、英語Ⅶ（おもにTOEIC高得点取得を目指した英語総合力養成）や英語Ⅷ（おもにTOEFL高得点取得を目指した英語総合力養成）で、速さ、複雑さを伴う英語への対応をこなせる力を培うことをすすめる。</p>



※ポリシーとの関連性 「キャリア形成に役立つ、実践的でより高度な英語力の向上を図るべく、それに沿った学習方法を学び、実践する。」

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅶ	後期	水5・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [全学科]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	TOEICの教材を用いて英語力を身につけ、同時に就職にも有利な資格(スコア)の取得を目指す。また、自分にあった英語学習方法を見つけ、自立した学習者となることを目標とする。	【実務経験】外資・グローバル企業での英語・TOEIC講師経験を活かし、学生の皆さんが目標スコアを獲得できるようお手伝いします。講師自ら990点(満点)を取得しており、ほぼ毎回受験しているため分析・解説・アドバイスはお任せください。一緒に「TOEICまみれ」になりましょう!
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開テストで50~100点以上スコアアップを目指す。</li> <li>TOEICの教材を用いて、総合的な英語力をつける。</li> <li>TOEICテストを用いて、自分の英語力を分析し、学習に活かすことができる。</li> <li>学習を継続し、学習課題を自身で見つけ、自立した学習者になる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション TOEICとは?	シラバスを読む
	2	TOEIC Part別 分析・解説	TOEICの試験形式と内容を復習する
	3	TOEIC模試 Listening Section	Listening採点、スコア提出
	4	TOEIC模試 Reading Section	Reading採点、スコア提出
	5	模試分析・解説	Part 2予習、「やる単」Unit 1
	6	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 1
	7	Listening Part 2	Reading予習、「やる単」Unit 2
	8	Listening Part 2 (まとめ・小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 2
	9	Reading 問題のアプローチ方法、Part 5 イントロ	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	10	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	11	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	12	Reading Part 5 (品詞問題・まとめ、小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	13	Reading Part 5 (動詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	14	Reading Part 5 (語彙問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	15	Reading Part 5 (その他の問題)	Part 5問題作成、「やる単」Unit 6
	16	Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 2&5復習、「やる単」Unit 6
	17	Listening Part 2 & Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 1予習、「やる単」Unit 7
	18	Listening Part 1	Part 1復習、「やる単」Unit 7
	19	Listening Part 1 グループ課題発表	Part 6 予習、「やる単」Unit 8
	20	Reading Part 6	Part6 復習、「やる単」Unit 8
	21	Reading Part 6 (文章挿入型問題)	Part 7予習、「やる単」Unit 9
	22	Reading Part 7 (チャット・シングルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 9
	23	Reading Part 7 (ダブルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	24	Reading Part 7 (マルチプルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	25	Reading Part 7 (まとめ・小テスト)	Part 3&4予習「やる単」復習
	26	Listening Part 3	Part 3復習「やる単」復習
	27	Listening Part 4	Part 3&4 復習「やる単」復習
	28	「やる単」Review Unit 1-5、Listening Part 3 & 4	Part 3&4復習「やる単」復習
	29	「やる単」Review Unit 6-10、Listening Part 3 & 4	全パート復習
30	直前対策・全パート復習	全パート復習	
31	TOEICフェスタ (振り返り)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：①【音声DL】TOEIC(R) L&amp;Rテスト 究極の模試600問+ (アルク) ②TOEIC(R)テストやたらと出る英単語クイックマスター、テッド寺倉&amp;上原ちとせ共著 (アルク) *両方必要です。(朝野書房での販売はありませんのでAmazonや那覇ジュンク堂などの大型書店などで各自購入すること。)</p> <p>参考書：「CD-ROM付 TOEIC(R) L&amp;Rテスト 直前の技術」ロバート・ヒルキ、相澤 俊幸、ヒロ前田 (著)</p> <p>*参考書は、必ずしも購入する必要は無いが、購入するのであれば最新版(2018年2月出版)を勧める。その他の参考書や資料は必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>【重要】受講希望者は必ず初日(オリエンテーション)に出席すること。出席できない場合は教員に事前に連絡すること。オリエンテーション未出席&amp;未連絡の場合、履修を認めない場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期中にTOEIC公開テスト受験予定の学生を優先する。</li> <li>・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。</li> <li>・ほぼ毎回単語テストを行い、学習経過を確認するので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。</li> <li>・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業への参加・積極性・貢献度(25%) ②課題・Study Log(25%) ③小テスト・単語テスト(25%) ④個人目標達成度・Self Reflection(25%)を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>まずは英語VIIで自分の学習成果と目標(スコア)が達成できたか確認し、必要であれば集中対策講座を定期的に受けるなどして新たな目標に向かって励んでほしい。英検に興味があるなら英語V(2級)、英語VI(準1級)が履修できる。海外インターンシップや留学などにも積極的にチャレンジし、英語を活用する機会を増やしてほしい。将来を見据え「使える英語力」を身につければ就活にも有利であり、仕事の選択の幅も広がるだろう。</p>

※ポリシーとの関連性 「キャリア形成に役立つ、実践的でより高度な英語力の向上を図るべく、目的に沿った学習方法を学び、実践する。」

[ /一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	英語Ⅶ	前期	水5・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上原 千登勢 [全学科]	1年	c.uehara@okiu.ac.jp 9号館502号室	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	TOEICの教材を用いて英語力を身につけ、同時に就職にも有利な資格(スコア)の取得を目指す。また、自分にあった英語学習方法を見つけ、自立した学習者となることを目標とする。	【実務経験】外資・グローバル企業での英語・TOEIC講師経験を活かし、学生の皆さんが目標スコアを獲得できるようお手伝いします。講師自ら990点(満点)を取得しており、ほぼ毎回受験しているので分析・解説・アドバイスはお任せください。一緒に「TOEICまみれ」になりましょう！
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開テストで50～100点以上スコアアップを目指す。</li> <li>TOEICの教材を用いて、総合的な英語力をつける。</li> <li>TOEICテストを用いて、自分の英語力を分析し、学習に活かすことができる。</li> <li>学習を継続し、学習課題を自身で見つけ、自立した学習者になる。</li> </ul>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション TOEICとは?	シラバスを読む
	2	TOEIC Part別 分析・解説	TOEICの試験形式と内容を復習する
	3	TOEIC模試 Listening Section	Listening採点、スコア提出
	4	TOEIC模試 Reading Section	Reading採点、スコア提出
	5	模試分析・解説	Part 2予習、「やる単」Unit 1
	6	Listening Part 2	Part 2復習、「やる単」Unit 1
	7	Listening Part 2	Reading予習、「やる単」Unit 2
	8	Listening Part 2 (まとめ・小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 2
	9	Reading 問題のアプローチ方法、Part 5 イン트로	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	10	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 3
	11	Reading Part 5 (品詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	12	Reading Part 5 (品詞問題・まとめ、小テスト)	Part 5復習、「やる単」Unit 4
	13	Reading Part 5 (動詞問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	14	Reading Part 5 (語彙問題)	Part 5復習、「やる単」Unit 5
	15	Reading Part 5 (その他の問題)	Part 5問題作成「やる単」Unit 6
	16	Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 2&5復習、「やる単」Unit 6
	17	Listening Part 2 & Reading Part 5 (まとめ・小テスト)	Part 1予習、「やる単」Unit 7
	18	Listening Part 1	Part 1復習、「やる単」Unit 7
	19	Listening Part 1 グループ課題発表	Part6 予習、「やる単」Unit 8
	20	Reading Part 6	Part6 復習、「やる単」Unit 8
	21	Reading Part 6 (文章挿入型問題)	Part 7予習、「やる単」Unit 9
	22	Reading Part 7 (チャット・シングルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 9
	23	Reading Part 7 (ダブルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	24	Reading Part 7 (マルチプルパッセージ)	Part 7復習、「やる単」Unit 10
	25	Reading Part 7 (まとめ・小テスト)	Part 3&4 予習「やる単」復習
	26	Listening Part 3	Part 3復習「やる単」復習
	27	Listening Part 4	Part 3&4 復習「やる単」復習
	28	「やる単」Review Unit 1-5、Listening Part 3 & 4	Part 3&4復習「やる単」復習
	29	「やる単」Review Unit 6-10、Listening Part 3 & 4	全パート復習
30	直前対策・全パート復習	全パート復習	
31	TOEICフェスタ (振り返り)		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：①【音声DL】TOEIC(R) L&amp;Rテスト 究極の模試600問+ (アルク) ②TOEIC(R)テストやたらと出る英単語クイックマスター、テッド寺倉&amp;上原ちとせ共著 (アルク) *両方必要です。(朝野書房での販売はありませんのでAmazonや那覇ジュンク堂などの大型書店などで各自購入すること。)</p> <p>参考書：「CD-ROM付 TOEIC(R) L&amp;Rテスト 直前の技術」ロバート・ヒルキ、相澤 俊幸、ヒロ前田 (著)</p> <p>*参考書は、必ずしも購入する必要は無いが、購入するのであれば最新版(2018年2月出版)を勧める。その他の参考書や資料は必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>【重要】受講希望者は必ず初日(オリエンテーション)に出席すること。出席できない場合は教員に事前に連絡すること。オリエンテーション未出席&amp;未連絡の場合、履修を認めない場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期中にTOEIC公開テスト受験予定の学生を優先する。</li> <li>・授業に出席することは基本である。全体の1/3以上欠席した時点で単位は認められない。30分以上の遅刻を欠席、また2回の遅刻は1回の欠席とみなす。</li> <li>・ほぼ毎回単語テストを行い、学習経過を確認するので予習、復習は自主的、かつ積極的に行うこと。</li> <li>・スタディグループを作り、授業以外でも定期的に学習する環境作りをすること。欠席した際、クラスメートより授業内容を教えてもらい、配布物を預かってもらうようにすること。</li> </ul>
	<p>評価</p> <p>①授業への参加・積極性・貢献度(25%) ②課題・Study Log(25%) ③小テスト・単語テスト(25%) ④個人目標達成度・Self Reflection(25%)を総合的に判断して評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>まずは英語VIIで自分の学習成果と目標(スコア)が達成できたか確認し、必要であれば集中対策講座を定期的に受けるなどして新たな目標に向かって励んでほしい。英検に妙味があるなら英語V(2級)、英語VI(準1級)が履修できる。海外インターンシップや留学などにも積極的にチャレンジし、英語を活用する機会を増やしてほしい。将来を見据え「使える英語力」を身につければ就活にも有利であり、仕事の選択の幅も広がるだろう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究（英語圏）Ⅰ	後期	月3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉	1年	授業後に受け付けますが、それ以外にもメールでアポをとって行くことも可能です。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>本教科では、英語圏への留学を計画・予定している学生を対象としています。短期・長期留学にかかわらず、留学生活（日常生活ならびに学業）で直面しがちな主要問題を教室で仮想体験してもらい、その解決策について協働学習を通して学んでもらいます。これにより、留学中に不測の事態に直面しても柔軟に対応できる力がつきまします。</p>	<p>文化が異なる国への留学では、想定外の場面に遭遇することが多いです。学修内容が、実際の留学の他の場面でもどのように役立つのかも念頭に置きつつ、タスク・アクティビティにのぞんでください。長年海外にいた者として、様々なエピソードも交えながら、サポートしていきます！</p>
到達目標	<p>1) 留学生活およびその準備で生じ得る基礎的な主要問題を主体的に把握・分析できる                  2) 留学生活およびその準備で生じ得る基礎的な主要問題に対する効果的な解決策を主体的に考案し、講じることができる                  3) 上記1)2)の問題解決において、クラスメートと建設的な協働作業が行える                  4) 上記1)2)の問題解決において、これまで習得した英語の主要4スキルを応用できる                  5) 問題解決に必要な情報収集を主体的かつ適切に行える                  6) 自身の理解力・パフォーマンスをできるだけ客観的に把握し、継続的に適切な振り返りが行える</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	Introduction to the unit	翌週の予習
	2	Introduction to PBL, How to collect information	翌週の予習
	3	Destination - where are you going? Finding the right destination and school/ uni	翌週の予習
	4	Topic A: Accommodation and issues 1 (Identification and analysis of problems)	問題の分析, 解決策の考案
	5	[Accommodation and issues 2	Annotation作成, 報告準備
	6	Accommodation and issues 3 (whole-class discussions and extra practice)	Reflective Diary 完成・提出
	7	Topic B: Dealing with troubles 1	問題の分析, 解決策の考案
	8	Dealing with troubles 2	Annotation作成, 報告準備
	9	Dealing with troubles 3	Reflective Diary 完成・提出
	10	Topic C: Communication-related issues 1	問題の分析, 解決策の考案
	11	Communication-related issues 2	Annotation作成 報告準備
	12	Communication-related issues 3	Reflective Diary 完成・提出
	13	Wrap-up and preparation for the presentation	プレゼン準備
14	Presentations 1	プレゼン準備、プレゼン振り返り	
15	Presentations 2	プレゼン準備、プレゼン振り返り	
16	Wrap up		
テキスト・参考文献・資料など	<p>指定教科書はありません。資料をGoogle Classroomに随時アップしますので、活用してください。また、本教科の詳細はUnit Outlineにすべて記載されてあります。Week 1に配布しますので、熟読して理解をすること。</p>		
学びの手立て	<p>本教科では、皆さんが主役となって積極的に学習をしてもらいます。授業時間外での情報収集や熟考なども極めて重要になるので、自主性をもってのぞみましょう。</p>		
評価	<p>Contribution to the class 10%; Task evaluations 20%; Reflective diaries 20%; English diaries 15%; Group presentation 15%; Reflective essay 20%</p>		

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>学んだことを外国語研究Ⅱ、留学で大いに活用してください。</p>
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究（英語圏）Ⅱ	前期	水2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	井上 泉	1年	授業後またはアポイントベースのコンサル	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	本教科は、英語圏への留学を計画・予定している学生及び留学から帰国した学生を対象としています。外国語研究Ⅰの学習内容を踏まえて、さらにグローバルな人材として活躍できる使えるスキルを体験型学習を通して身につけてもらいます。	異文化への留学では、想定外の状況に遭遇することがよくあります。本教科での学びが実際の留学でどのように役立つのかも念頭に置きつつ、タスク・アクティビティにのぞんでください。長年海外で留学・仕事をしてきた者として、様々なエピソードも交えながらサポートしていきます！
到達目標	1) これまでに習得した基礎的な英語力を留学における学修活動・グローバルな活動に応用できる 2) 留学中の学修活動・グローバルな社会活動における主要問題を適切に解決できる 3) 自身の学修に対する深い振り返りを行え、それを以降の諸活動に活用できる 4) 学習における自己管理を適切に行える 5) 自己・他者の学習を客観的に評価し、建設的な提案ができる 6) 他者との協働学習を適切に行える	

学びの実践	学びのヒント	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容	
	1	Introduction to the unit	Unit Outline Quiz	
	2	Intro. to active learning and problem-solving skills	振り返り	
	3	Topic A Listening (Cycle 1)	グループワーク	
	4	Topic A Listening (Cycle 2)	グループワーク	
	5	Topic A Listening (cycle 3)	Annotation提出、発表、振り返り	
	6	Topic B Reading (Cycle 1)	グループワーク	
	7	Topic B Reading (Cycle 2)	グループワーク	
	8	Topic B Reading (Cycle 3)	Annotation提出、発表、振り返り	
9	Preparation for the international-collaborative event (予定)	グループワーク		
10	Topic C Speaking (Cycle 1)	グループワーク		
11	Topic C Speaking (Cycle 2)	グループワーク		
12	Topic C Speaking (Cycle 3)	Annotation提出、発表、振り返り		
13	Topic D Writing (Cycle 1)	グループワーク		
14	Topic D Writing (Cycle 2)	グループワーク		
15	Topic D Writing (Cycle 3)	Annotation提出、発表、振り返り		
16	Submission of the reflective essay, wrap up	振り返り		
実践	テキスト・参考文献・資料など	指定教科書はありません。資料をgoogle classroomに随時アップしますので、頻繁にチェックしてください。 なお、本教科の全詳細は1週目に配布するUnit Outlineに記載されています。必ず熟読すること		
	学びの手立て	本評価は留学前に必要となる内容をできるだけ網羅するように設計されており、クラスメート同士の協働学修を重視した内容となっています。事前学修も極めて重要な要素となりますので、各自の責任で予習・復習・振り返りをきちんと行ってもら必要があります。また量だけではなく、質が重要視される（海外も同様）ので、各自責任感をもって学修に臨んでください。		
	評価	Contribution to the class activities 10% Task evaluation 20% Reflections 20% Quizlet 10% Weekly English diary 10% Reflective essay 30%		

学びの継続	次のステージ・関連科目
	学んだことを留学、関連科目、およびグローバルな視野での就職活動で大いに活用してください。